

2018年度

学生による授業評価  
よりよい授業を目指して

報 告 書

2020年1月

和洋女子大学

# 目次

1. はじめに .....	1
2. 授業評価実施概要 .....	2
3. 分野別・組織別授業評価結果 .....	3
(1) 国際学科 .....	3
(2) 日本文学文化学科 .....	9
(3) 心理学科 .....	15
(4) こども発達学科 .....	21
(5) 服飾造形学科 .....	27
(6) 健康栄養学科 .....	33
(7) 家政福祉学科 .....	39
(8) 看護学科 .....	45
(9) 共通科目 .....	47
4. 総括 .....	58
(1) 全学授業評価結果の概要 .....	58
(2) 教員所感について .....	64
(3) 共通総合科目の課題 .....	65
(4) 専門科目の課題 .....	71
(5) 課題と対策 .....	74
5. 資料 .....	79

## はじめに

和洋女子大学では教育の質を高めることを目的に授業内容の自己点検を継続して行っている。具体的にはシラバスの相互点検、カリキュラムマップの作成、そして、授業を学生の視点で点検する授業評価アンケートなどを実施している。

授業は第三者の目に届きにくい教室で行われており、生産と消費が同時におこなわれるため客観的な評価が難しい。また、教育効果は授業の目標設定とその目標への達成レベルで、ある程度の可視化ができるものの教育には知識を得るという単純な output の他に、学んだことで学生が身につける outcome については、短期間に成果が測定できない側面を有する。

したがって、本学では多様な側面を持つ授業の評価のひとつの測定項目として、この学生による授業評価を位置付けている。この評価で授業内容の質すべてを計りえるものではないことを承知したうえで、可視化しにくい授業に光を当て、教職員がその結果を確認し、自身の授業に運営を測る物差しとして活用することを願って実施するものである。

本報告書は学生授業評価の調査結果をまとめ、さらに、教員個人が自身の講義を総括し、今後の展望を総括したものである。授業を受ける学生の声を真摯に受け止め、本学の教育の質が向上し、学生が社会で活躍する力を備える一助になることを願っている。

岸田宏司  
和洋女子大学 学長

## 2. 授業評価実施概要

## 2. 授業評価実施概要

授業評価は、前期開設科目については2018年7月9日（月）～8月4日（土）、後期開設科目及び通年開設科目については2019年1月7日（月）～2月5日（火）の期間中に実施した。2018年度の開設授業科目は、前期644科目、後期666科目、通年106科目、前期集中32科目、後期集中12科目、通年集中58科目で、合計科目1,518である。このうち授業評価対象科目は、オムニバス科目、佐倉セミナー科目、学外実習科目、集中科目、大学院科目、同時開講科目、読替科目、また受講者数10人以下の科目を除いた942科目で、全開講科目の62.0%に相当する。ただしこの対象科目のうち後期2科目が未実施となったため、全開講科目のうち授業評価を実施した割合は61.9%である。

評価は、マークシート方式のアンケートによる評価と自由記述による評価を併用し、各授業科目について両者を学生に記入させ、回収した。アンケートの設問は付録「授業アンケート」のとおりである。主に教授方法・スキルに関する評価、授業準則・秩序に関する評価、知的刺戟や理解度関連達成度に関する評価、主体的学修に関する評価、教員の熱意に関する評価、総合的満足度、学生自身の授業への参加度に関する自己評価などの項目から構成されている。なお、アンケートは5段階評価として設計されている。5は「強く思う」（Q15は「3h以上」、Q19は「大変満足」）、4は「思う」（Q15は「2～3h未満」、Q19は「やや満足」）、3は「どちらでもない」（Q15は「1～2h未満」）、2は「そう思わない」（Q15は「1h未満」、Q19は「やや不満」）、1は「全く思わない」（Q15は「特にしていない」、Q19は「不満」）、0は「該当しない・答えたくない」を意味している。

調査は、実施期間中の各授業の終了時のほぼ15分程度を利用し、原則として授業科目担当教員が用紙を配布し教員が教室を退室した後、記入と回収を学生自身が行なった。アンケート用紙は、業者に委託して集計し、授業科目ごとの結果は科目担当教員に通知される。各教員は、授業評価の結果を各自で検討し、その感想・今後の授業改善への抱負などについて、全担当科目を総括してA4版1枚に所感を作成した。この文書はネットワークにて教職員が閲覧することができ、学内、相互の授業改善の工夫等を共有している。

### 3. 分野別・組織別 授業評価結果

### 3. 分野別・組織別授業評価結果

#### (1) 国際学科の評価結果

##### ・結果の概要

設問の内容を授業の方法・スキル、授業準則と教室秩序、知的刺戟・知識獲得、主体的学びの促進、教員の熱意、学生の修学像などに分けてまとめる。授業の方法・スキル (Q4 [理解度に合わせて授業を進めた]、Q5 [教材が理解に役立った]、Q6 [教員の板書や図の見やすさ]、Q7 [教員の声が聞き取りやすかった]、Q8 [説明は分かりやすかった]) では、5項目とも全体平均を上回っている。とりわけ Q4、Q6、Q8 の得点が比較的高い。そして、授業準則と教室秩序 (Q1 [シラバスに沿っていた]、Q10 [開始・終了時間が適切だった]、Q11 [私語に対し適切な対応だった]) では、Q1 が全体平均とほぼ同水準であるのに対し、Q10 は全体平均が 4.28 なのに対し 4.34、Q11 は全体平均が 4.16 なのに対し 4.20 で、私語などの注意が概ね適切になされていることが窺える。

知的刺戟・知識獲得 (Q2 [内容は知的刺激に富んでいた]、Q17 [さらに勉強したくなった]、Q3 [新しい知識・技術を学べた]) でも、3項目とも全体平均を上回っており、とりわけ Q17 は全体平均が 3.90 であるのに対し 4.01 となっているなど、知的好奇心の喚起の面で一定の評価が得られていると言える。そして、主体的学びの促進 (Q13 [積極的に意見や質問をした]、Q15 [予習・復習の時間]) では、2項目とも全体平均を大きく上回っており (Q13 は全体平均 3.34 に対し 3.62、Q15 は全体平均 2.40 に対し 2.83) となっており、主体的学びが比較的重視されていることがわかる。また、教員の熱意 (Q12 [教員の熱意かを感じた]、Q9 [質問への対応が適切だった]) では、2項目とも全体平均を若干上回っている。Q12 は全体平均 4.26 とほぼ同水準の 4.28 となっているが、絶対評価としては低くない。一方、学生の修学像 (Q14 [よく出席した]、Q13 [積極的に意見や質問をした]、Q16 [試験に積極的に取り組んだ]) では、Q13 と Q16 は全体平均を上回っているが、Q14 はそれを下回っている。要するに、「積極的に質問する」、「積極的に試験に取り組む」といった姿勢が見られると同時に、「出席」については比較的に軽視されている、という状況が確認されるように思われる。

##### ・評価結果からみた課題

上記の結果の概要からは概ね良好な状況が確認される。このことは総合的な評価項目としての Q18 (受講を後輩に勧めたい) と Q19 (授業の総合的満足度) がともに全体平均を上回っている (Q18 は全体平均 4.00 に対して 4.07、Q19 は全体平均 4.10 に対して 4.14) ことから判断できる。ただ、とりわけ「出席」に対する姿勢、「予習・復習」(Q15) などについては依然として改善の余地が大きく残されており、Q13 の「積極的に意見や質問をした」についても、Q15 同様全体平均は上回っているものの依然として改善策工夫の必要性が確認される。また、学年別では、相対的に 1 年生の評価が低いため至急対応策を講じなければならぬと考える。

キャンパス		曜日		履修者数	3675名
学部		時限		回収数	2944名
教員		教室		回収率	80%
科目	国際学科				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	1309	1266	291	40	28	10	4.29	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1279	1217	338	70	34	6	4.24	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	1320	1200	327	61	28	8	4.27	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1210	1168	416	106	35	9	4.16	4.07
Q5.教材が理解に役立った	1288	1125	397	83	35	16	4.21	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1247	1088	401	125	52	31	4.15	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1374	1116	320	80	46	8	4.26	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	1251	1137	383	110	51	12	4.17	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	1269	1141	398	68	43	25	4.21	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	1444	1138	279	45	26	12	4.34	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	1242	1174	403	67	36	22	4.20	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	1359	1154	339	50	29	13	4.28	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	711	859	818	287	128	141	3.62	3.34
Q14.よく出席した	1502	1010	323	60	17	32	4.35	4.41
Q15.予習・復習の時間	430	489	664	435	686	240	2.83	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	1172	1123	495	55	33	66	4.16	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	1014	1119	614	102	56	39	4.01	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	1126	1078	549	87	67	37	4.07	4.00
Q19.授業の総合的満足度	1186	1138	455	80	52	33	4.14	4.10

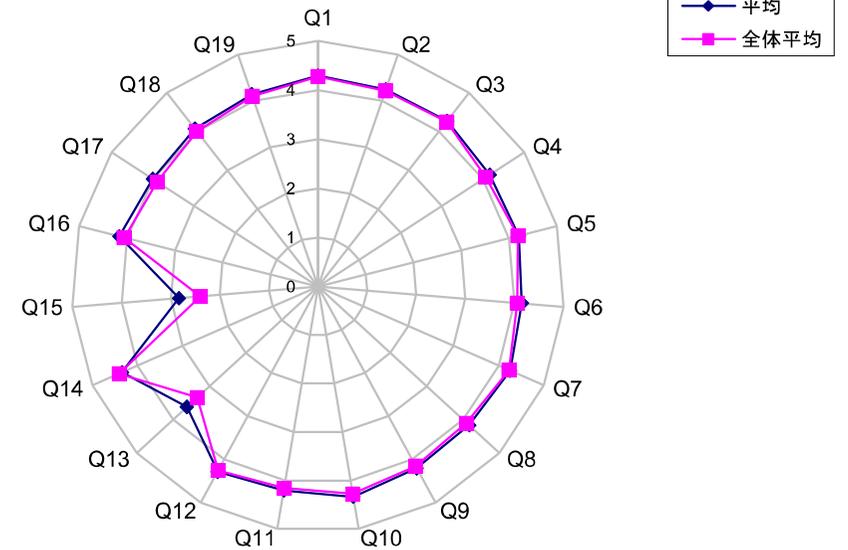
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1182	1070	186	52	21	1	4.33
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1126	1027	257	76	23	3	4.26
Q5.教材が理解に役立った	1195	994	237	51	24	11	4.31
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1164	961	238	95	32	22	4.26
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1276	977	169	53	34	3	4.36
Q8.説明がわかりやすかった	1159	1012	222	77	36	6	4.27
Q11.私語に対し適切な対応だった	1152	1028	241	52	25	14	4.29

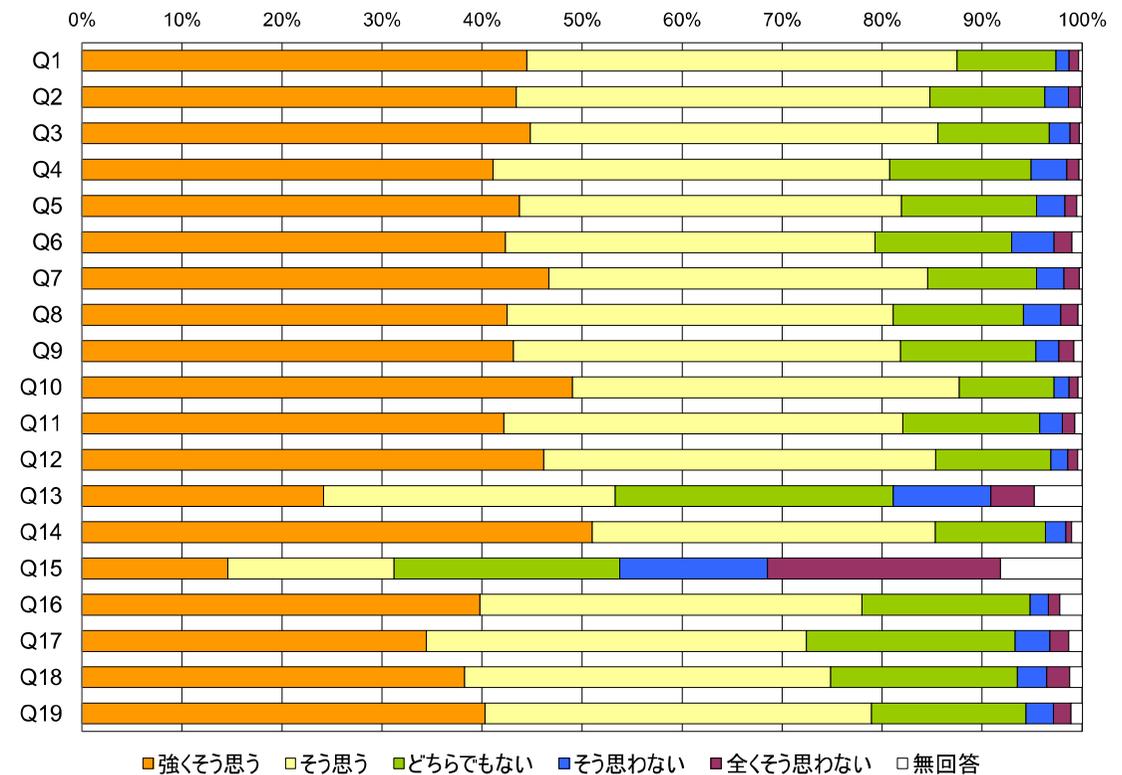
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	85	133	152	17	12	1	3.66
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	74	126	159	28	11	2	3.56
Q5.教材が理解に役立った	82	116	159	31	11	1	3.57
Q6.教員の板書や図の見やすさ	73	111	163	29	20	4	3.47
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	87	125	150	26	11	1	3.63
Q8.説明がわかりやすかった	80	112	161	31	14	2	3.54
Q11.私語に対し適切な対応だった	77	135	161	15	10	2	3.64

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	788名
教員		教室		回収率	
科目	国際学科(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	305	357	99	16	9	2	4.19	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	259	358	132	28	10	1	4.05	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	269	351	134	26	6	2	4.08	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	250	333	156	36	11	2	3.99	4.07
Q5.教材が理解に役立った	268	323	147	33	11	6	4.03	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	262	314	135	46	14	17	3.99	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	303	312	132	29	11	1	4.10	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	260	326	147	39	14	2	3.99	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	284	334	134	20	12	4	4.09	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	338	336	93	15	2	4	4.27	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	265	350	143	22	5	3	4.08	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	283	339	140	19	5	2	4.11	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	141	229	250	96	43	29	3.43	3.34
Q14.よく出席した	407	276	88	12	0	5	4.38	4.41
Q15.予習・復習の時間	84	109	183	142	206	64	2.62	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	283	305	161	16	4	19	4.10	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	202	288	227	45	15	11	3.79	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	214	294	211	41	15	13	3.84	4.00
Q19.授業の総合的満足度	252	318	163	28	18	9	3.97	4.10

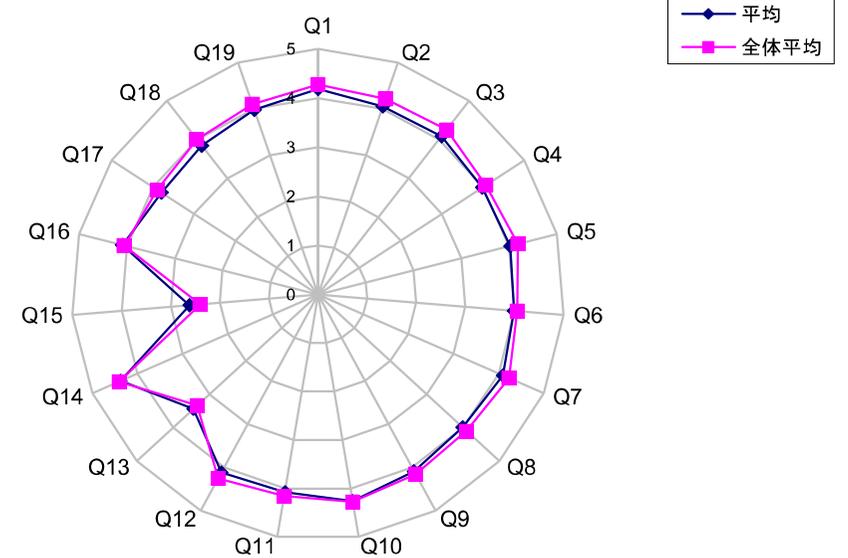
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	242	326	87	21	7	0	4.13
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	236	304	107	26	9	1	4.07
Q5.教材が理解に役立った	252	296	97	24	9	5	4.12
Q6.教員の板書や図の見やすさ	247	290	85	38	10	13	4.08
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	286	281	84	23	9	0	4.19
Q8.説明がわかりやすかった	244	299	97	31	11	1	4.08
Q11.私語に対し適切な対応だった	248	314	95	20	5	1	4.14

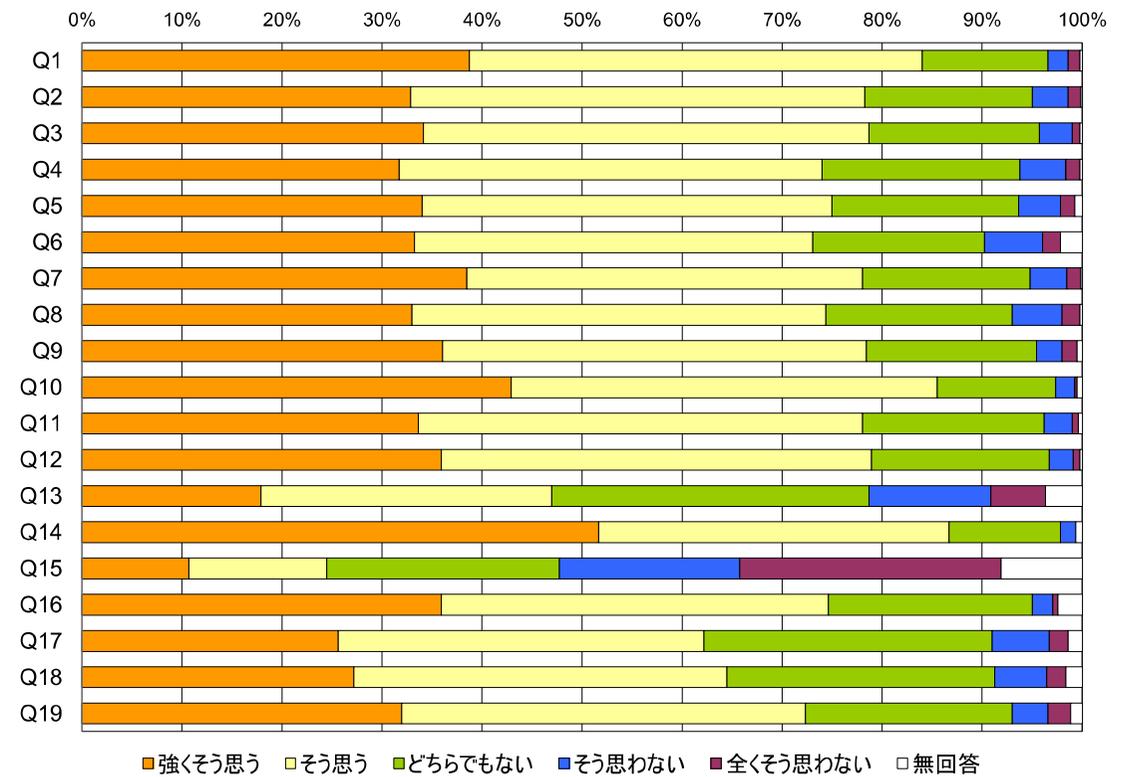
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	17	30	45	6	2	0	3.54
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	14	27	49	9	1	0	3.44
Q5.教材が理解に役立った	16	25	49	8	2	0	3.45
Q6.教員の板書や図の見やすさ	15	22	50	7	4	2	3.38
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	17	29	48	5	1	0	3.56
Q8.説明がわかりやすかった	16	25	50	7	2	0	3.46
Q11.私語に対し適切な対応だった	16	34	48	2	0	0	3.64

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	1135名
教員		教室		回収率	
科目	国際学科(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	531	467	116	9	9	3	4.33	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	534	452	115	22	11	1	4.30	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	549	444	108	21	12	1	4.32	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	498	450	137	35	13	2	4.22	4.07
Q5.教材が理解に役立った	530	423	143	23	11	5	4.27	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	525	402	145	43	17	3	4.21	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	548	432	111	27	14	3	4.30	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	515	433	131	35	17	4	4.23	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	509	416	152	34	17	7	4.21	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	576	423	106	17	9	4	4.36	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	519	444	133	20	14	5	4.27	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	536	434	126	20	13	6	4.29	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	334	345	293	84	33	46	3.79	3.34
Q14.よく出席した	619	373	108	20	4	11	4.41	4.41
Q15.予習・復習の時間	218	207	254	151	226	79	3.04	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	510	400	175	22	11	17	4.23	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	434	430	206	30	20	15	4.10	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	495	403	175	23	31	8	4.16	4.00
Q19.授業の総合的満足度	488	428	164	27	18	10	4.19	4.10

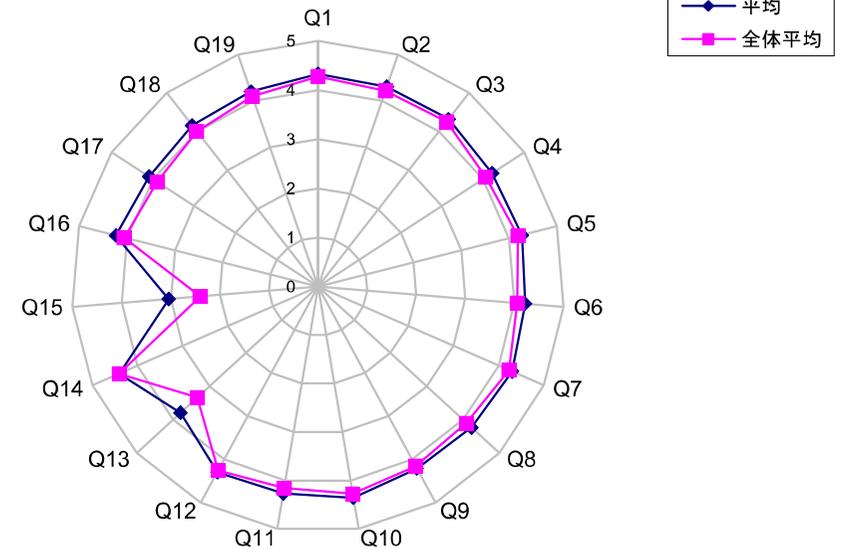
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	497	413	60	13	9	0	4.39
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	465	413	81	22	10	1	4.31
Q5.教材が理解に役立った	497	384	86	12	9	4	4.36
Q6.教員の板書や図の見やすさ	496	363	89	30	12	2	4.31
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	512	398	55	13	12	2	4.40
Q8.説明がわかりやすかった	480	401	73	22	13	3	4.33
Q11.私語に対し適切な対応だった	486	407	75	11	10	3	4.36

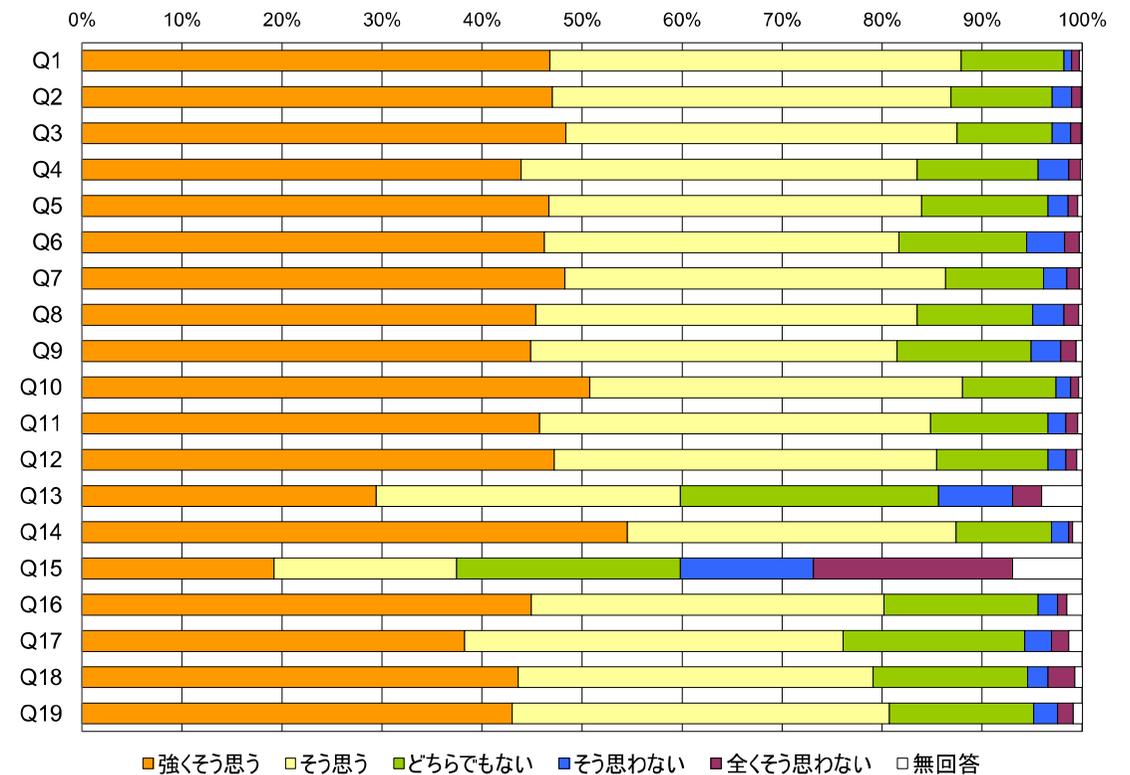
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	33	32	55	9	2	1	3.65
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	30	30	56	12	3	1	3.55
Q5.教材が理解に役立った	30	31	57	11	2	1	3.58
Q6.教員の板書や図の見やすさ	26	31	56	13	5	1	3.46
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	32	27	56	14	2	1	3.56
Q8.説明がわかりやすかった	31	25	58	13	4	1	3.50
Q11.私語に対し適切な対応だった	30	32	57	9	3	1	3.59

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	628名
教員		教室		回収率	
科目	国際学科(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	292	268	49	11	6	2	4.32	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	299	247	58	15	8	1	4.30	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	315	240	57	8	6	2	4.36	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	283	232	83	21	8	1	4.21	4.07
Q5.教材が理解に役立った	301	232	68	18	8	1	4.28	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	274	231	79	25	13	6	4.17	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	317	234	46	17	13	1	4.32	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	288	231	70	24	13	2	4.21	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	286	247	68	9	9	9	4.28	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	332	227	53	7	8	1	4.38	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	283	234	78	15	11	7	4.23	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	340	231	42	7	6	2	4.42	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	139	184	176	55	28	46	3.60	3.34
Q14.よく出席した	330	211	58	13	9	7	4.35	4.41
Q15.予習・復習の時間	69	97	135	91	175	61	2.64	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	238	254	95	12	13	16	4.13	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	225	254	114	16	16	3	4.05	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	248	235	107	19	13	6	4.10	4.00
Q19.授業の総合的満足度	265	253	82	15	10	3	4.20	4.10

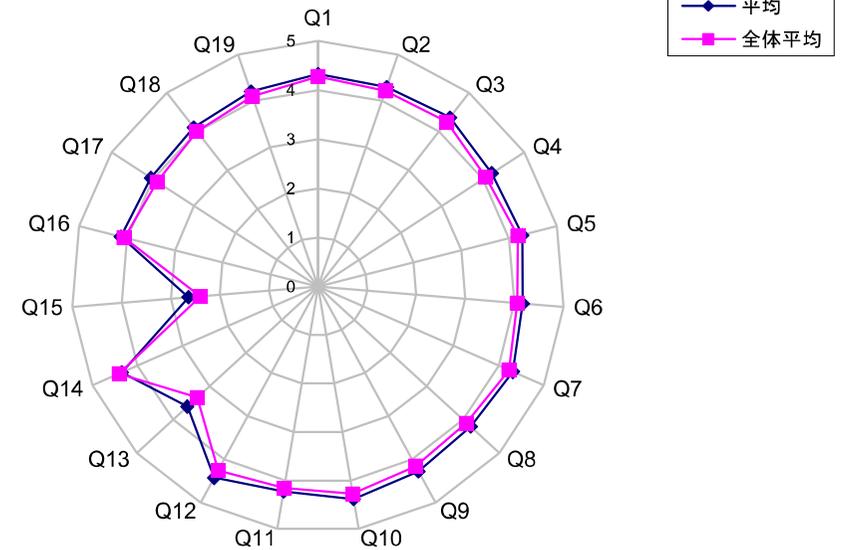
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	279	217	30	13	2	0	4.40
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	267	198	56	18	2	0	4.31
Q5.教材が理解に役立った	284	201	41	12	3	0	4.39
Q6.教員の板書や図の見やすさ	259	203	48	21	5	5	4.29
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	300	201	20	13	7	0	4.43
Q8.説明がわかりやすかった	271	203	42	18	6	1	4.32
Q11.私語に対し適切な対応だった	264	201	51	13	6	6	4.32

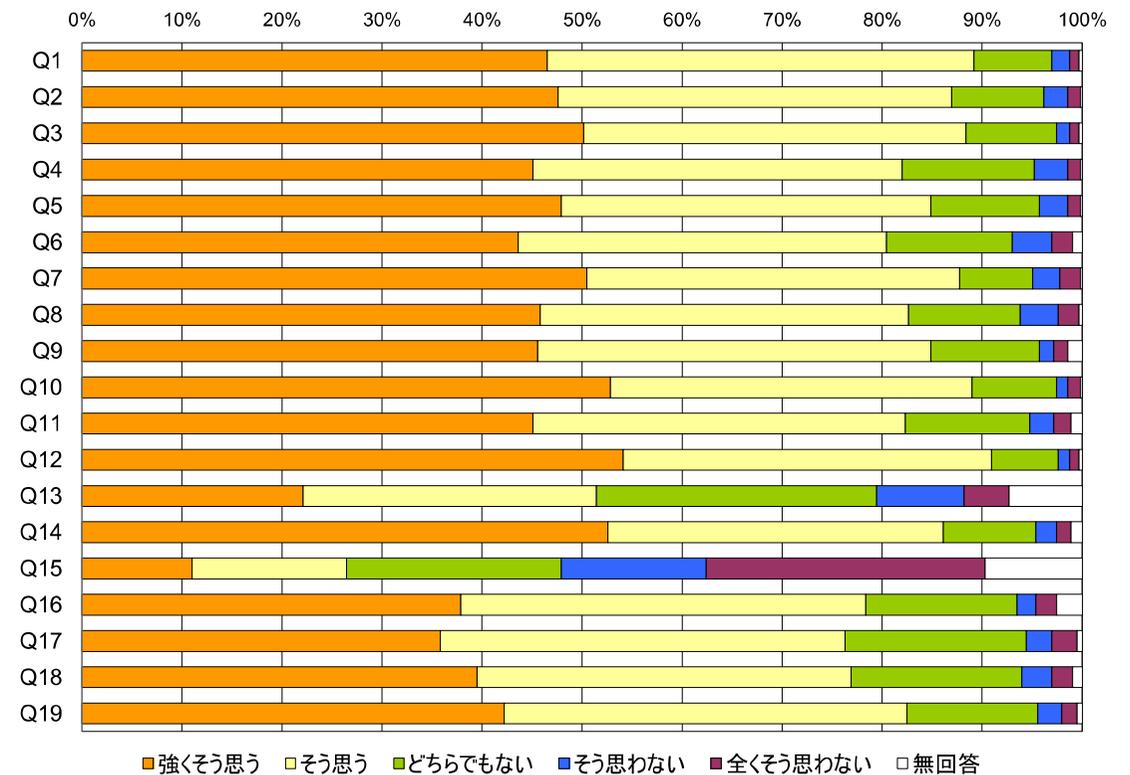
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	15	29	28	2	6	0	3.56
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	12	32	27	3	6	0	3.51
Q5.教材が理解に役立った	12	30	27	6	5	0	3.48
Q6.教員の板書や図の見やすさ	11	26	31	4	8	0	3.35
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	13	32	25	4	6	0	3.53
Q8.説明がわかりやすかった	12	28	28	5	7	0	3.41
Q11.私語に対し適切な対応だった	13	33	27	2	5	0	3.59

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	214名
教員		教室		回収率	
科目	国際学科(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	91	113	5	3	2	0	4.35	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	98	101	10	4	1	0	4.36	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	102	98	9	4	1	0	4.38	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	95	90	18	9	1	1	4.26	4.07
Q5.教材が理解に役立った	101	90	15	5	3	0	4.31	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	99	89	14	9	3	0	4.27	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	111	85	12	4	2	0	4.40	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	100	91	13	6	3	1	4.31	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	101	93	17	1	2	0	4.36	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	106	94	7	5	2	0	4.39	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	90	90	22	7	2	3	4.23	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	105	96	11	0	2	0	4.41	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	36	49	62	44	13	10	3.25	3.34
Q14.よく出席した	56	91	45	13	3	6	3.88	4.41
Q15.予習・復習の時間	21	37	46	35	56	19	2.65	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	63	101	34	4	3	9	4.06	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	74	85	40	9	0	6	4.08	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	89	84	29	3	3	6	4.22	4.00
Q19.授業の総合的満足度	99	80	21	6	1	7	4.30	4.10

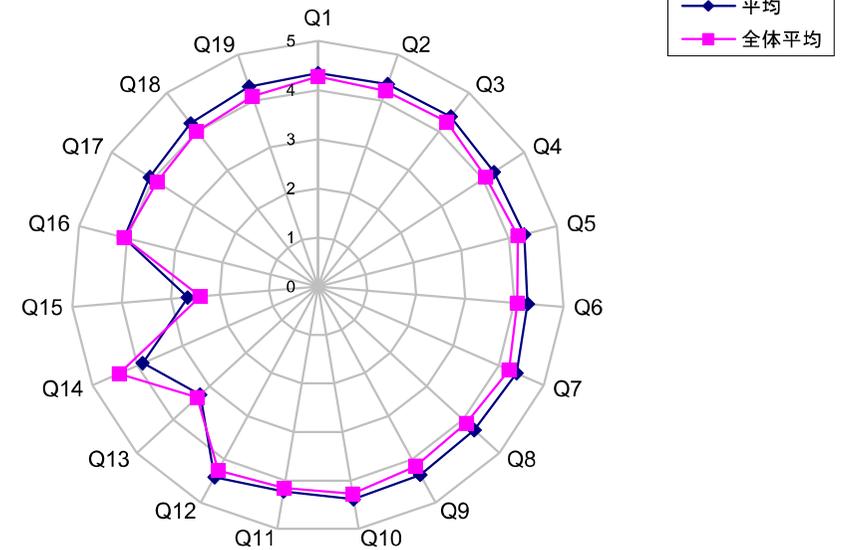
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	78	62	2	4	1	0	4.44
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	78	57	6	5	1	0	4.40
Q5.教材が理解に役立った	78	61	4	2	2	0	4.44
Q6.教員の板書や図の見やすさ	79	57	5	4	2	0	4.41
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	87	50	6	2	2	0	4.48
Q8.説明がわかりやすかった	80	59	3	2	3	0	4.44
Q11.私語に対し適切な対応だった	72	56	9	6	2	2	4.31

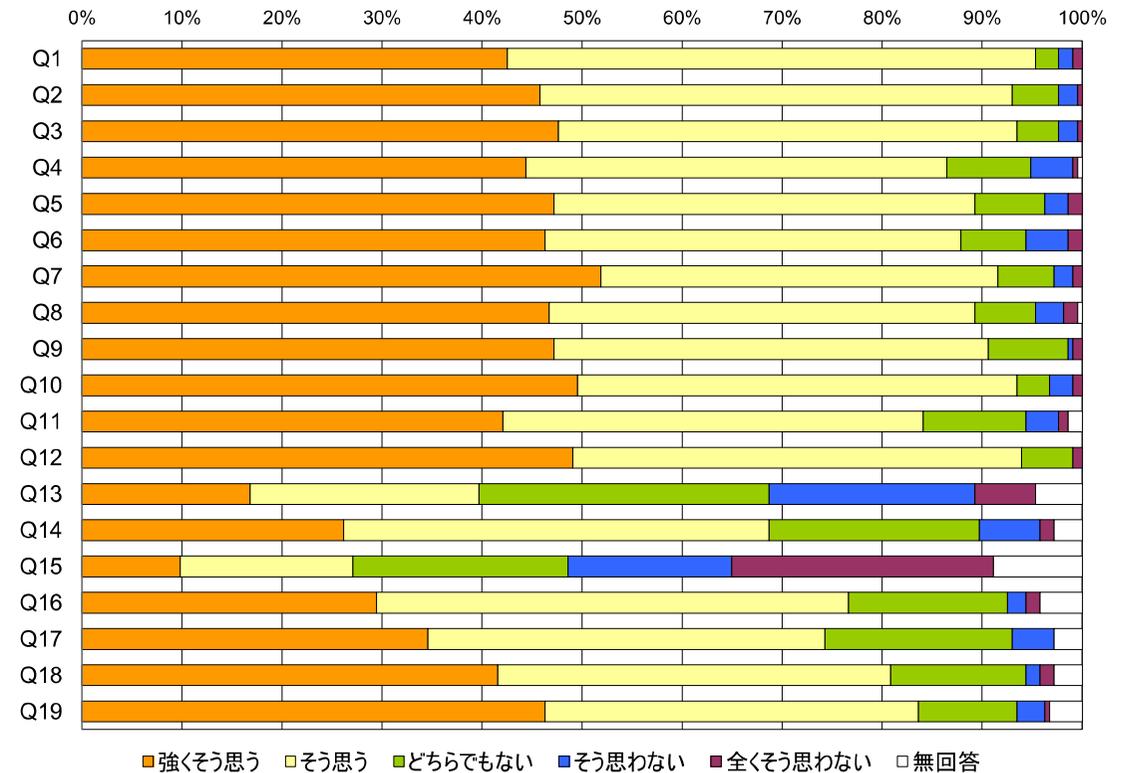
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	18	35	8	0	0	0	4.16
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	15	29	12	4	0	1	3.92
Q5.教材が理解に役立った	21	25	11	3	1	0	4.02
Q6.教員の板書や図の見やすさ	18	28	9	5	1	0	3.93
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	22	31	6	2	0	0	4.20
Q8.説明がわかりやすかった	18	28	10	4	0	1	4.00
Q11.私語に対し適切な対応だった	16	30	13	1	0	1	4.02

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



## (2) 日本文学文化学科の評価結果

### ・結果の概要

学科全体の評価をレーダーチャートで見ると、際立って全体平均よりも低い点、また平均よりも高い評価を得ているとみられる項目はない。

アンケート結果を1年生から見てゆくと、1年生はすべての項目で全体平均を上回っている。特に、Q3. 新しい知識・技術を学べた、Q5. 教材が理解に役立った、Q12. 教員の熱意を感じた、の項目が全体平均を上回っている。

2年生はレーダーチャートでは平均が全体平均とほぼ同じポイントであることがよく分かる。中でも平均よりややポイントが低い項目として、Q6. 教員の板書や図のみやすさ、Q11. 私語に対し適切な対応だった

3年生のレーダーチャートでは平均が全体平均とほぼ同じポイントである。しかし、平均を上回る項目としてQ. 12 教員の熱意を感じたがあげられ、反対に平均を下回る項目としてはQ3. 新しい知識・技術を学べた、があげられる。

4年生になるとレーダーチャート図はおおよそその項目で全体平均を上回っている。Q3. 新しい知識・技術を学べた、Q5. 教材が理解に役立った、Q12. 教員の熱意を感じた、がポイントの高い項目として特筆すべき項目である。

### ・評価結果からみた課題

評価の平均は、1年生と4年生の評価を除いて、全体平均とほぼ同じポイントであることから、学科の授業評価全体としては、総合的には学内の水準に一応達していると見てよいものと判断する。

しかしQ19の授業の総合的満足度については、1年生、2年生ともに平均ポイントであるが、3年生、4年生は平均を上回る。3年生、4年生は学科の授業に対する満足度が高く1年生、2年生はそれに比べやや低いと見るべきなのか。その差が意味するものを分析し、認識することが一つの課題である。

1～3年生に共通して評価の低さが目立つ項目としてはQ15 予習・復習の時間があげられる。この項目は学生自身の自己評価ではあるが、これは学生各個人の学習についてのもとはとらえるのか、また、教師が予習・復習の時間を持つような指導をしているかどうかを評価したものとはとらえるのかという疑問は残る。いずれにしても、学生の予習・復習の時間が少ないということには違いはない。ほとんどの学生が予習と復習をしていないともとれる実態を、重要な課題ととらえるべきであろう。

キャンパス		曜日		履修者数	4930名
学部		時限		回収数	3995名
教員		教室		回収率	81%
科目	日本文学文化学科				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	1442	2035	435	51	11	21	4.22	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1591	1855	458	58	16	17	4.24	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	1670	1798	432	61	16	18	4.27	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1406	1682	690	157	42	18	4.07	4.07
Q5.教材が理解に役立った	1664	1708	483	89	18	33	4.24	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1443	1570	676	161	43	102	4.08	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1872	1621	387	84	17	14	4.32	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	1562	1582	605	182	49	15	4.11	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	1622	1597	643	61	22	50	4.20	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	1692	1658	491	102	34	18	4.23	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	1469	1572	750	75	27	102	4.13	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	1899	1603	415	44	15	19	4.34	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	624	1017	1395	549	225	185	3.33	3.34
Q14.よく出席した	1851	1414	562	104	17	47	4.26	4.41
Q15.予習・復習の時間	367	411	818	588	1380	431	2.38	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	1214	1491	964	90	28	208	4.00	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	1144	1691	914	145	35	66	3.96	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	1359	1571	837	98	62	68	4.04	4.00
Q19.授業の総合的満足度	1552	1626	648	81	47	41	4.15	4.10

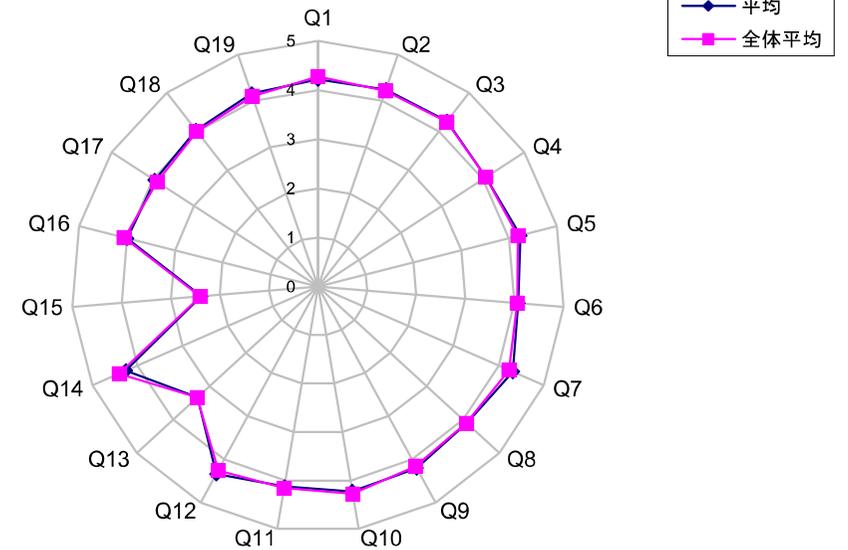
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1426	1543	245	34	9	8	4.33
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1263	1423	440	99	29	11	4.17
Q5.教材が理解に役立った	1477	1431	261	57	14	25	4.33
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1289	1330	426	112	30	78	4.17
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1642	1358	192	56	10	7	4.40
Q8.説明がわかりやすかった	1379	1337	369	135	37	8	4.19
Q11.私語に対し適切な対応だった	1331	1323	474	41	20	76	4.22

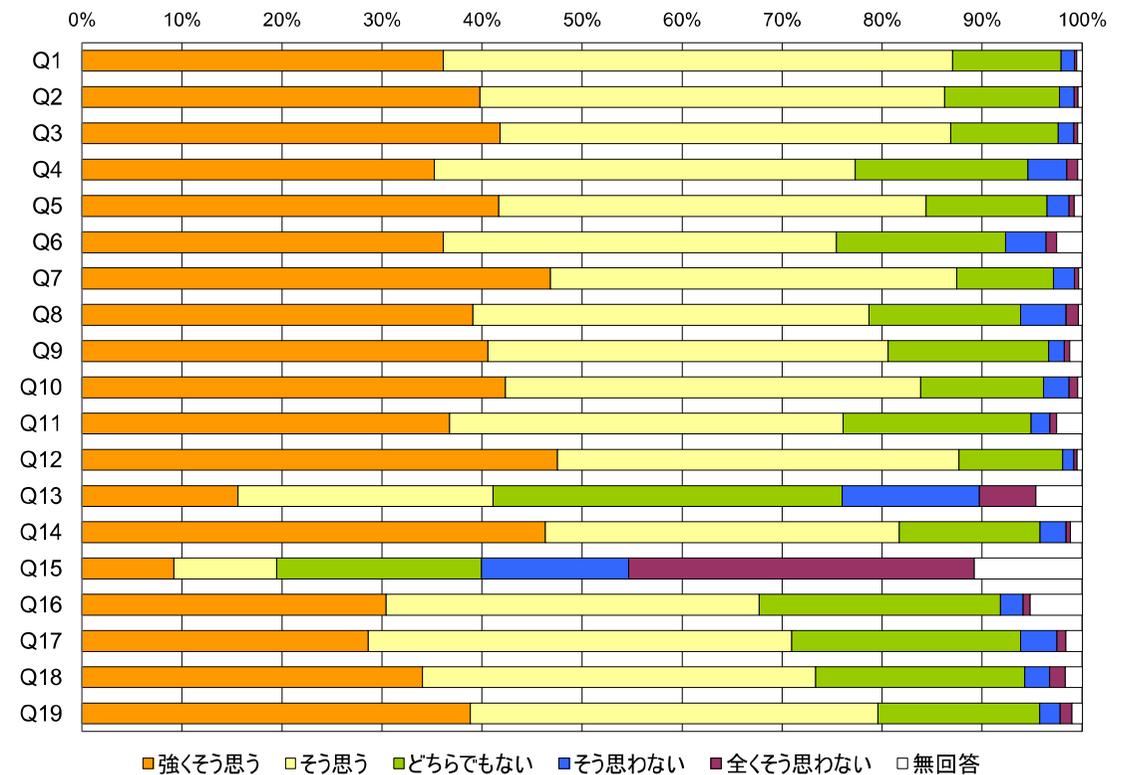
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	152	295	208	23	4	1	3.83
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	136	240	244	54	8	1	3.65
Q5.教材が理解に役立った	179	257	215	29	2	1	3.85
Q6.教員の板書や図の見やすさ	147	223	242	46	10	15	3.68
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	214	246	193	26	4	0	3.94
Q8.説明がわかりやすかった	172	229	229	46	7	0	3.75
Q11.私語に対し適切な対応だった	127	233	268	33	4	18	3.67

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	946名
教員		教室		回収率	
科目	日本文学文化学科(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	418	445	70	12	0	1	4.34	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	439	412	78	10	6	1	4.34	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	489	373	65	14	4	1	4.41	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	398	396	122	18	12	0	4.22	4.07
Q5.教材が理解に役立った	466	360	97	14	3	6	4.35	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	399	362	139	16	5	25	4.23	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	481	370	72	19	3	1	4.38	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	414	382	106	30	13	1	4.22	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	451	341	125	9	10	10	4.30	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	473	358	88	22	5	0	4.34	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	421	341	152	14	5	13	4.24	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	502	343	83	14	3	1	4.40	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	182	282	277	128	48	29	3.46	3.34
Q14.よく出席した	540	285	94	18	2	7	4.43	4.41
Q15.予習・復習の時間	102	103	149	165	356	71	2.35	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	352	342	193	14	8	37	4.12	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	330	394	171	33	9	9	4.07	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	370	357	169	20	17	13	4.12	4.00
Q19.授業の総合的満足度	429	375	111	17	9	5	4.27	4.10

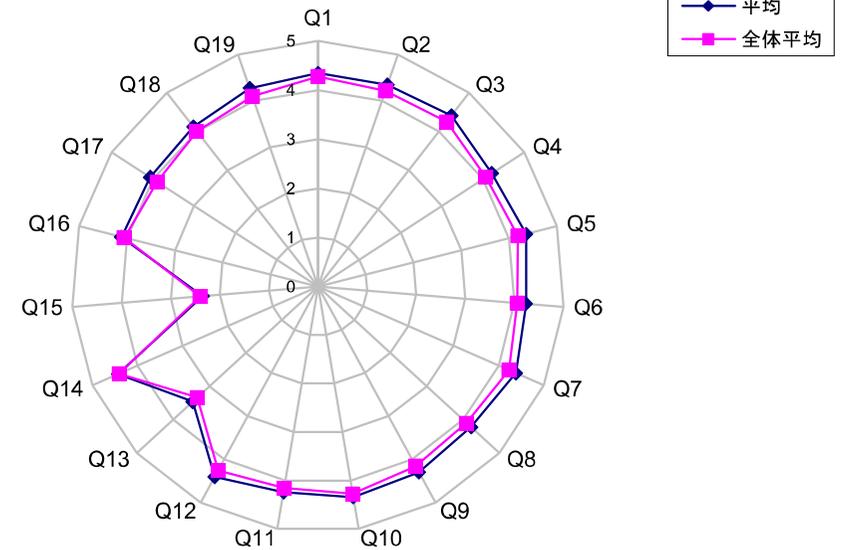
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	404	375	39	4	3	0	4.42
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	367	358	80	11	9	0	4.29
Q5.教材が理解に役立った	429	325	54	8	3	6	4.43
Q6.教員の板書や図の見やすさ	367	331	96	7	4	20	4.30
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	436	333	40	13	2	1	4.44
Q8.説明がわかりやすかった	381	349	66	20	9	0	4.30
Q11.私語に対し適切な対応だった	394	305	102	8	4	12	4.32

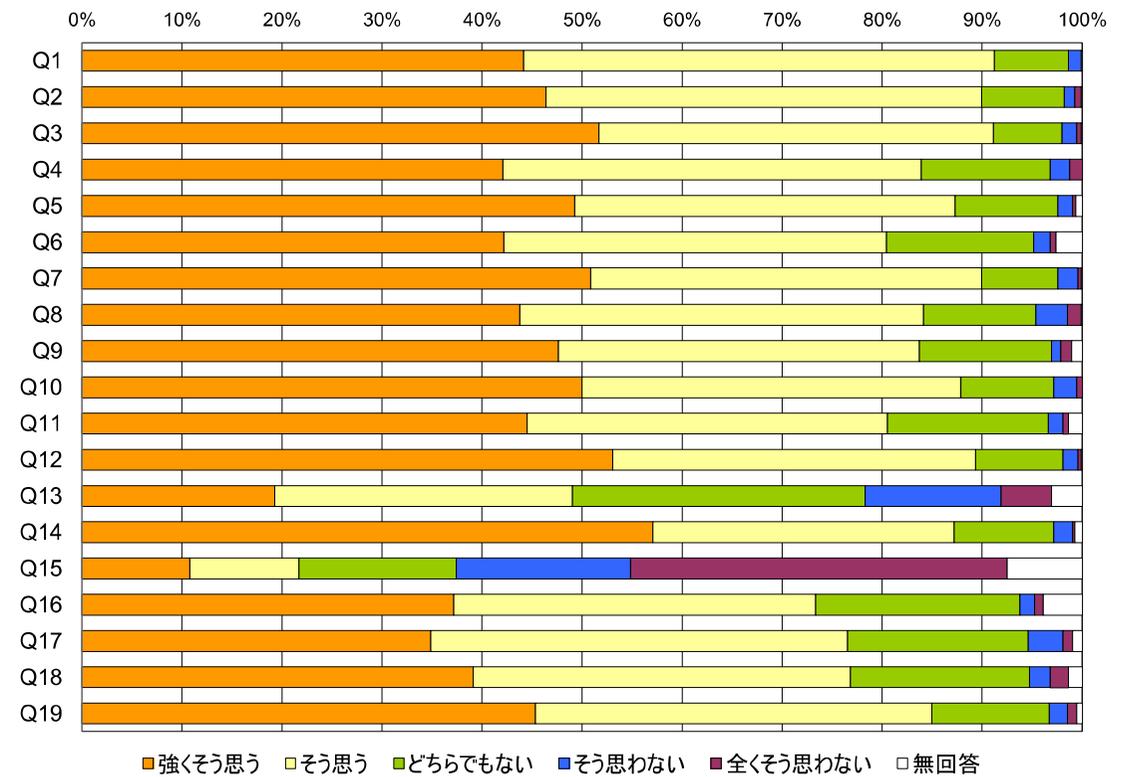
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	33	34	39	6	2	0	3.79
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	29	35	42	7	1	0	3.74
Q5.教材が理解に役立った	36	31	42	5	0	0	3.86
Q6.教員の板書や図の見やすさ	31	27	43	8	1	4	3.72
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	42	35	32	5	0	0	4.00
Q8.説明がわかりやすかった	31	31	40	10	2	0	3.69
Q11.私語に対し適切な対応だった	25	34	48	6	0	1	3.69

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	1534名
教員		教室		回収率	
科目	日本文学文化学科(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	524	769	205	27	6	3	4.16	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	558	742	195	27	6	6	4.19	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	596	717	178	30	9	4	4.22	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	513	620	315	65	16	5	4.01	4.07
Q5.教材が理解に役立った	574	692	210	42	8	8	4.17	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	499	613	286	79	27	30	3.98	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	655	639	184	42	11	3	4.23	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	550	603	273	82	22	4	4.03	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	566	602	312	24	7	23	4.12	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	596	645	227	44	19	3	4.15	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	531	603	314	30	14	42	4.08	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	675	631	192	20	10	6	4.27	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	192	371	572	228	70	101	3.27	3.34
Q14.よく出席した	716	544	219	29	4	22	4.28	4.41
Q15.予習・復習の時間	121	175	352	218	506	162	2.41	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	444	571	396	39	4	80	3.97	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	406	664	364	61	9	30	3.93	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	474	589	375	40	23	33	3.97	4.00
Q19.授業の総合的満足度	552	629	286	32	17	18	4.10	4.10

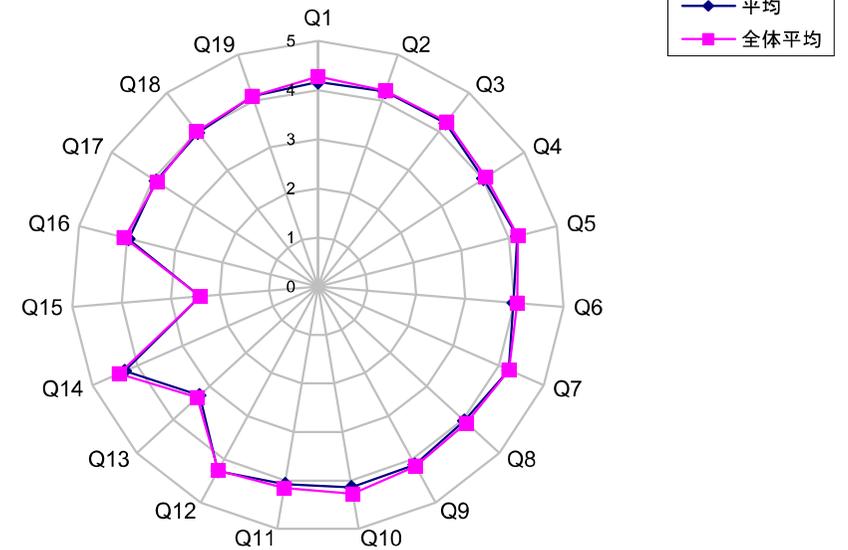
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	514	617	105	15	4	5	4.29
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	475	516	206	46	12	5	4.11
Q5.教材が理解に役立った	524	577	118	28	6	7	4.26
Q6.教員の板書や図の見やすさ	456	522	176	63	19	24	4.08
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	588	540	95	28	7	2	4.33
Q8.説明がわかりやすかった	494	514	165	64	19	4	4.11
Q11.私語に対し適切な対応だった	490	511	195	18	10	36	4.19

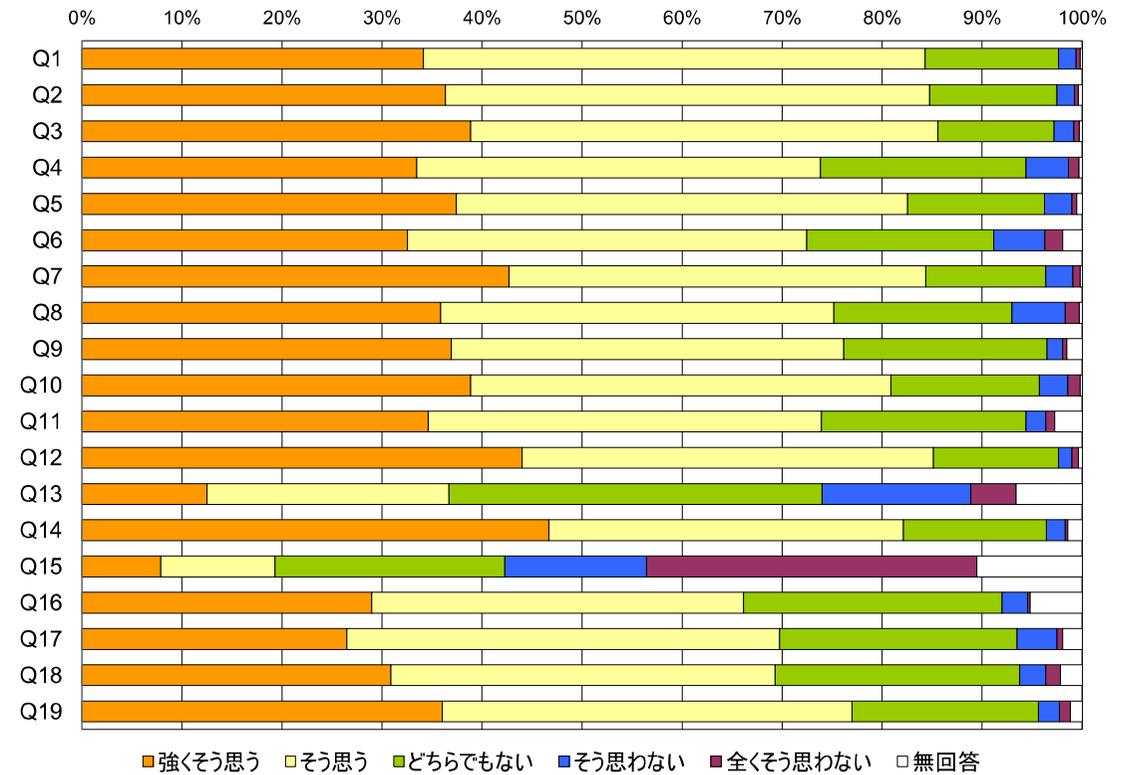
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	38	116	87	11	0	0	3.72
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	35	93	106	17	1	0	3.57
Q5.教材が理解に役立った	46	105	89	12	0	0	3.73
Q6.教員の板書や図の見やすさ	38	83	106	15	5	5	3.54
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	59	89	89	13	2	0	3.75
Q8.説明がわかりやすかった	49	82	104	17	0	0	3.65
Q11.私語に対し適切な対応だった	33	84	115	12	2	6	3.54

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	887名
教員		教室		回収率	
科目	日本文学文化学科(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	268	519	87	6	3	4	4.18	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	320	434	110	17	3	3	4.19	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	307	447	115	13	2	3	4.18	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	247	418	153	54	11	4	3.95	4.07
Q5.教材が理解に役立った	323	435	93	26	5	5	4.18	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	277	375	153	46	9	27	4.01	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	394	400	73	14	2	4	4.33	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	302	384	134	51	12	4	4.03	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	327	417	115	16	3	9	4.19	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	329	433	92	24	6	3	4.19	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	284	404	156	15	5	23	4.10	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	401	403	74	5	1	3	4.36	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	126	213	336	122	58	32	3.27	3.34
Q14.よく出席した	357	358	124	31	6	11	4.17	4.41
Q15.予習・復習の時間	53	87	175	121	328	123	2.24	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	241	348	206	23	10	59	3.95	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	213	374	238	37	13	12	3.84	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	271	379	179	28	16	14	3.99	4.00
Q19.授業の総合的満足度	296	395	147	25	15	9	4.06	4.10

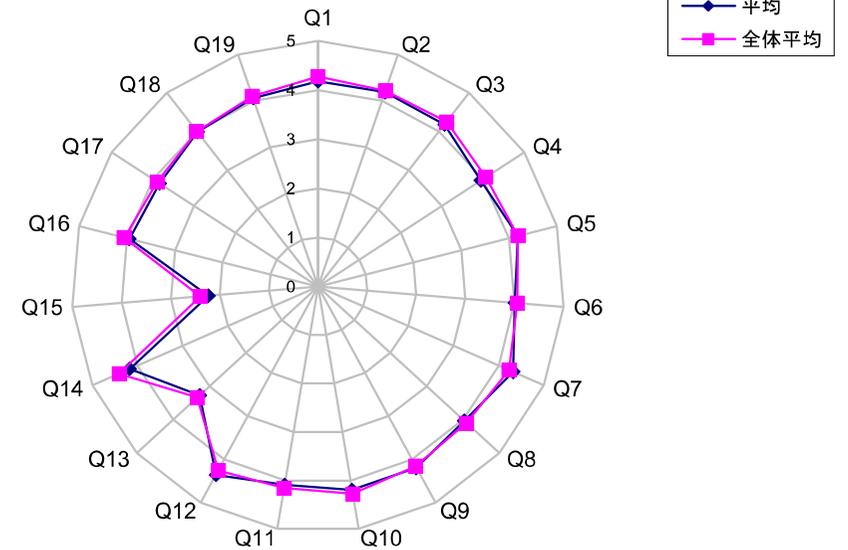
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	276	352	72	13	2	0	4.24
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	215	353	107	32	7	1	4.03
Q5.教材が理解に役立った	275	360	55	18	5	2	4.24
Q6.教員の板書や図の見やすさ	240	305	109	35	6	20	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	339	324	40	10	1	1	4.39
Q8.説明がわかりやすかった	259	313	94	40	8	1	4.09
Q11.私語に対し適切な対応だった	250	332	111	6	4	12	4.16

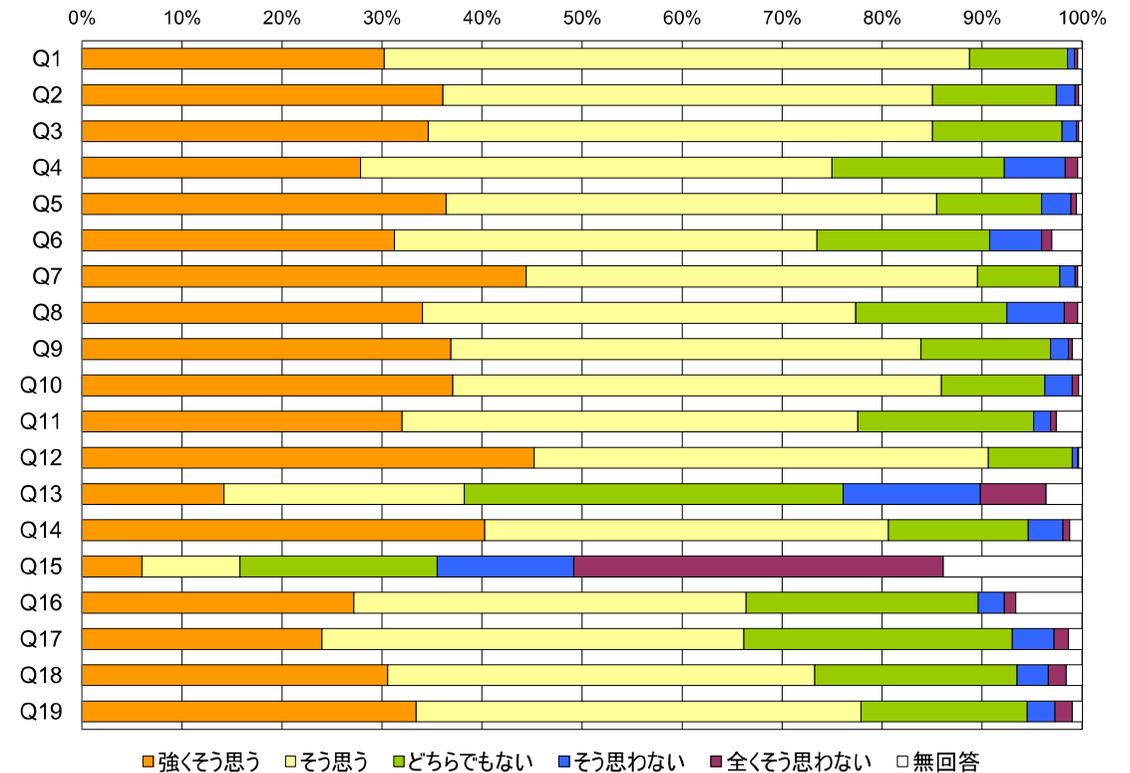
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	42	78	36	4	1	0	3.97
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	31	61	44	21	4	0	3.58
Q5.教材が理解に役立った	46	71	36	8	0	0	3.96
Q6.教員の板書や図の見やすさ	36	66	42	10	3	4	3.78
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	53	72	31	4	1	0	4.07
Q8.説明がわかりやすかった	42	66	38	11	4	0	3.81
Q11.私語に対し適切な対応だった	33	68	43	8	1	8	3.81

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	436名
教員		教室		回収率	
科目	日本文学文化学科(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	174	203	49	3	0	7	4.28	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	194	187	49	3	0	3	4.32	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	199	178	53	1	0	5	4.33	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	184	168	65	12	2	5	4.21	4.07
Q5.教材が理解に役立った	228	135	57	5	1	10	4.37	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	200	135	70	16	1	14	4.23	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	260	128	39	7	0	2	4.48	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	224	132	62	15	1	2	4.30	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	207	159	58	8	0	4	4.31	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	229	149	43	6	1	8	4.40	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	173	144	88	12	2	17	4.13	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	234	150	46	2	0	4	4.43	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	96	94	138	53	43	12	3.35	3.34
Q14.よく出席した	169	153	85	23	3	3	4.07	4.41
Q15.予習・復習の時間	66	30	93	50	148	49	2.52	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	121	163	116	11	3	22	3.94	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	141	174	96	12	2	11	4.04	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	177	170	76	6	4	3	4.18	4.00
Q19.授業の総合的満足度	201	148	73	4	3	7	4.26	4.10

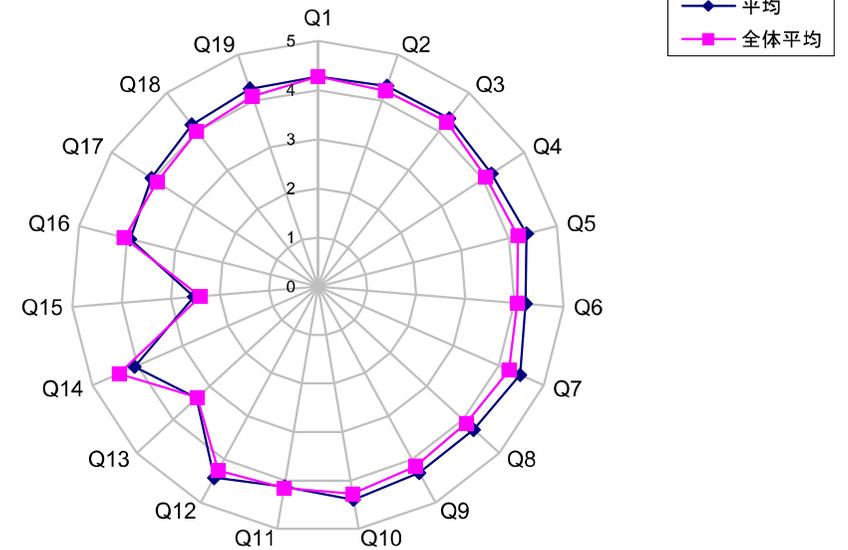
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	162	136	21	2	0	1	4.43
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	150	130	31	7	1	3	4.32
Q5.教材が理解に役立った	184	103	25	2	0	8	4.49
Q6.教員の板書や図の見やすさ	166	103	36	6	1	10	4.37
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	209	96	12	4	0	1	4.59
Q8.説明がわかりやすかった	183	98	30	9	1	1	4.41
Q11.私語に対し適切な対応だった	144	112	43	8	2	13	4.26

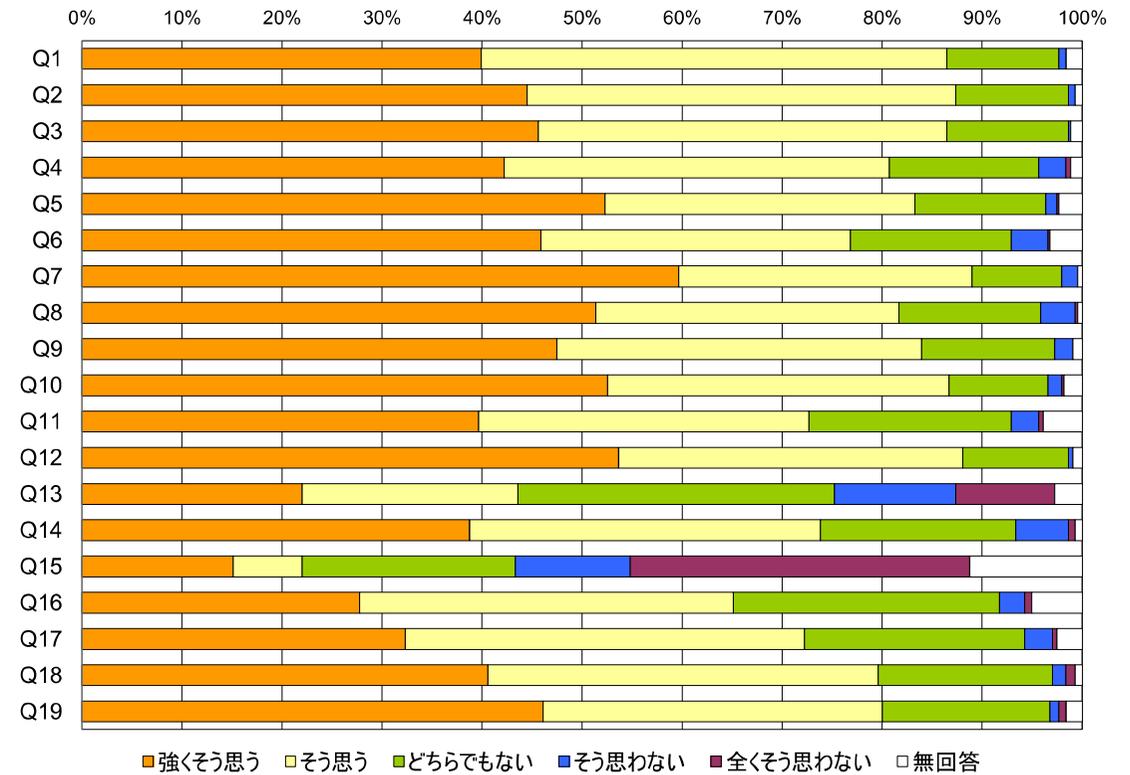
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	30	51	28	1	0	1	4.00
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	33	38	33	5	1	1	3.88
Q5.教材が理解に役立った	44	31	31	3	1	1	4.04
Q6.教員の板書や図の見やすさ	34	32	33	10	0	2	3.83
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	50	31	27	3	0	0	4.15
Q8.説明がわかりやすかった	41	33	31	6	0	0	3.98
Q11.私語に対し適切な対応だった	29	32	45	4	0	1	3.78

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



### (3) 心理学科の評価結果

#### ・結果の概要

授業展開に直接関連する項目として、Q2. 内容は知的刺激に富んでいた (知的刺激)、Q3. 新しい知識・技術を学べた (知識技術)、Q4. 理解度に合わせて授業を進めた (授業進行)、Q5. 教材が理解に役立った (教材)、Q6. 教員の板書や図の見やすさ (板書・図)、Q8. 説明がわかりやすかった (説明)、Q9. 質問への対応が適切だった (質疑対応)、Q12. 教員の熱意を感じた (熱意)、Q15. 予習・復習の時間 (予復習)、Q17. さらに勉強したくなった (学習意欲)、Q19. 授業の総合的満足度 (総合満足) の 11 項目を中心に振り返ることとする。

学科 (学類) 全体では、全体平均とほぼ同じレーダーチャートを示していた。まず、Q19 (総合満足) について学年ごとにみると、1 年生で全体平均よりも低いものの、2 年生ではわずかに低い程度になり、3 年生・4 年生では全体平均を上回るに至った。4 年生では、Q12 (熱意) と Q17 (学習意欲) で全体平均をわずかに下回ったものの、他の 9 項目では全体平均を上回っていた。一方、1 年生では 11 項目すべてにおいて全体平均を下回った。しかし、2 年生以降でその差は明らかな漸減を示した。カリキュラム構成に大きな変更がないことから、1 年生による評価と 2 年生以降による評価の差の一つの要因として挙げられるのは、専門科目の履修者数の増加である。H30 入学者は、それ以前の年度が定員に満たなかったことに対して 123%の人数となり、1 年生の専門科目は、いずれも過去数年間に例をみない履修者数で展開された。担当教員の意識や授業技法の転換が十分に功を奏しえなかったことが推察される。このことは、1 年生と 2 年生以上の間で全体平均との差が明らかであった項目が、Q4 (授業進行)、Q5 (教材)、Q6 (板書・図)、Q8 (説明)、Q9 (質疑対応)、Q12 (熱意)、Q17 (学習意欲)、Q19 (総合満足) であったことによって理解できる。

全体平均のレーダーチャートの中で最も低い Q15 (予復習) については、本学科 (学類) においても同様であったが、ここでも 1 年生が最も低く、2 年生から 3 年生へと学年が上がるにつれて上昇し、4 年生では全体平均を上回る値となった。学年の進行に伴って上記 11 項目の数値は上がっており、2 年生以降の演習や実習の履修により専門性を高め、4 年生での卒業論文で学びの集大成を果たすという本学科 (学類) カリキュラムの効果が窺われる。

#### ・評価結果からみた課題

学科 (学類) における全体的な評価に関しては、大学全体の平均とほぼ同じレーダーチャートを示したことから、平均に近い評価であったと考えられる。ただし、1 年生に見られた評価と 2 年生以降での評価の差については、今後の授業展開、授業技法に従来方式からの転換を考えなくてはならない。ここで取り上げた 11 項目は、そのうえで最も着目しなければならない項目と考えられる。本調査時点の 1 年生への学科の教育支援体制には、学年が上がるごとの新たな課題提起が想定される。学年の進行に伴ったカリキュラムの効果は確認されているので、履修人数の増加に対応した学びの質の確保を第一の課題として、今回の調査結果データを精査し、今後の学科運営に生かしたい。

キャンパス		曜日		履修者数	2120名
学部		時限		回収数	1826名
教員		教室		回収率	86%
科目	心理学科				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	560	1035	158	27	18	28	4.16	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	604	929	198	48	30	17	4.12	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	656	910	166	48	27	19	4.17	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	533	829	292	88	68	16	3.92	4.07
Q5.教材が理解に役立った	625	840	239	57	42	23	4.08	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	506	744	304	105	51	116	3.91	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	629	834	220	82	44	17	4.06	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	537	814	288	105	66	16	3.91	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	525	844	287	75	54	41	3.96	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	685	872	170	50	29	20	4.18	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	541	798	322	76	50	39	3.95	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	586	856	255	55	47	27	4.04	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	267	470	551	188	160	190	3.30	3.34
Q14.よく出席した	891	623	195	50	28	39	4.29	4.41
Q15.予習・復習の時間	126	169	230	185	747	369	2.14	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	558	725	322	53	65	103	3.96	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	434	754	417	97	77	47	3.77	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	491	742	376	79	84	54	3.83	4.00
Q19.授業の総合的満足度	542	781	317	76	61	49	3.94	4.10

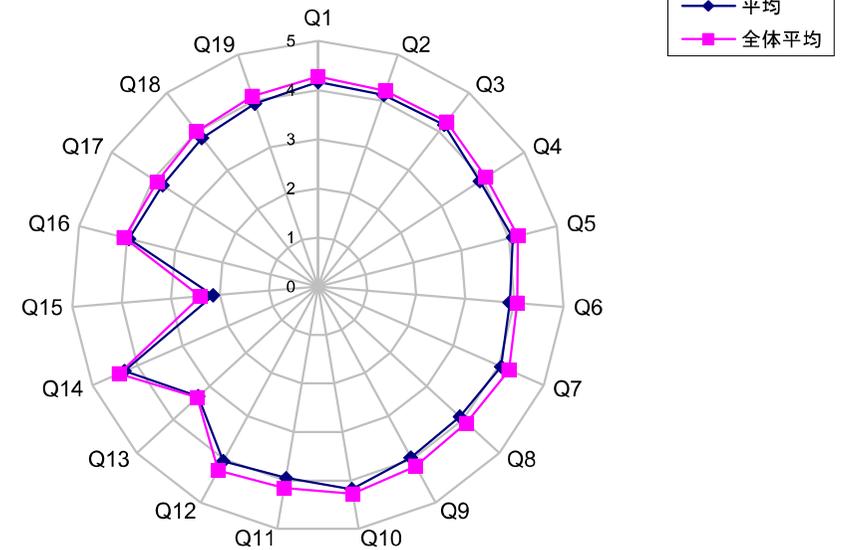
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	566	796	105	32	12	3	4.24
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	498	712	193	66	42	3	4.03
Q5.教材が理解に役立った	582	719	147	34	24	8	4.20
Q6.教員の板書や図の見やすさ	465	640	212	80	29	88	4.00
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	577	717	137	55	24	4	4.17
Q8.説明がわかりやすかった	492	710	193	74	44	1	4.01
Q11.私語に対し適切な対応だった	498	681	229	56	31	19	4.04

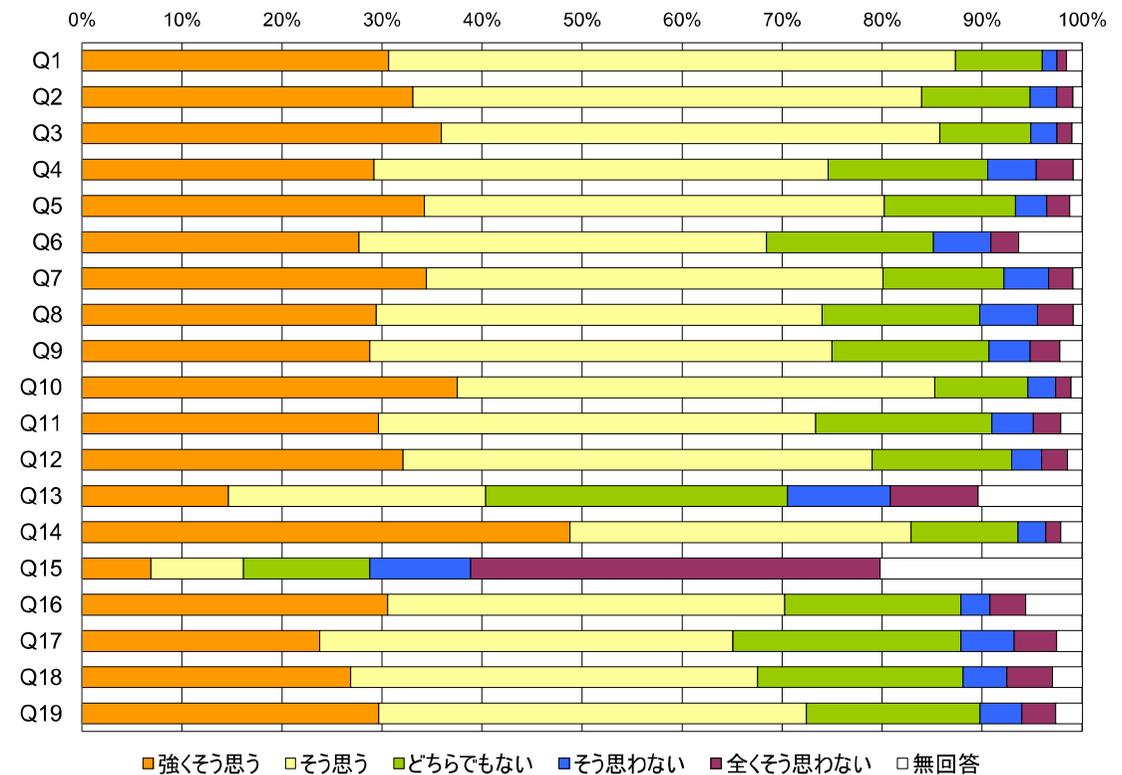
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	33	121	87	13	18	1	3.51
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	33	107	90	18	24	1	3.39
Q5.教材が理解に役立った	38	112	85	20	17	1	3.49
Q6.教員の板書や図の見やすさ	38	95	83	22	22	13	3.40
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	48	106	76	24	19	0	3.51
Q8.説明がわかりやすかった	40	98	86	27	20	2	3.41
Q11.私語に対し適切な対応だった	40	106	87	19	19	2	3.48

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	438名
教員		教室		回収率	
科目	心理学科(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	148	196	59	11	10	14	4.09	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	157	170	64	22	15	10	4.01	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	176	165	51	19	16	11	4.09	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	111	152	92	37	36	10	3.62	4.07
Q5.教材が理解に役立った	140	157	83	24	23	11	3.86	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	108	121	101	48	28	32	3.57	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	121	156	89	40	23	9	3.73	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	107	150	95	40	38	8	3.58	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	113	162	83	33	31	16	3.69	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	169	160	59	20	18	12	4.04	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	144	153	87	25	14	15	3.92	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	103	186	86	21	28	14	3.74	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	48	92	153	47	31	67	3.21	3.34
Q14.よく出席した	254	105	41	9	10	19	4.39	4.41
Q15.予習・復習の時間	19	30	61	64	171	93	2.02	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	133	155	90	20	12	28	3.92	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	112	141	109	27	33	16	3.64	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	111	123	115	27	44	18	3.55	4.00
Q19.授業の総合的満足度	99	161	94	31	32	21	3.63	4.10

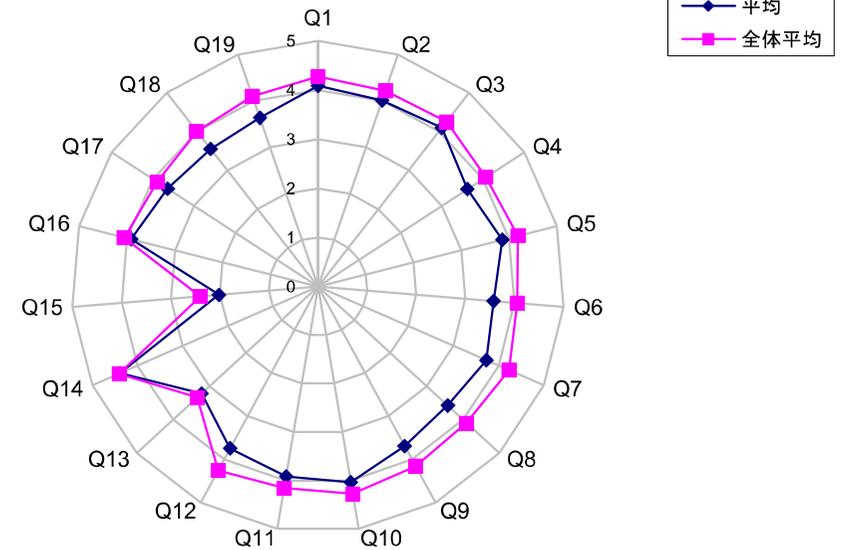
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	147	156	36	13	5	2	4.20
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	105	137	65	30	21	1	3.77
Q5.教材が理解に役立った	129	145	55	15	13	2	4.01
Q6.教員の板書や図の見やすさ	100	108	74	39	16	22	3.70
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	110	147	62	27	12	1	3.88
Q8.説明がわかりやすかった	97	140	68	30	24	0	3.71
Q11.私語に対し適切な対応だった	133	140	59	17	5	5	4.07

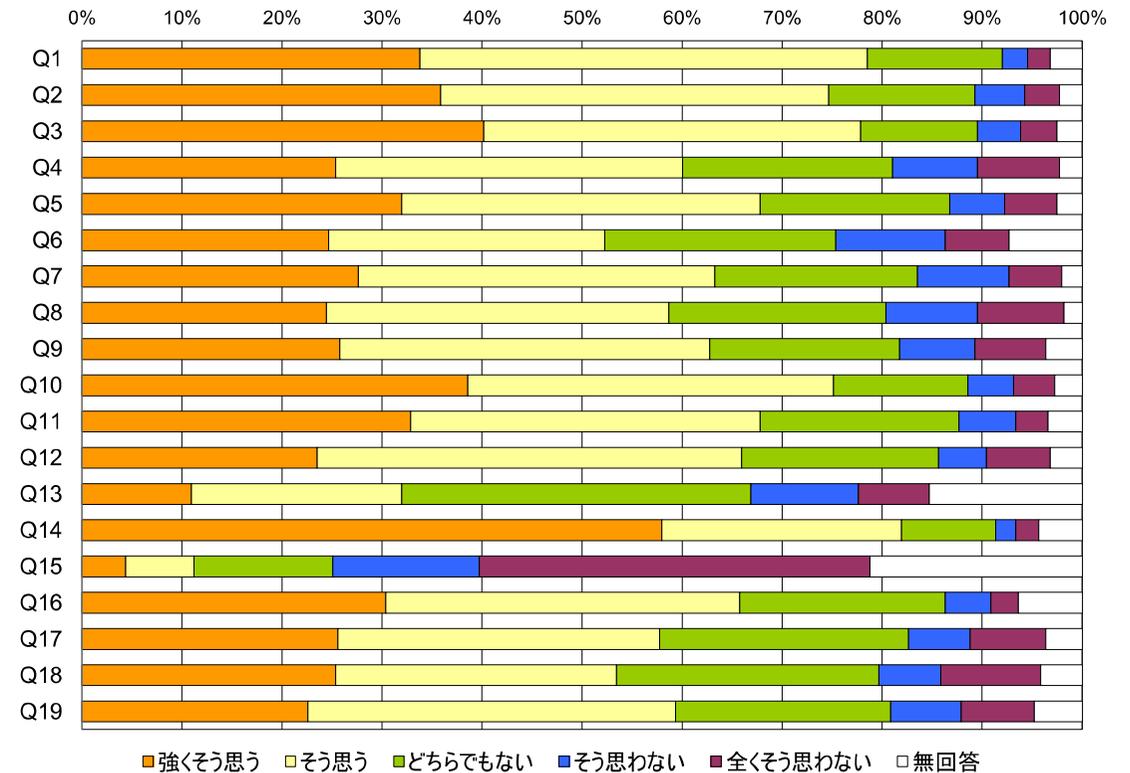
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	6	13	24	7	10	0	2.97
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	6	12	23	6	13	0	2.87
Q5.教材が理解に役立った	7	12	24	8	9	0	3.00
Q6.教員の板書や図の見やすさ	6	10	22	8	12	2	2.83
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	8	8	21	13	10	0	2.85
Q8.説明がわかりやすかった	6	10	22	10	12	0	2.80
Q11.私語に対し適切な対応だった	9	11	23	8	9	0	3.05

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	685名
教員		教室		回収率	
科目	心理学科(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	202	424	43	10	1	5	4.20	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	192	402	71	14	5	1	4.11	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	226	383	54	19	3	0	4.18	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	185	360	98	27	15	0	3.98	4.07
Q5.教材が理解に役立った	229	361	65	20	6	4	4.16	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	193	321	86	30	11	44	4.02	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	232	366	50	31	6	0	4.15	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	185	364	86	37	13	0	3.98	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	186	369	91	27	6	6	4.03	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	232	387	47	17	1	1	4.22	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	174	334	118	34	17	8	3.91	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	218	368	75	19	4	1	4.14	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	91	206	212	72	53	51	3.33	3.34
Q14.よく出席した	306	278	77	16	3	5	4.28	4.41
Q15.予習・復習の時間	41	73	93	75	294	109	2.12	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	208	307	109	19	10	32	4.05	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	146	315	156	42	18	8	3.78	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	163	322	132	33	18	17	3.87	4.00
Q19.授業の総合的満足度	181	353	102	30	11	8	3.98	4.10

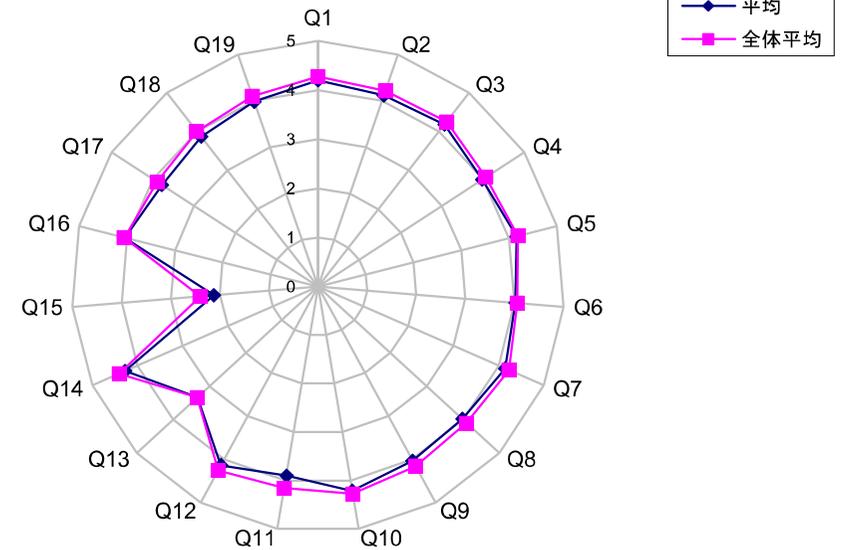
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	184	337	47	12	4	0	4.17
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	178	306	67	21	12	0	4.06
Q5.教材が理解に役立った	218	304	42	11	5	4	4.24
Q6.教員の板書や図の見やすさ	183	275	64	19	8	35	4.10
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	220	307	30	22	5	0	4.22
Q8.説明がわかりやすかった	174	312	60	27	11	0	4.05
Q11.私語に対し適切な対応だった	166	279	88	28	16	7	3.95

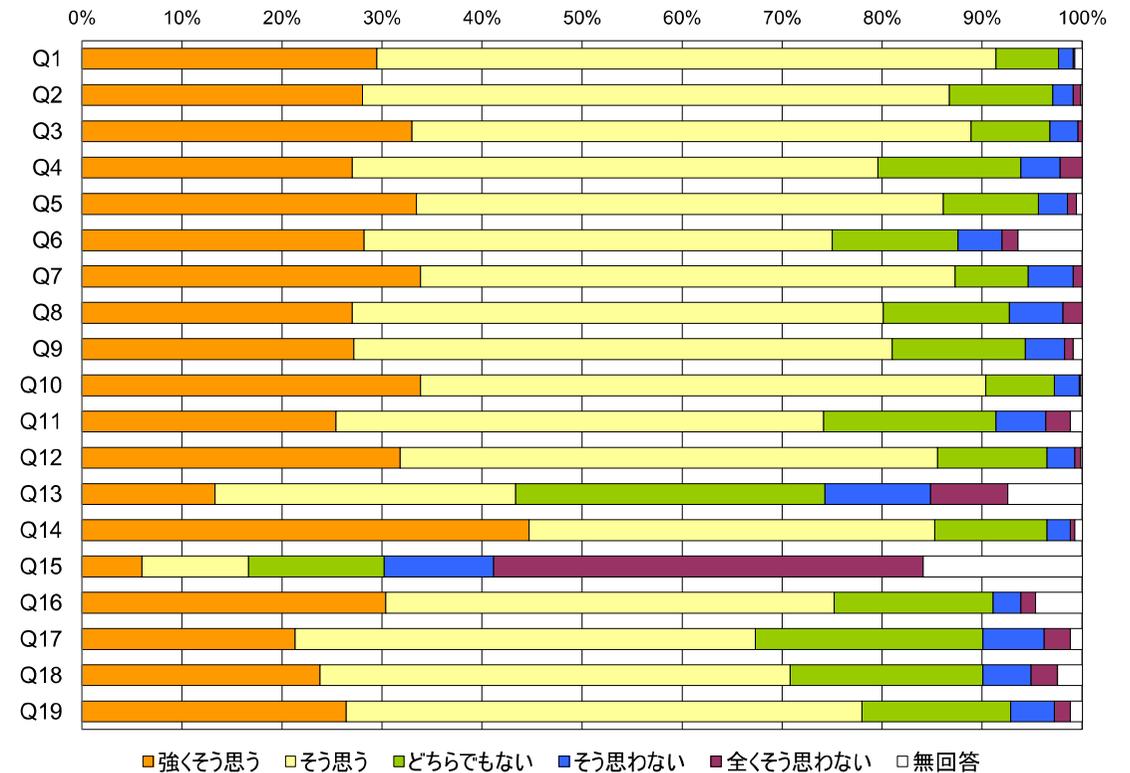
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	7	63	23	2	1	0	3.76
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	6	52	30	5	3	0	3.55
Q5.教材が理解に役立った	10	56	22	7	1	0	3.70
Q6.教員の板書や図の見やすさ	9	45	21	9	3	9	3.55
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	11	58	19	7	1	0	3.74
Q8.説明がわかりやすかった	10	51	25	8	2	0	3.61
Q11.私語に対し適切な対応だった	7	53	30	5	1	0	3.63

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	520名
教員		教室		回収率	
科目	心理学科(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	141	331	33	3	7	5	4.16	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	182	280	39	9	9	1	4.19	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	180	284	40	7	7	2	4.20	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	162	255	70	18	14	1	4.03	4.07
Q5.教材が理解に役立った	180	255	67	4	11	3	4.14	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	133	244	86	14	11	32	3.97	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	193	249	56	6	12	4	4.17	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	168	244	79	13	14	2	4.04	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	155	245	86	9	13	12	4.02	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	209	253	39	8	9	2	4.25	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	155	242	86	10	16	11	4.00	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	194	233	68	6	12	7	4.15	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	96	132	130	39	57	66	3.38	3.34
Q14.よく出席した	275	168	43	10	12	12	4.35	4.41
Q15.予習・復習の時間	47	42	46	29	220	136	2.13	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	165	188	88	5	38	36	3.90	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	136	214	109	20	22	19	3.84	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	162	222	91	11	17	17	4.00	4.00
Q19.授業の総合的満足度	195	203	83	10	13	16	4.11	4.10

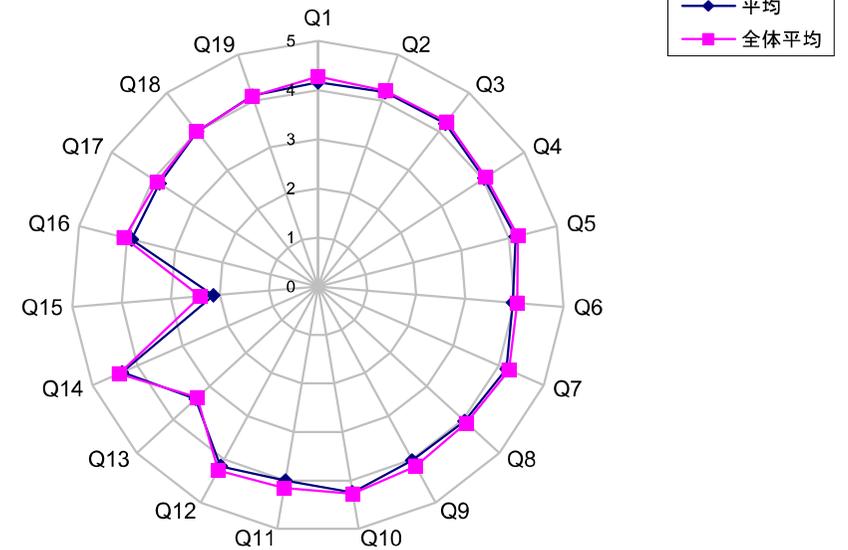
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	178	243	13	6	3	0	4.33
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	157	222	43	12	8	1	4.15
Q5.教材が理解に役立った	174	218	42	3	5	1	4.25
Q6.教員の板書や図の見やすさ	126	212	60	12	5	28	4.07
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	182	215	35	3	6	2	4.28
Q8.説明がわかりやすかった	159	215	52	9	8	0	4.15
Q11.私語に対し適切な対応だった	144	212	63	9	9	6	4.08

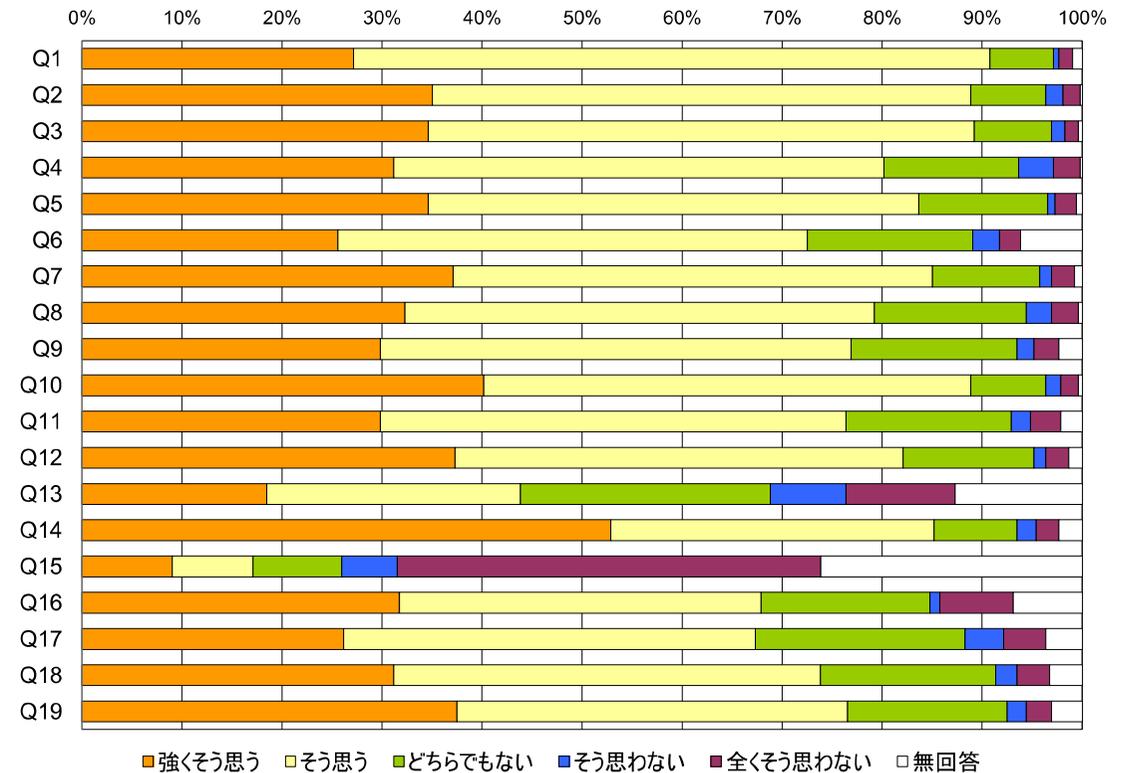
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	4	28	25	2	6	0	3.34
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	4	28	23	4	6	0	3.31
Q5.教材が理解に役立った	6	29	23	1	6	0	3.43
Q6.教員の板書や図の見やすさ	7	27	23	2	6	0	3.42
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	11	25	21	2	6	0	3.51
Q8.説明がわかりやすかった	9	24	24	2	6	0	3.43
Q11.私語に対し適切な対応だった	11	23	22	1	7	1	3.47

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	74名
教員		教室		回収率	
科目	心理学科(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	28	38	7	1	0	0	4.26	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	33	33	7	0	1	0	4.31	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	35	30	6	1	1	1	4.33	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	40	23	10	0	1	0	4.36	4.07
Q5.教材が理解に役立った	35	30	6	2	1	0	4.30	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	34	24	11	3	1	1	4.19	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	42	24	7	0	1	0	4.43	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	37	23	7	6	0	1	4.25	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	35	29	5	3	2	0	4.24	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	36	26	8	3	1	0	4.26	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	31	27	12	2	2	0	4.12	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	34	29	7	3	1	0	4.24	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	13	13	19	13	16	0	2.92	3.34
Q14.よく出席した	16	27	18	11	2	0	3.59	4.41
Q15.予習・復習の時間	11	10	10	3	28	12	2.56	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	20	28	13	6	4	3	3.76	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	18	30	21	3	2	0	3.80	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	25	28	17	2	2	0	3.97	4.00
Q19.授業の総合的満足度	32	25	14	0	2	1	4.16	4.10

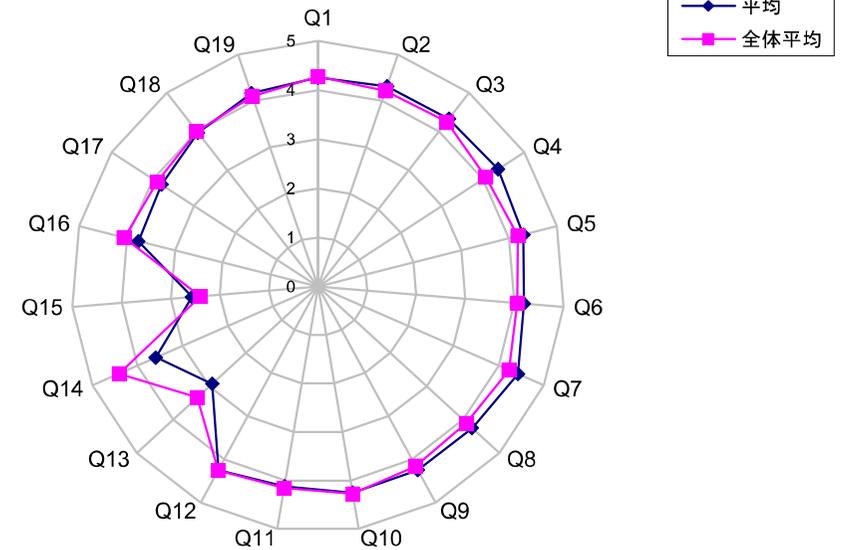
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	19	19	5	0	0	0	4.33
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	23	12	8	0	0	0	4.35
Q5.教材が理解に役立った	21	17	4	1	0	0	4.35
Q6.教員の板書や図の見やすさ	19	13	7	3	0	1	4.14
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	25	13	5	0	0	0	4.47
Q8.説明がわかりやすかった	22	13	5	3	0	0	4.26
Q11.私語に対し適切な対応だった	19	13	10	0	1	0	4.14

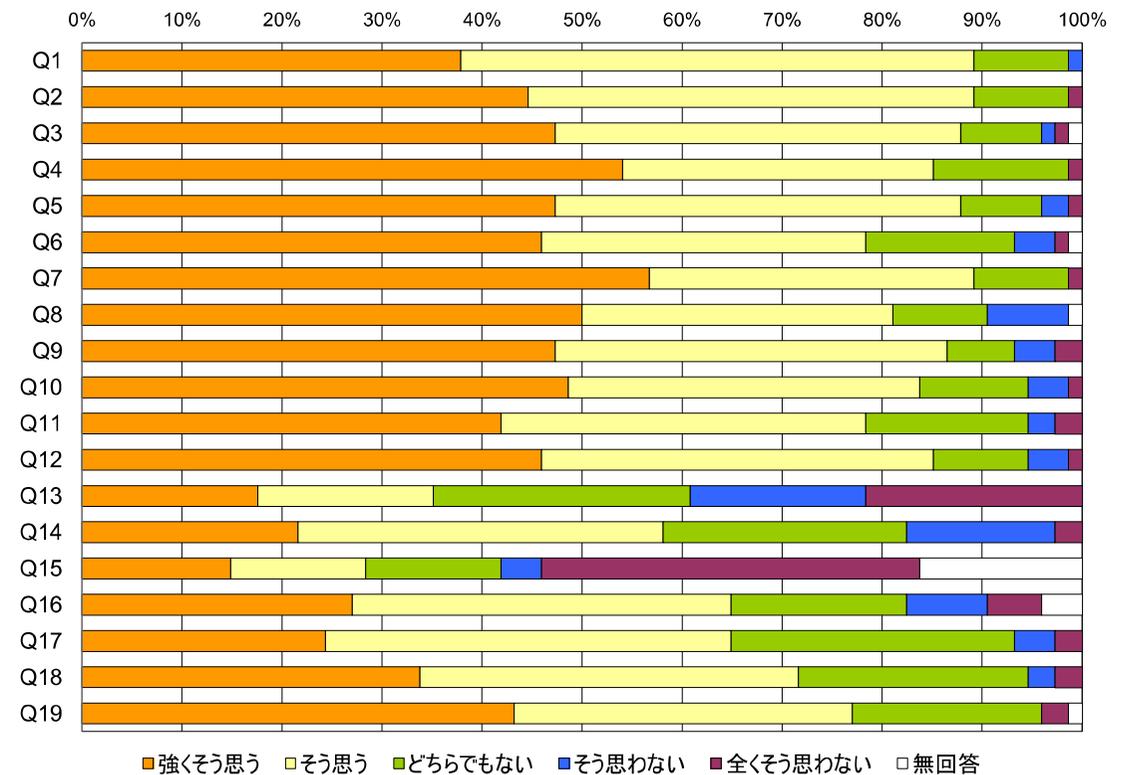
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	14	14	2	0	1	0	4.29
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	17	11	2	0	1	0	4.39
Q5.教材が理解に役立った	14	13	2	1	1	0	4.23
Q6.教員の板書や図の見やすさ	15	11	4	0	1	0	4.26
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	17	11	2	0	1	0	4.39
Q8.説明がわかりやすかった	15	10	2	3	0	1	4.23
Q11.私語に対し適切な対応だった	12	14	2	2	1	0	4.10

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



#### (4) こども発達学科の評価結果

##### ・結果の概要

学科全体では、全体平均のレーダーチャートの軌跡よりやや内側を描く結果となっており、まわっているものの、「Q13 積極的に意見や質問をした」「Q14 よく出席した」「Q16 試験に積極的に取り組んだ」については、全体平均値よりもやや高くなっている。Q14 の中で、出席率の高い群では、とりわけ「Q7 教員の声が聞きやすかった」「Q11 私語に対し適切な対応だった」が 4.13 と高平均値であり、出席率の低い群では、「Q4 理解度に合わせて授業を進めた」「Q8 説明がわかりやすかった」が 3.25、3.27 と低平均値であった。また、課題やグループ研究等が多い学科の特性から、「課題」と「Q15 復習・予習の時間」の区別の問題が、前回の学科総括で挙げられているが、Q15 の平均値は、2.34 と今回も最も低い値となっている。

次に学年別の結果では、学年進行につれて、全体平均との差が顕著になっている。1 年生は、レーダーチャートが全体平均より外側の軌跡を描いているが、2 年生になると若干内側、3 年生、4 年生は、自身に対する評価項目と言える Q13, 14, 15, 16 以外については、全体平均との差が開いている。その差が特に顕著な項目としては、「Q4 理解度に合わせて授業を進めた」「Q5 教材が理解に役立った」「Q8 説明がわかりやすかった」「Q12 教員の熱意を感じた」等であり、全体平均との差は、3 年生で 0.40~0.46、4 年生になると 0.62~0.69 に及んでいる。

##### ・評価結果からみた課題

結果から、読み取れることとして、まず、授業への低出席群は、やはり、教授内容の進度や理解の点で悩んでいる姿が見られるということが挙げられる。これまで学科に一般的に見られた授業出席は当然という雰囲気を継承していくことが望まれる。その一方で、予習・復習時間（学科特性の「課題」と別理解をしている学生が存在するとしても個々の主体的な取組は必要であろう）の確保や、自ら積極的に発信・応答しようとする姿勢については、基礎学力の推移などと総合した読み取りも含め、今後の課題であると言える。自ら主体的に探究する学修姿勢を醸成することは、こども発達学専攻の専門性からも最も要となる重要な点であるからである。

次に、学年別に評価が下がっている傾向については、アンケート対象となった授業科目数やその内容にもよるが、差が顕著な項目から、教員の学生理解や、学生-教員間の関係性という課題が存在していたことを窺わせる。その背景に、入学時点と大きく変わった教員組織という現実が影響していたのではないかと推察されるが、この現実を真摯に受け止め、学科の人材養成の理念を、絶えず確認して目標を共有し、地道に努力する姿勢を堅持していく必要がある。

キャンパス		曜日		履修者数	2776名
学部		時限		回収数	2635名
教員		教室		回収率	95%
科目	こども発達学科				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	871	1314	300	78	49	23	4.10	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	893	1162	374	104	95	7	4.01	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	957	1148	349	95	78	8	4.07	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	825	1038	450	163	148	11	3.85	4.07
Q5.教材が理解に役立った	926	1015	436	128	119	11	3.95	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	818	1037	474	128	112	66	3.90	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1031	1037	350	130	77	10	4.07	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	945	946	391	198	141	14	3.90	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	890	1042	456	121	100	26	3.96	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	1088	1048	344	84	60	11	4.15	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	943	1100	448	74	53	17	4.07	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	1024	1023	382	93	105	8	4.05	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	456	732	895	272	190	90	3.39	3.34
Q14.よく出席した	1758	647	166	29	7	28	4.58	4.41
Q15.予習・復習の時間	184	331	492	427	913	288	2.34	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	1049	1021	431	66	31	37	4.15	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	757	1039	570	128	119	22	3.84	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	894	928	503	139	145	26	3.88	4.00
Q19.授業の総合的満足度	898	957	480	134	145	21	3.89	4.10

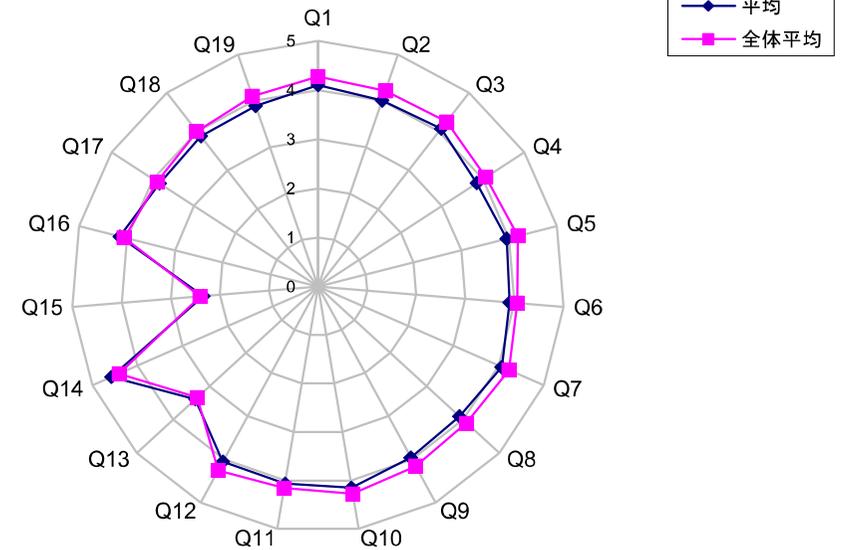
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	855	1093	279	91	81	6	4.06
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	792	987	341	149	128	8	3.90
Q5.教材が理解に役立った	888	953	336	113	105	10	4.00
Q6.教員の板書や図の見やすさ	784	980	368	117	93	63	3.96
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	990	980	246	117	63	9	4.13
Q8.説明がわかりやすかった	907	897	289	180	120	12	3.96
Q11.私語に対し適切な対応だった	910	1035	340	59	46	15	4.13

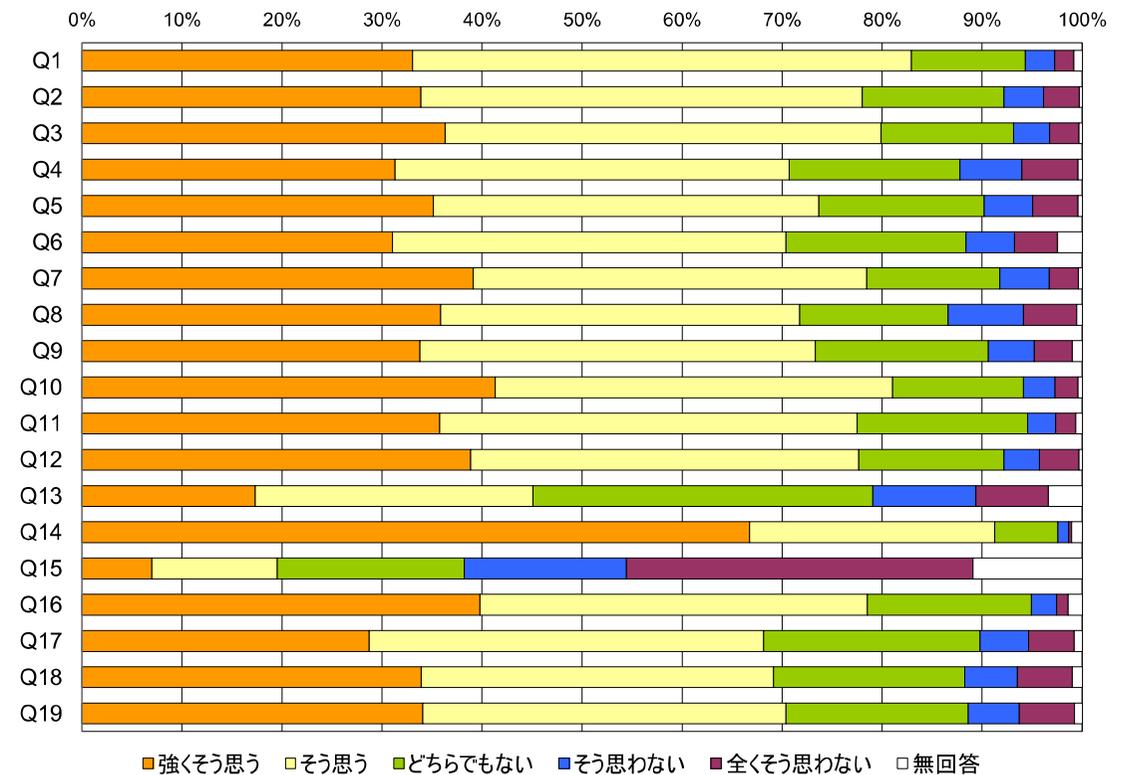
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	27	63	92	12	8	0	3.44
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	23	44	106	14	13	2	3.25
Q5.教材が理解に役立った	29	54	98	13	8	0	3.41
Q6.教員の板書や図の見やすさ	25	52	102	9	13	1	3.33
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	31	50	101	12	8	0	3.42
Q8.説明がわかりやすかった	28	43	99	17	14	1	3.27
Q11.私語に対し適切な対応だった	25	57	102	14	3	1	3.43

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	502名
教員		教室		回収率	
科目	こども発達学科(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	220	251	28	3	0	0	4.37	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	239	212	50	1	0	0	4.37	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	268	193	39	1	0	1	4.45	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	204	206	76	16	0	0	4.19	4.07
Q5.教材が理解に役立った	252	186	54	10	0	0	4.35	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	210	210	66	10	2	4	4.24	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	288	176	33	4	0	1	4.49	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	247	191	50	13	1	0	4.33	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	197	215	79	6	3	2	4.19	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	257	189	45	11	0	0	4.38	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	211	212	71	5	0	3	4.26	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	261	192	46	2	1	0	4.41	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	66	141	199	62	22	12	3.34	3.34
Q14.よく出席した	359	112	22	4	1	4	4.65	4.41
Q15.予習・復習の時間	30	53	88	101	197	33	2.19	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	201	192	90	11	1	7	4.17	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	164	219	105	10	0	4	4.08	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	199	193	97	9	0	4	4.17	4.00
Q19.授業の総合的満足度	207	224	65	3	0	3	4.27	4.10

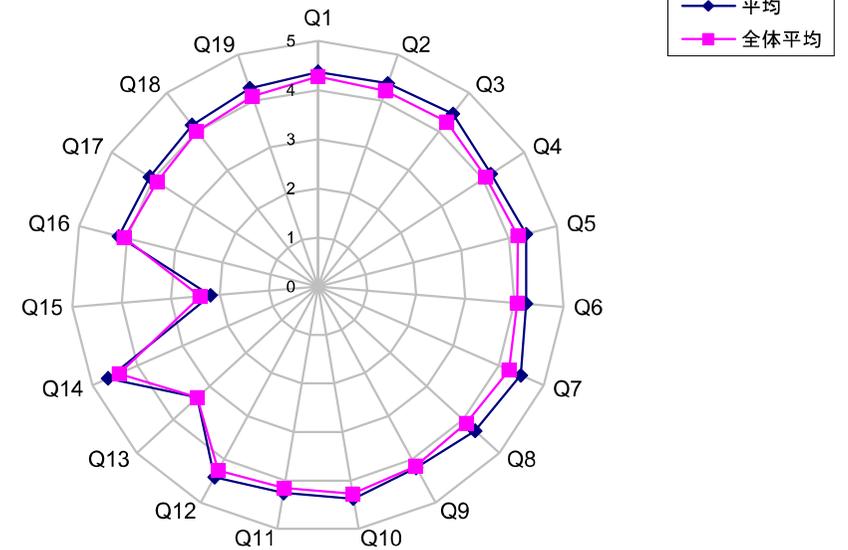
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	229	199	42	1	0	0	4.39
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	195	195	65	16	0	0	4.21
Q5.教材が理解に役立った	242	175	44	10	0	0	4.38
Q6.教員の板書や図の見やすさ	199	201	55	10	2	4	4.25
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	273	169	24	4	0	1	4.51
Q8.説明がわかりやすかった	234	184	40	12	1	0	4.35
Q11.私語に対し適切な対応だった	202	202	60	4	0	3	4.29

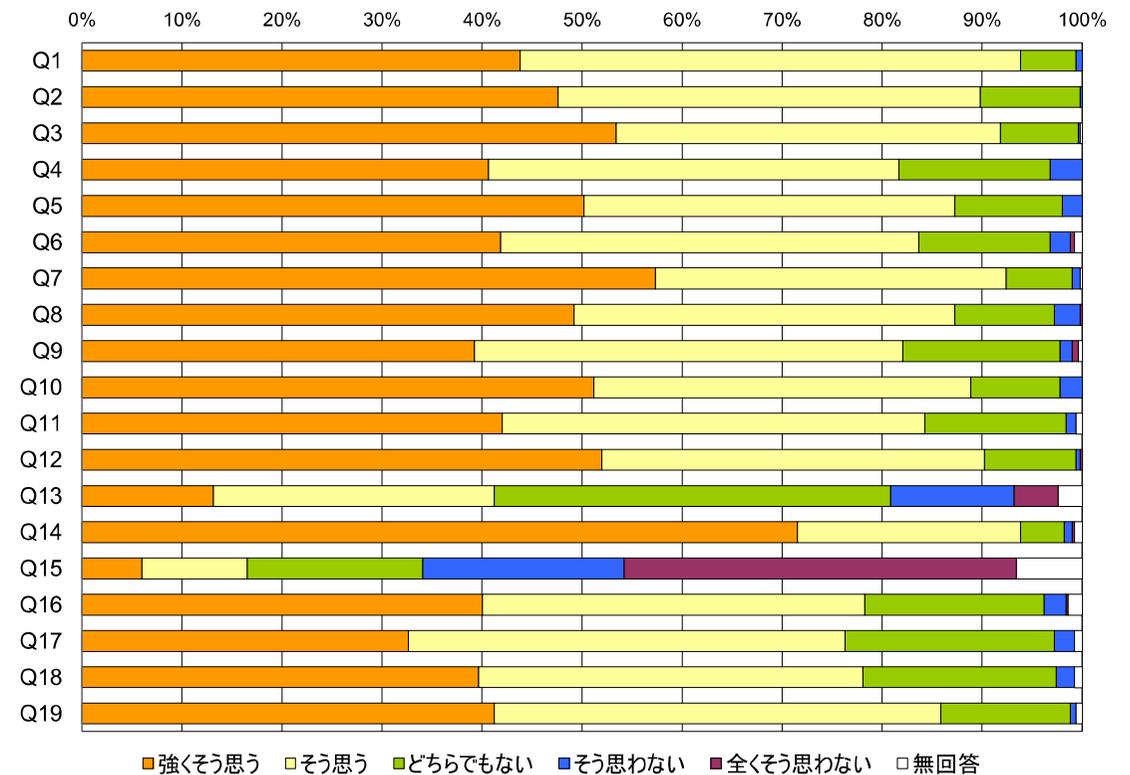
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	7	12	8	0	0	0	3.96
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	7	9	11	0	0	0	3.85
Q5.教材が理解に役立った	8	9	10	0	0	0	3.93
Q6.教員の板書や図の見やすさ	8	8	11	0	0	0	3.89
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	11	7	9	0	0	0	4.07
Q8.説明がわかりやすかった	10	7	9	1	0	0	3.96
Q11.私語に対し適切な対応だった	8	7	11	1	0	0	3.81

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	954名
教員		教室		回収率	
科目	こども発達学科(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	285	512	108	31	17	1	4.07	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	302	469	136	31	15	1	4.06	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	327	451	141	23	11	1	4.11	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	306	417	162	45	22	2	3.99	4.07
Q5.教材が理解に役立った	322	407	172	35	17	1	4.03	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	280	410	191	39	17	17	3.96	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	361	419	132	30	11	1	4.14	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	341	377	133	78	24	1	3.98	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	342	413	151	29	18	1	4.08	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	402	401	120	22	9	0	4.22	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	347	428	159	10	10	0	4.14	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	366	417	137	25	9	0	4.16	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	173	267	358	88	47	21	3.46	3.34
Q14.よく出席した	613	258	70	8	1	4	4.55	4.41
Q15.予習・復習の時間	70	124	200	160	293	107	2.43	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	379	364	166	24	11	10	4.14	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	276	398	216	41	20	3	3.91	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	342	377	168	45	20	2	4.03	4.00
Q19.授業の総合的満足度	332	387	172	36	25	2	4.01	4.10

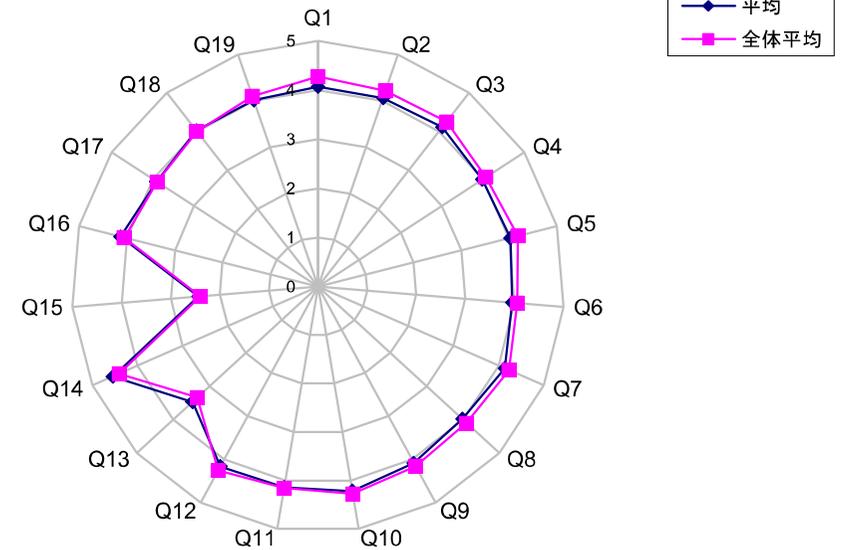
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	292	437	99	28	14	1	4.11
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	293	396	120	40	21	1	4.03
Q5.教材が理解に役立った	309	381	135	29	16	1	4.08
Q6.教員の板書や図の見やすさ	271	383	153	36	13	15	4.01
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	349	393	92	27	9	1	4.20
Q8.説明がわかりやすかった	329	355	92	72	23	0	4.03
Q11.私語に対し適切な対応だった	333	401	121	7	9	0	4.20

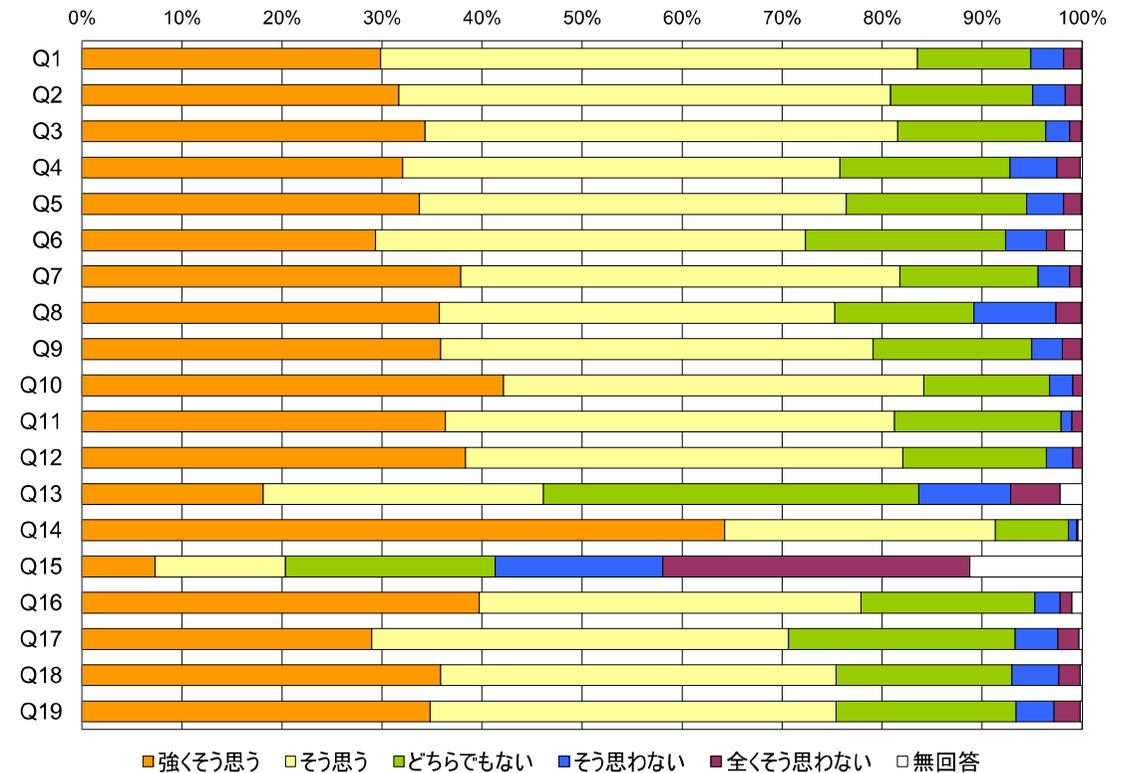
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	7	31	37	3	1	0	3.51
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	10	20	42	5	1	1	3.42
Q5.教材が理解に役立った	12	23	37	6	1	0	3.49
Q6.教員の板書や図の見やすさ	8	25	38	3	4	1	3.38
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	11	23	40	3	2	0	3.48
Q8.説明がわかりやすかった	10	20	41	6	1	1	3.41
Q11.私語に対し適切な対応だった	11	26	38	3	1	0	3.54

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	898名
教員		教室		回収率	
科目	こども発達学科(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	287	415	127	32	24	13	4.03	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	273	378	136	55	53	3	3.85	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	276	398	127	52	42	3	3.91	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	244	323	156	75	94	6	3.61	4.07
Q5.教材が理解に役立った	274	333	156	62	67	6	3.77	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	250	321	160	58	70	39	3.73	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	300	339	137	67	51	4	3.86	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	282	297	152	71	88	8	3.69	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	266	324	175	64	55	14	3.77	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	331	363	135	34	29	6	4.05	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	301	349	162	47	31	8	3.95	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	308	328	143	48	68	3	3.85	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	165	249	249	91	95	49	3.35	3.34
Q14.よく出席した	609	206	55	6	3	19	4.61	4.41
Q15.予習・復習の時間	69	122	155	114	327	111	2.35	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	341	373	133	21	14	16	4.14	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	246	328	189	53	73	9	3.70	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	265	285	177	63	95	13	3.64	4.00
Q19.授業の総合的満足度	276	268	186	69	87	12	3.65	4.10

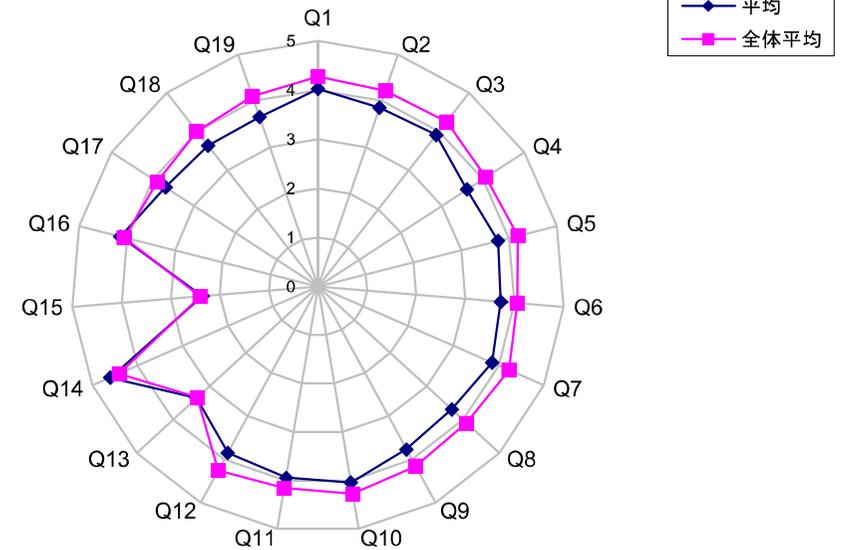
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	258	358	102	50	45	2	3.90
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	235	309	117	71	79	4	3.68
Q5.教材が理解に役立った	260	313	122	57	58	5	3.81
Q6.教員の板書や図の見やすさ	239	306	121	53	58	38	3.79
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	289	322	98	62	41	3	3.93
Q8.説明がわかりやすかった	270	283	116	66	73	7	3.76
Q11.私語に対し適切な対応だった	292	330	119	41	27	6	4.01

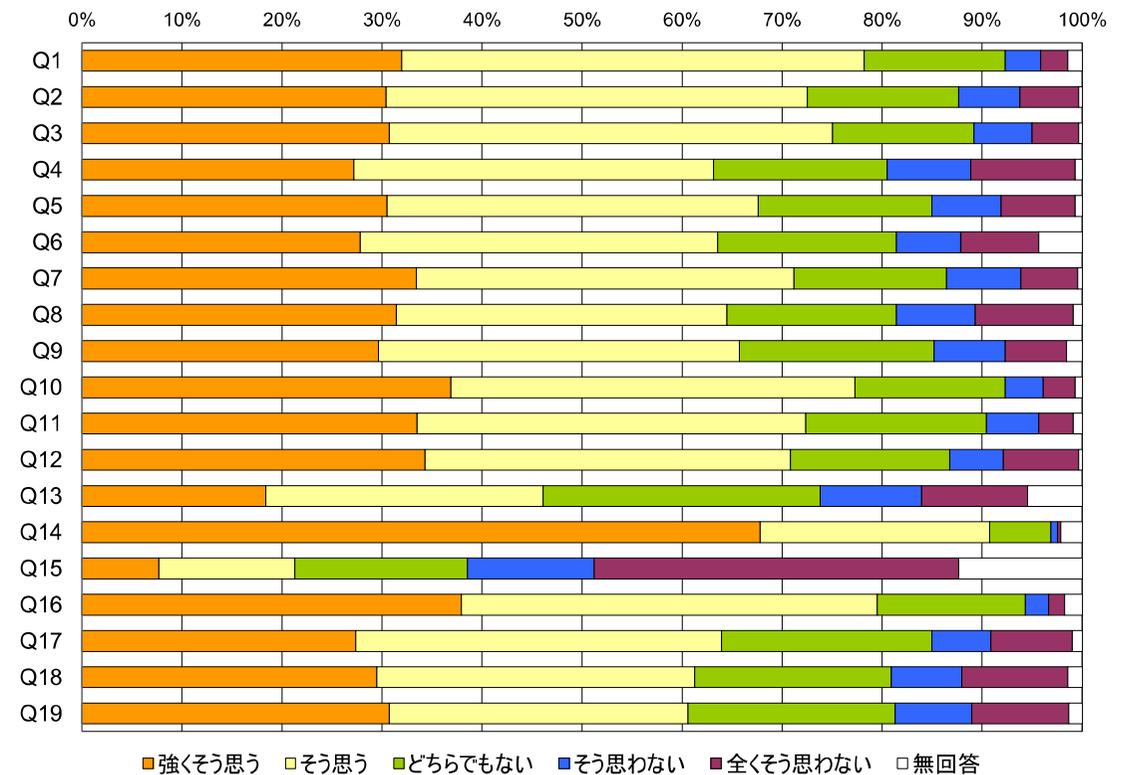
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	10	16	31	4	3	0	3.41
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	4	10	36	4	9	1	2.94
Q5.教材が理解に役立った	8	17	32	3	4	0	3.34
Q6.教員の板書や図の見やすさ	6	13	35	3	7	0	3.13
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	6	13	36	4	5	0	3.17
Q8.説明がわかりやすかった	7	10	34	4	9	0	3.03
Q11.私語に対し適切な対応だった	5	15	37	5	1	1	3.29

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	169名
教員		教室		回収率	
科目	こども発達学科(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	44	87	23	8	2	5	3.99	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	48	56	35	14	15	1	3.64	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	51	58	29	15	15	1	3.68	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	41	50	39	20	18	1	3.45	4.07
Q5.教材が理解に役立った	48	48	33	16	22	2	3.50	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	52	54	34	15	13	1	3.70	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	51	56	31	22	8	1	3.71	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	44	41	38	30	15	1	3.41	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	52	45	38	14	15	5	3.64	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	61	51	27	13	15	2	3.78	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	52	62	36	9	7	3	3.86	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	53	47	37	13	18	1	3.62	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	31	43	53	23	15	4	3.32	3.34
Q14.よく出席した	110	41	10	8	0	0	4.50	4.41
Q15.予習・復習の時間	6	11	30	37	62	23	2.05	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	76	50	31	6	4	2	4.13	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	44	45	46	15	17	2	3.50	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	51	38	43	17	17	3	3.54	4.00
Q19.授業の総合的満足度	51	40	39	19	18	2	3.52	4.10

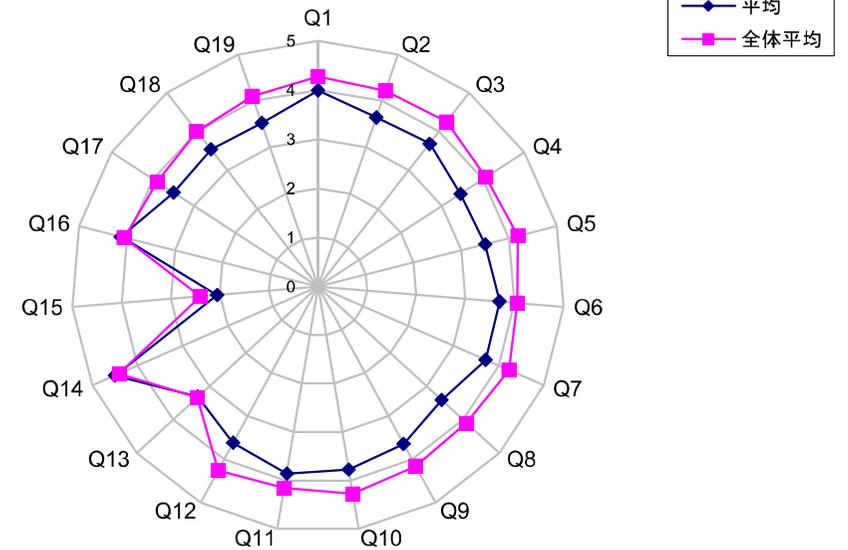
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	46	53	28	9	14	1	3.72
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	40	47	31	15	17	1	3.52
Q5.教材が理解に役立った	47	44	25	12	21	2	3.56
Q6.教員の板書や図の見やすさ	49	50	26	12	13	1	3.73
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	48	51	26	17	8	1	3.76
Q8.説明がわかりやすかった	43	37	32	25	13	1	3.48
Q11.私語に対し適切な対応だった	51	56	30	4	7	3	3.95

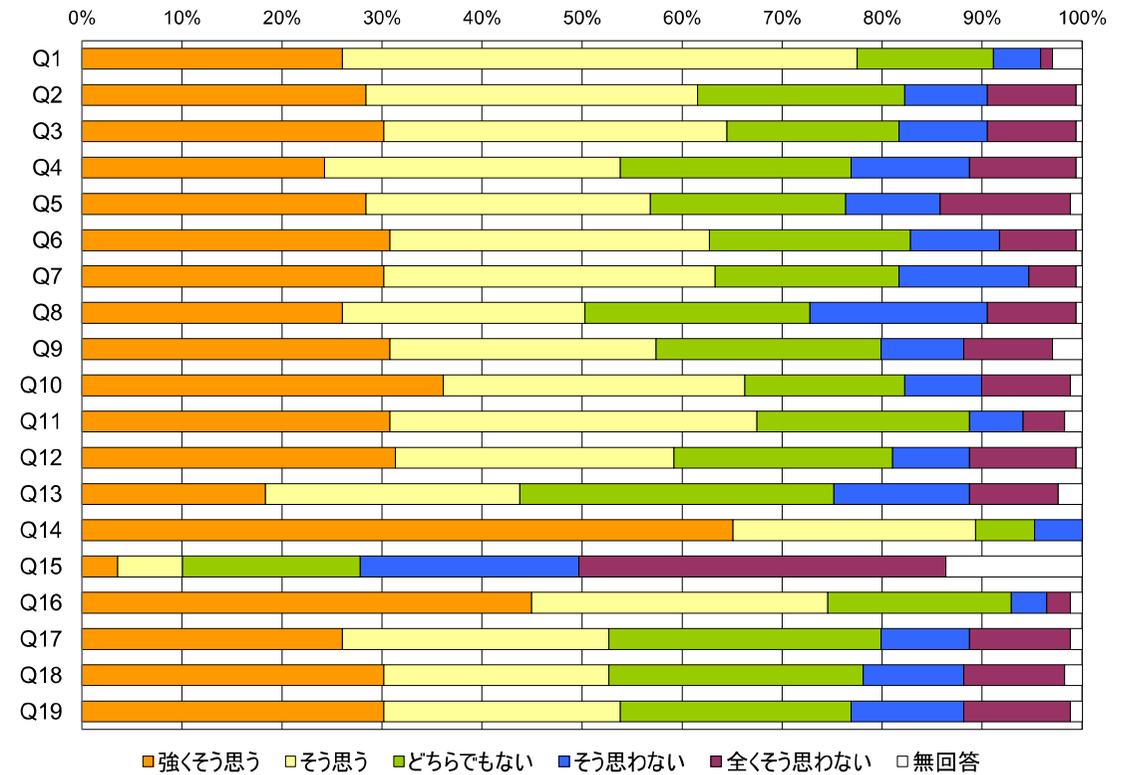
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	2	3	7	5	1	0	3.00
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1	3	8	5	1	0	2.89
Q5.教材が理解に役立った	1	4	8	4	1	0	3.00
Q6.教員の板書や図の見やすさ	3	4	8	3	0	0	3.39
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	3	5	5	5	0	0	3.33
Q8.説明がわかりやすかった	1	4	6	5	2	0	2.83
Q11.私語に対し適切な対応だった	1	6	6	5	0	0	3.17

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



## (5) 服飾造形学科の評価結果

### ・結果の概要

服飾造形学科全体の評価は全体平均より「Q1」以外はすべてやや高い評価であった。4学年すべてが平均値より評価がよかったのは「Q2, 4, 5, 9, 12, 13, 15, 17, 18, 19,」10項目であった。特に「Q13, 15」は全学年が全体平均より高い評価であった。

学年ごとで全体平均より低かったのは、1.3.4年生は「Q1, 10」、1.4年生は「Q11, 16」、1年生は「Q6, 8」、2年生は「Q7」、4年生は「Q3, 14」である。1年生は6項目、2年生は1項目、3年生は2項目、4年生は6項目が全体平均より低かった。

評価の良かった項目「Q13 積極的に意見や質問をした」「Q15 予習・復習の時間」は、全体平均を大きく引き離れた結果であった。服飾造形学科では実験実習の科目が比較的多く、授業中だけでは完了しない課題が多いことも要因であると考えられる。教員に言われて作業するのではなく、各自が自発的に必要性を感じて実習をしているものと思われる。また、疑問、理解できないことなどを各自が受け止め、解決しないと課題を完了することができないことが要因の一つではないかと思われる。各自がさらに成長するために、積極的に学ぶ姿勢があると思われる。

評価が平均より低かった「Q1 シラバスに沿っていた」「Q10 開始・終了時間が適切だった」は1, 3, 4年の3学年であった。「Q14 よく出席した」は4年生のみであったが、全体平均より低い結果であった。

### ・評価結果からみた課題

「Q19 授業の総合的満足度」は全学年が全体平均を上回っており、教員の授業に対する思いを学生が受け止めていると思われる。全学年が10項目に良い評価としたのも、学生の学びに対して、教員が答えた結果である。入学したばかりの学年と、卒業間近の学年の1, 4年生が全体平均より低い評価が6項となったのは学科として、解決すべき課題である。

特に「Q1 シラバスに沿っていた」「Q10 開始・終了時間が適切だった」は教員として、基本的な約束事であるため、学科会議を通して周知していく必要がある。

全体平均に比べ学科平均は比較的良い結果ではあるが、学生にとって学びたい場所を作るために、学科教員一同協力して、学生の声を聴き、質の良い教育を実践していきたい。

キャンパス		曜日		履修者数	2595名
学部		時限		回収数	2203名
教員		教室		回収率	85%
科目	服飾造形学科				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	857	1071	206	21	8	40	4.27	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	957	968	220	24	6	28	4.31	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	1046	925	180	15	6	31	4.38	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	833	943	311	62	17	37	4.16	4.07
Q5.教材が理解に役立った	950	923	245	42	9	34	4.27	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	841	862	324	81	39	56	4.11	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	974	898	236	50	16	29	4.27	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	860	914	300	77	18	34	4.16	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	981	882	263	24	9	44	4.30	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	969	893	239	59	13	30	4.26	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	864	924	335	29	7	44	4.21	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	1006	904	238	16	7	32	4.33	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	535	680	631	175	78	104	3.68	3.34
Q14.よく出席した	1334	609	187	33	10	30	4.48	4.41
Q15.予習・復習の時間	403	399	475	231	505	190	2.98	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	816	782	436	30	18	121	4.13	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	747	879	450	53	20	54	4.06	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	823	855	418	31	19	57	4.13	4.00
Q19.授業の総合的満足度	871	919	302	41	16	54	4.20	4.10

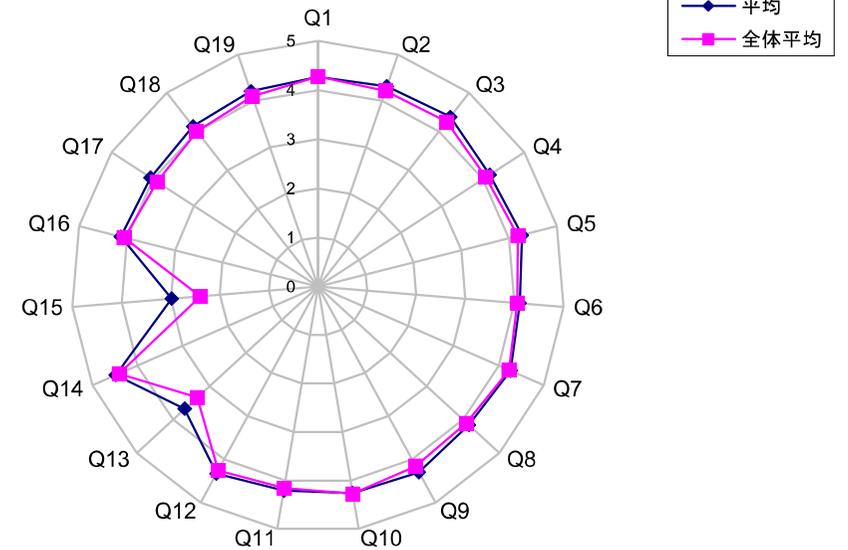
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	914	879	120	19	3	8	4.39
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	803	856	203	51	14	16	4.24
Q5.教材が理解に役立った	907	838	145	36	6	11	4.35
Q6.教員の板書や図の見やすさ	801	787	220	70	34	31	4.18
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	928	809	143	42	13	8	4.34
Q8.説明がわかりやすかった	821	836	190	67	15	14	4.23
Q11.私語に対し適切な対応だった	827	844	224	22	4	22	4.28

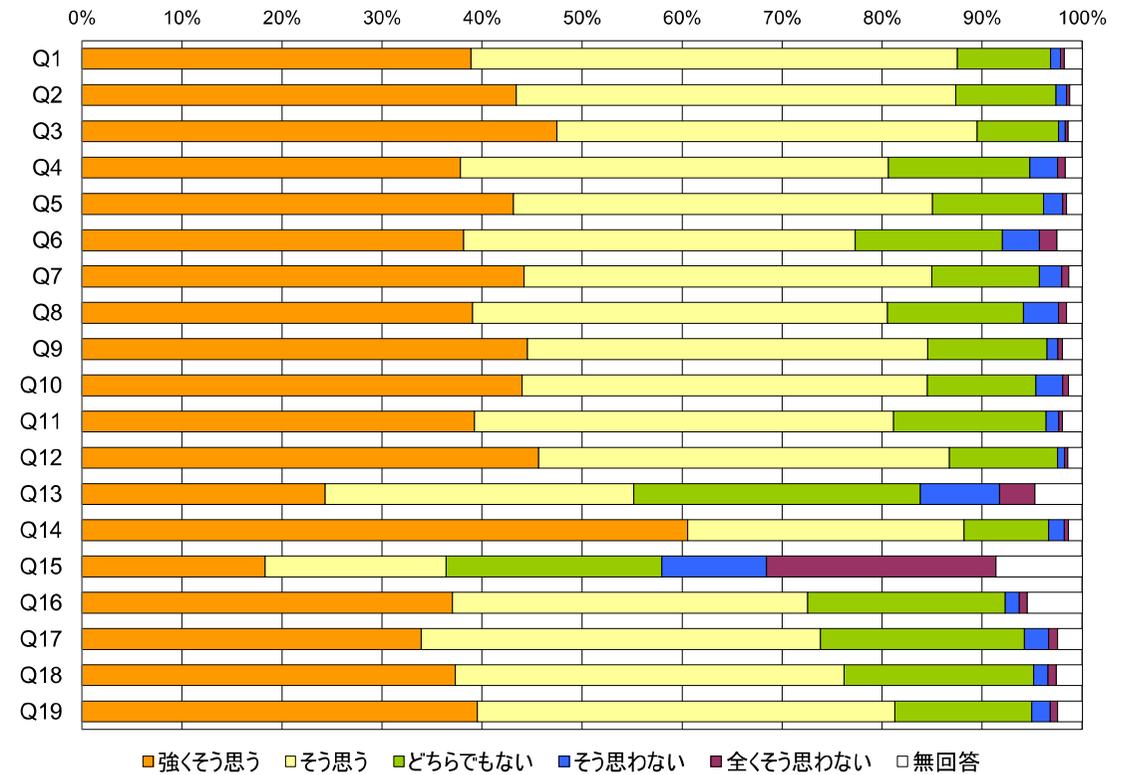
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	37	86	98	5	3	1	3.65
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	25	82	108	11	3	1	3.50
Q5.教材が理解に役立った	38	81	100	6	3	2	3.64
Q6.教員の板書や図の見やすさ	36	71	103	9	5	6	3.55
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	42	82	93	8	3	2	3.67
Q8.説明がわかりやすかった	35	72	109	10	3	1	3.55
Q11.私語に対し適切な対応だった	32	76	110	7	3	2	3.56

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	636名
教員		教室		回収率	
科目	服飾造形学科(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	240	303	56	8	2	27	4.27	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	282	247	75	9	1	22	4.30	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	321	242	43	7	2	21	4.42	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	234	240	101	26	9	26	4.09	4.07
Q5.教材が理解に役立った	262	252	81	15	1	25	4.24	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	213	229	110	39	20	25	3.94	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	287	236	69	20	5	19	4.26	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	228	237	101	40	8	22	4.04	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	290	214	92	11	1	28	4.28	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	272	236	74	26	5	23	4.21	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	239	235	127	9	1	25	4.15	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	280	241	86	6	0	23	4.30	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	160	177	162	63	15	59	3.70	3.34
Q14.よく出席した	418	148	41	6	4	19	4.57	4.41
Q15.予習・復習の時間	122	93	113	76	149	83	2.93	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	199	194	162	12	4	65	4.00	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	221	218	136	15	6	40	4.06	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	238	194	143	12	5	44	4.09	4.00
Q19.授業の総合的満足度	257	234	84	16	3	42	4.22	4.10

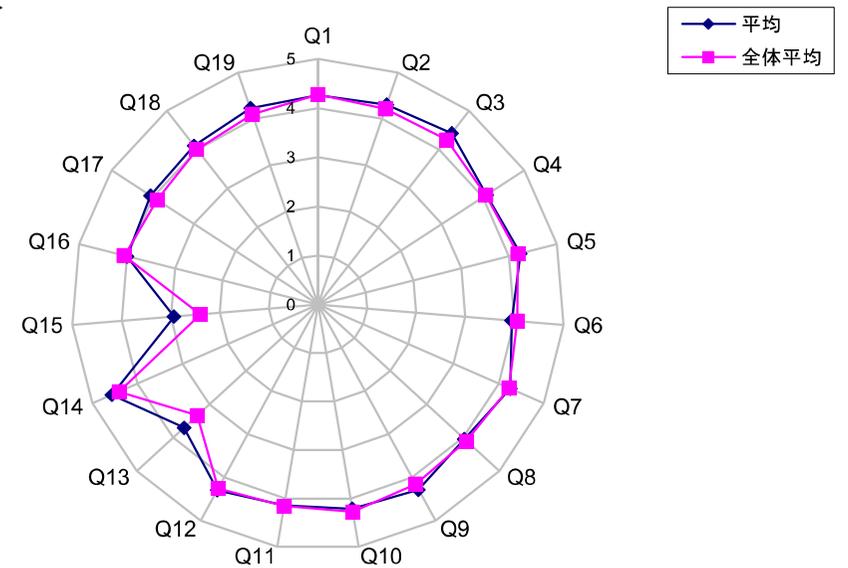
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	271	222	60	7	1	5	4.35
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	224	216	88	21	8	9	4.13
Q5.教材が理解に役立った	252	229	63	13	1	8	4.29
Q6.教員の板書や図の見やすさ	203	208	94	34	19	8	3.97
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	278	210	55	16	5	2	4.31
Q8.説明がわかりやすかった	221	218	82	32	8	5	4.09
Q11.私語に対し適切な対応だった	228	215	107	7	1	8	4.19

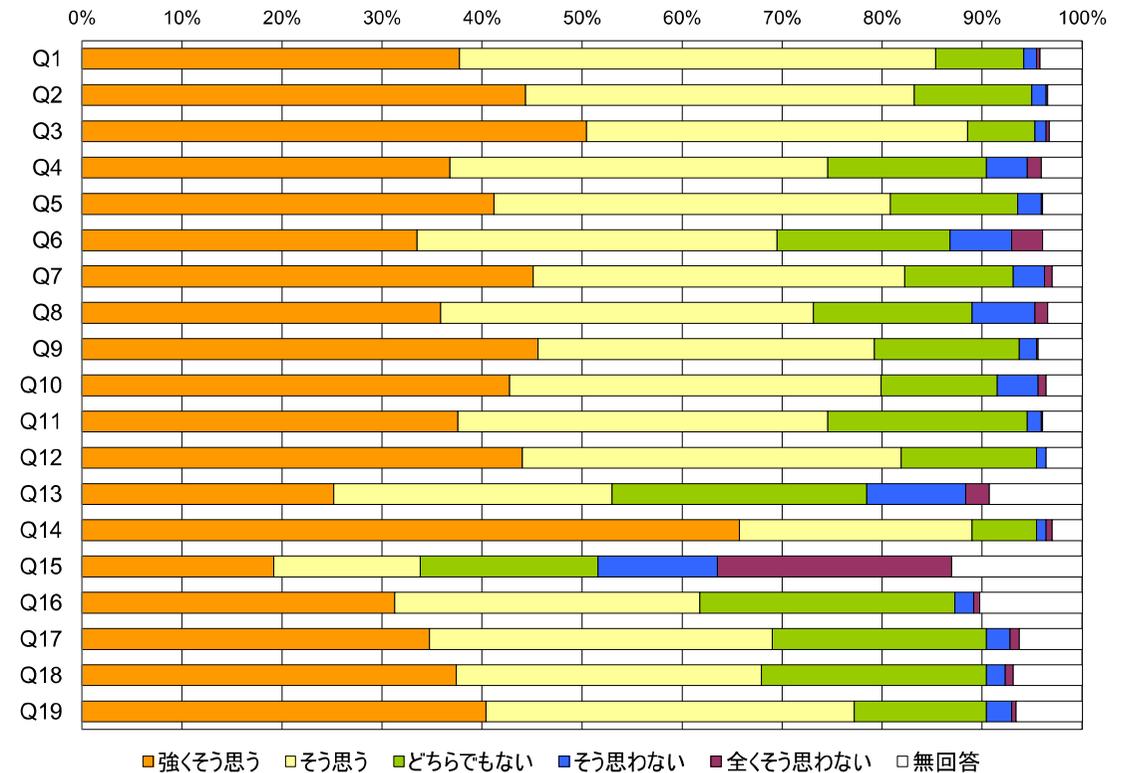
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	9	24	15	2	0	1	3.80
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	8	23	13	5	1	1	3.64
Q5.教材が理解に役立った	8	22	18	2	0	1	3.72
Q6.教員の板書や図の見やすさ	9	20	16	4	1	1	3.64
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	8	24	14	4	0	1	3.72
Q8.説明がわかりやすかった	6	17	19	8	0	1	3.42
Q11.私語に対し適切な対応だった	9	19	20	2	0	1	3.70

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	762名
教員		教室		回収率	
科目	服飾造形学科(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	301	386	70	4	1	0	4.29	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	318	369	63	11	1	0	4.30	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	351	344	61	5	1	0	4.36	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	279	352	109	18	3	1	4.16	4.07
Q5.教材が理解に役立った	328	335	81	14	3	1	4.28	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	289	322	112	25	9	5	4.13	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	312	329	92	20	7	2	4.21	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	289	338	109	21	4	1	4.17	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	326	335	91	4	3	3	4.29	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	330	347	70	13	2	0	4.30	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	297	350	103	5	1	6	4.24	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	350	334	70	5	3	0	4.34	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	157	240	259	53	34	19	3.58	3.34
Q14.よく出席した	455	229	61	10	2	5	4.49	4.41
Q15.予習・復習の時間	95	148	159	81	218	61	2.74	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	278	307	137	6	5	29	4.16	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	236	334	160	22	6	4	4.02	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	272	337	134	9	7	3	4.13	4.00
Q19.授業の総合的満足度	275	358	103	12	7	7	4.17	4.10

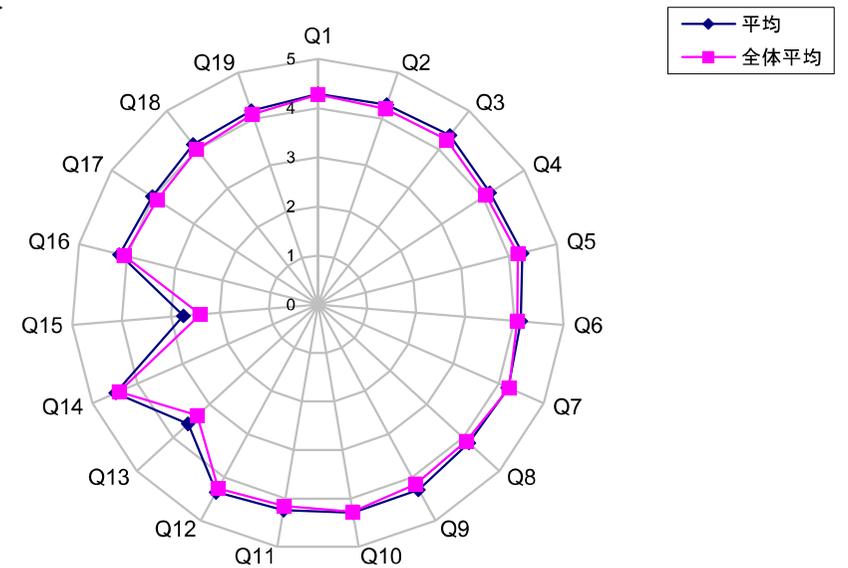
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	305	338	32	9	0	0	4.37
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	271	325	69	16	2	1	4.24
Q5.教材が理解に役立った	311	305	53	13	2	0	4.33
Q6.教員の板書や図の見やすさ	274	298	80	21	7	4	4.19
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	293	304	63	17	6	1	4.26
Q8.説明がわかりやすかった	276	308	76	20	3	1	4.22
Q11.私語に対し適切な対応だった	283	324	66	5	0	6	4.31

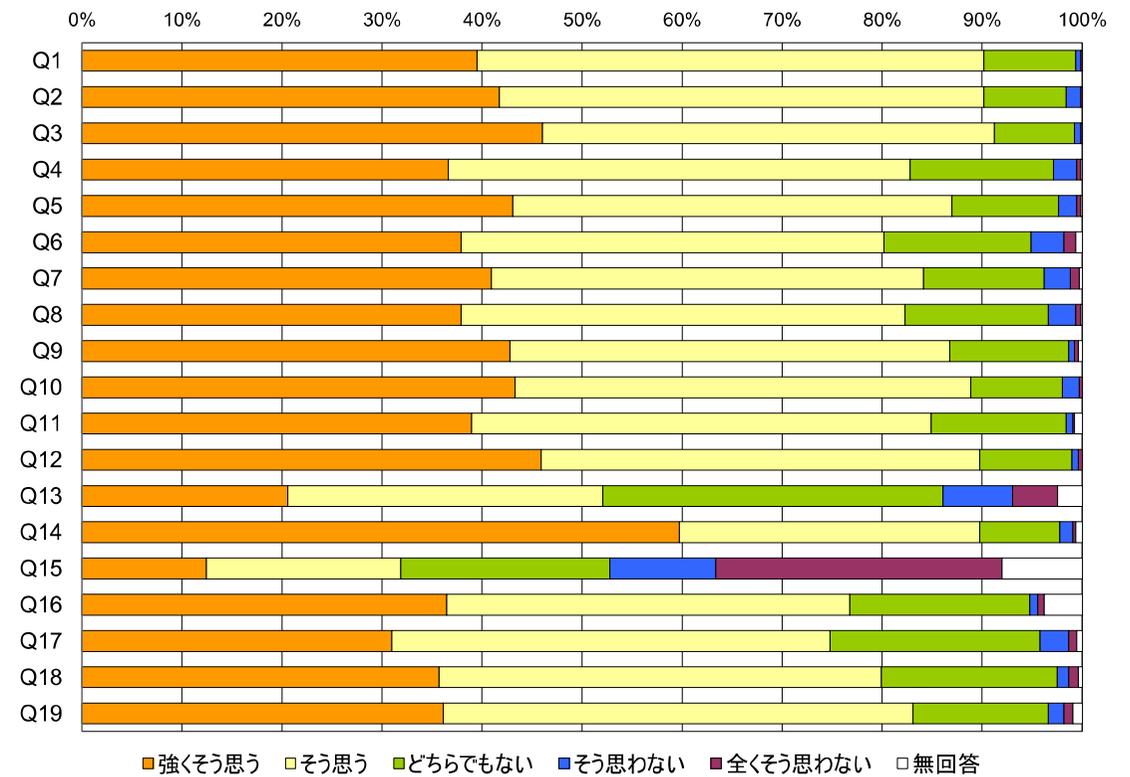
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	11	29	30	2	1	0	3.64
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	7	23	40	2	1	0	3.45
Q5.教材が理解に役立った	15	27	28	1	1	1	3.75
Q6.教員の板書や図の見やすさ	14	21	32	3	2	1	3.58
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	17	22	29	3	1	1	3.71
Q8.説明がわかりやすかった	12	26	33	1	1	0	3.64
Q11.私語に対し適切な対応だった	12	23	37	0	1	0	3.62

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	537名
教員		教室		回収率	
科目	服飾造形学科(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	211	256	55	7	3	5	4.25	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	245	240	47	3	2	0	4.35	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	259	226	47	2	1	2	4.38	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	216	242	65	11	2	1	4.23	4.07
Q5.教材が理解に役立った	248	225	54	7	2	1	4.32	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	233	211	65	14	5	9	4.24	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	260	223	46	5	2	1	4.37	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	233	235	54	11	3	1	4.28	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	252	223	51	6	3	2	4.34	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	251	201	65	14	4	2	4.27	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	220	235	70	6	2	4	4.25	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	258	218	52	3	2	4	4.36	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	137	185	147	36	22	10	3.72	3.34
Q14.よく出席した	328	149	50	5	3	2	4.48	4.41
Q15.予習・復習の時間	128	102	138	57	87	25	3.25	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	242	193	77	7	5	13	4.26	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	194	232	93	11	4	3	4.13	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	210	228	83	8	6	2	4.17	4.00
Q19.授業の総合的満足度	231	226	65	11	3	1	4.25	4.10

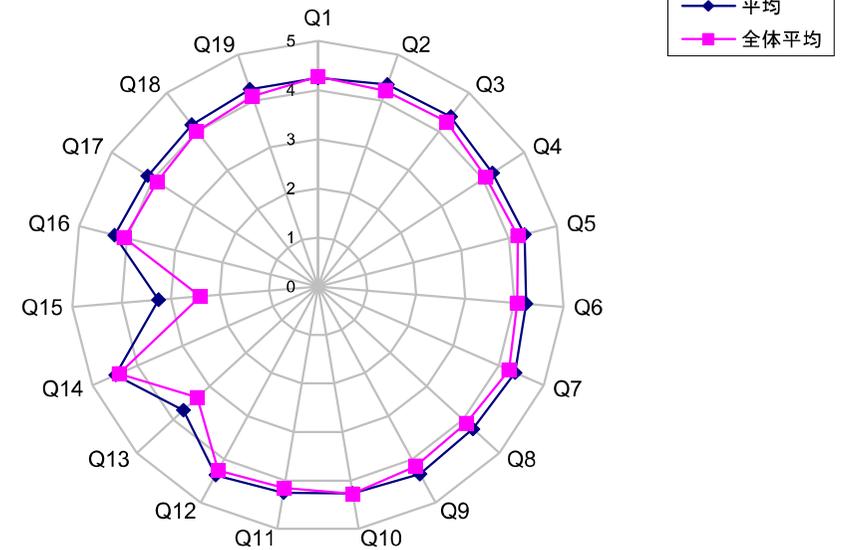
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	231	231	11	3	1	0	4.44
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	209	229	29	8	2	0	4.33
Q5.教材が理解に役立った	238	214	19	5	1	0	4.43
Q6.教員の板書や図の見やすさ	224	201	29	13	4	6	4.33
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	248	209	14	5	1	0	4.46
Q8.説明がわかりやすかった	222	224	17	11	2	1	4.37
Q11.私語に対し適切な対応だった	212	223	35	3	1	3	4.35

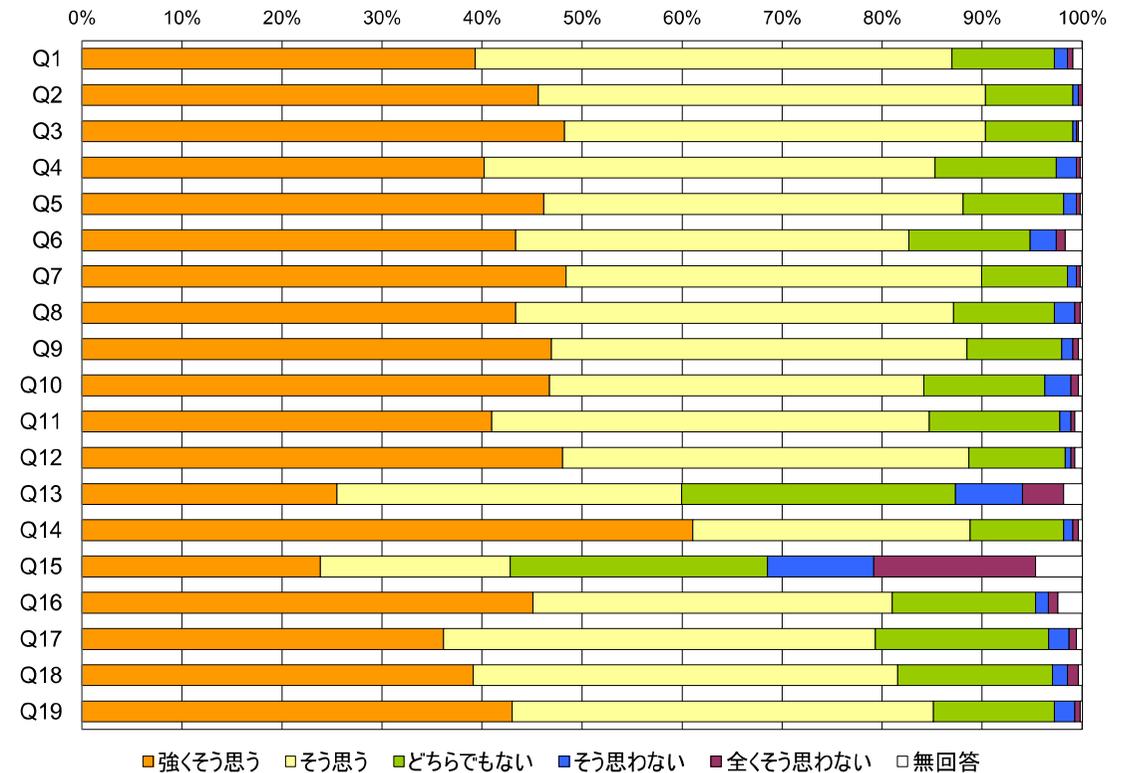
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	13	9	35	0	1	0	3.57
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	6	13	36	3	0	0	3.38
Q5.教材が理解に役立った	9	11	35	2	1	0	3.43
Q6.教員の板書や図の見やすさ	8	10	35	1	1	3	3.42
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	11	14	32	0	1	0	3.59
Q8.説明がわかりやすかった	10	11	36	0	1	0	3.50
Q11.私語に対し適切な対応だった	7	12	34	3	1	1	3.37

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	144名
教員		教室		回収率	
科目	服飾造形学科(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	50	78	12	1	0	3	4.26	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	54	66	22	0	0	2	4.23	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	53	68	20	0	0	3	4.23	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	50	68	19	2	1	4	4.17	4.07
Q5.教材が理解に役立った	54	65	18	3	1	3	4.19	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	52	55	24	2	2	9	4.13	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	58	62	18	3	0	3	4.24	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	58	62	18	2	1	3	4.23	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	53	66	18	2	0	5	4.22	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	56	64	18	5	0	1	4.20	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	51	62	22	5	0	4	4.14	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	59	66	17	1	0	1	4.28	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	34	42	37	17	3	11	3.65	3.34
Q14.よく出席した	59	47	27	9	0	2	4.10	4.41
Q15.予習・復習の時間	21	31	39	7	31	15	3.03	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	40	54	37	3	3	7	3.91	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	40	57	40	3	1	3	3.94	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	46	59	34	1	0	4	4.07	4.00
Q19.授業の総合的満足度	52	58	30	1	1	2	4.12	4.10

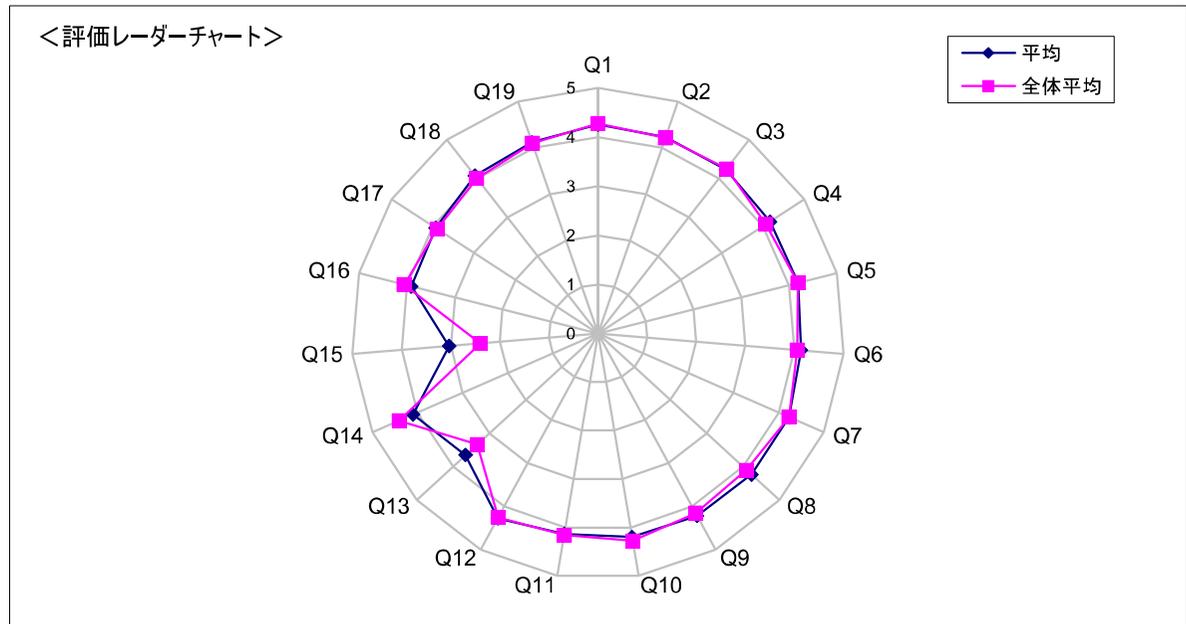
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	49	48	8	0	0	1	4.39
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	45	49	6	2	1	3	4.31
Q5.教材が理解に役立った	48	49	5	2	1	1	4.34
Q6.教員の板書や図の見やすさ	46	39	10	1	2	8	4.29
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	52	43	6	3	0	2	4.38
Q8.説明がわかりやすかった	50	48	4	1	1	2	4.39
Q11.私語に対し適切な対応だった	47	44	9	4	0	2	4.29

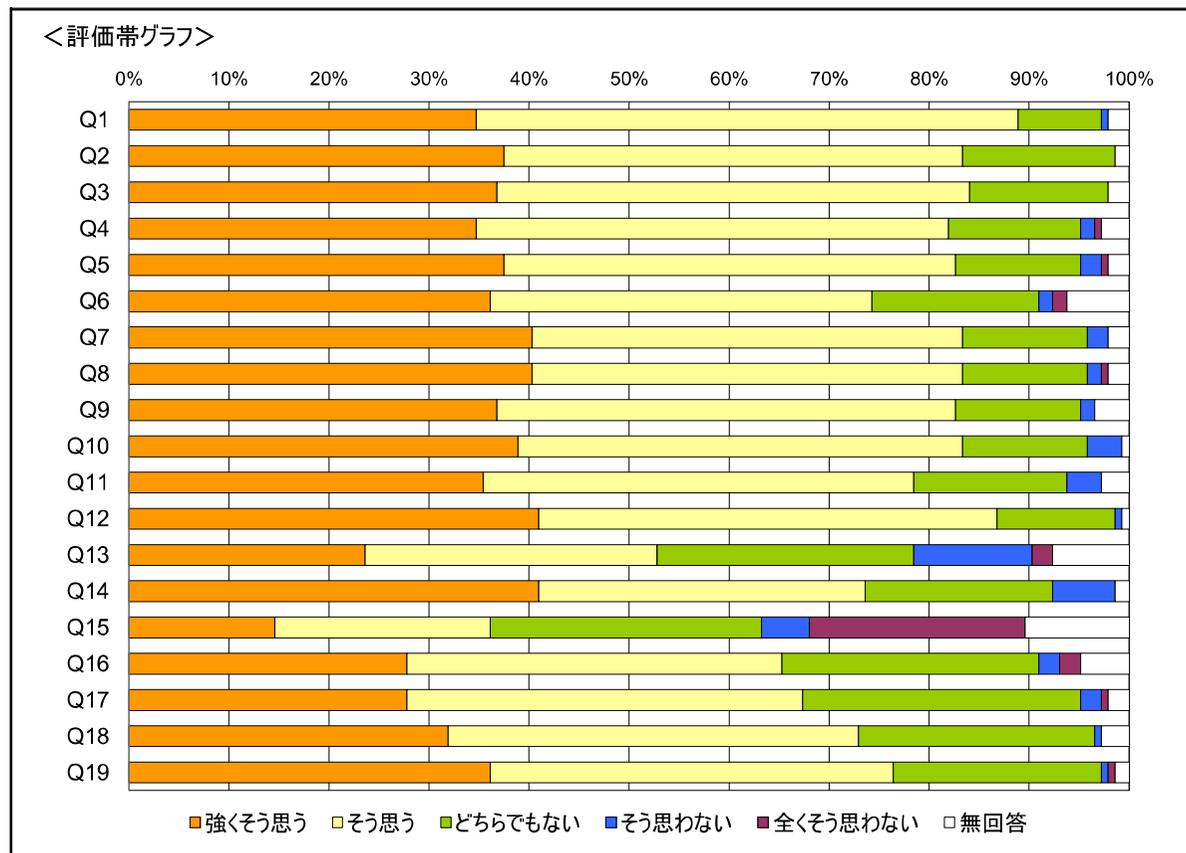
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	4	18	14	0	0	0	3.72
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	4	19	13	0	0	0	3.75
Q5.教材が理解に役立った	6	16	13	1	0	0	3.75
Q6.教員の板書や図の見やすさ	5	16	14	1	0	0	3.69
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	6	18	12	0	0	0	3.83
Q8.説明がわかりやすかった	7	14	14	1	0	0	3.75
Q11.私語に対し適切な対応だった	4	18	13	1	0	0	3.69

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



## (6) 健康栄養学科の評価結果

### ・結果の概要

健康栄養学科の全体平均を見ると、大学の全体平均と比べてQ1～Q19 のいずれにおいても全体平均を上回っているが、大きな差は認められなかった。学年別の19項目で全体平均を下回っていた項目数をみると、1年生においては12項目、2年生では1項目、3年生では1項目、4年生では1項目であった。大きな差は認められないものの、1年生では19項目中12項目で全体平均を下回っていた。Q19の総合的満足度では、1年生から順に、4.04、4.28、4.28、4.21であった。1年生では共通総合科目が多く、受講人数が多いことが考えられることから、Q4.「理解度に合わせて授業を進めた」、Q6.「教員の板書や図の見やすさ」、Q7.「教員の声が聞き取りやすかった」、Q13.「積極的に意見や質問をした」などの項目で、0.1以上の差が生じたものと考えられる。2年生以降では、専門教育科目が多くなり、40～60人の少人数で行われる授業が多く、資格に直結する授業が多いことから評価が高くなっているものと思われる。学年が進行するにつれて、専門分野の学習が進み、目標に対する取り組みや自覚が出てくることも影響しているのではないかと考えられる。授業への出席率の比較では、出席率の高い群が、内容の理解度、授業の進行度、教材理解度、板書の見やすさ、教員の声の聞き取りやすさ、私語への対応のいずれにおいても、出席率の低い群に比べ平均が高かった。健康栄養学科は資格必修科目が多い学科である特徴からか、出席率の高い群がほとんどである。授業評価を実施した科目数の影響はあると思われるが、出席率の高い群はそれぞれ学年全体に対し、1年で96%、2年で92%、3年で85%、4年で88%であった。

### ・評価結果からみた課題

健康栄養学科の教育目標は、健康・栄養に関する高度な知識と技術を持った専門家の育成にあることから、カリキュラムの内容や学びの連続性は体系化されている。1年生においては、高校教育から大学教育への変化に対応できていない可能性があると考えられる。今後、大学で学ぶ意義や健康栄養学科で目指す目標等について確認するための導入教育に、更に重点を置いた教育を実施していく必要があると考えられる。1年生と比較して2年生以降では、Q17.「さらに勉強したくなった」やQ18.「受講を後輩に勧めたい」の評価が高くなっているため、目的意識や学習意欲を高め、目標達成のために努力する姿勢を身につけられるような指導を、低学年から徹底していく必要があると考える。

卒業後に活躍するために必要な知識・技術、また国家試験出題のガイドラインの変更に伴った対応等、学科FD等を活用するなど、教員、スタッフの共通認識のもと、学生対応を適切に行っていききたい。全体的には真面目で素直な学生が多いように感じられることから、長所を伸ばしより積極的に自ら学ぶことができるようにすることが必要である。欠席が多くなりがちな問題のある学生に対しては、個別に丁寧に対応して早期に問題を解決できるような体制も整えていく必要があると考える。

キャンパス		曜日		履修者数	7330名
学部		時限		回収数	6729名
教員		教室		回収率	92%
科目	健康栄養学科				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	3416	2920	327	32	5	29	4.45	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	3131	2997	505	66	14	16	4.37	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	3378	2863	414	49	7	18	4.42	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	2786	2737	884	249	48	25	4.19	4.07
Q5.教材が理解に役立った	2975	2738	753	201	38	24	4.25	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	2698	2690	873	274	75	119	4.16	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	3169	2609	657	216	61	17	4.28	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	2849	2691	837	268	65	19	4.19	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	3024	2714	822	90	31	48	4.29	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	3398	2639	504	124	46	18	4.37	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	3060	2785	751	64	17	52	4.32	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	3233	2755	653	52	17	19	4.36	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	997	1724	2425	861	495	227	3.29	3.34
Q14.よく出席した	4536	1625	404	68	19	77	4.59	4.41
Q15.予習・復習の時間	547	830	1475	1446	2028	403	2.43	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	2743	2530	1119	145	66	126	4.17	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	2092	2925	1366	214	78	54	4.01	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	2569	2753	1116	140	64	87	4.15	4.00
Q19.授業の総合的満足度	2699	2885	891	148	56	50	4.20	4.10

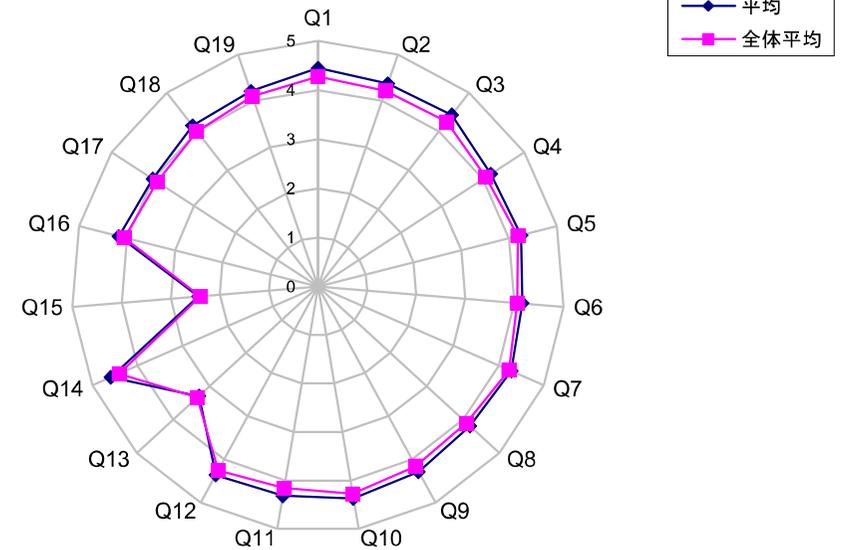
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	2959	2775	355	51	8	13	4.40
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	2628	2533	718	223	42	17	4.22
Q5.教材が理解に役立った	2806	2544	592	171	34	14	4.29
Q6.教員の板書や図の見やすさ	2535	2489	724	238	68	107	4.19
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	2983	2403	518	194	53	10	4.31
Q8.説明がわかりやすかった	2684	2488	685	236	54	14	4.22
Q11.私語に対し適切な対応だった	2888	2568	593	56	12	44	4.35

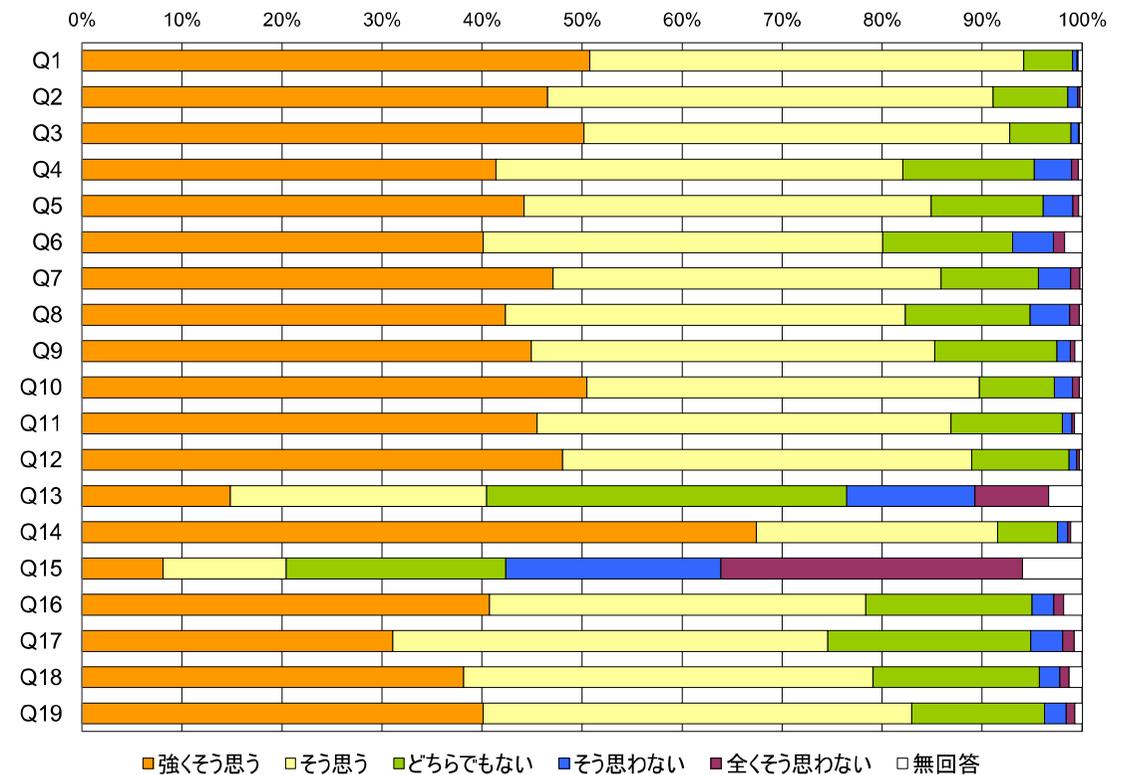
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	137	190	143	15	6	0	3.89
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	129	174	155	25	5	3	3.81
Q5.教材が理解に役立った	137	170	151	26	4	3	3.84
Q6.教員の板書や図の見やすさ	135	175	141	31	5	4	3.83
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	151	178	130	22	8	2	3.90
Q8.説明がわかりやすかった	129	180	142	28	11	1	3.79
Q11.私語に対し適切な対応だった	138	188	150	8	5	2	3.91

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	2025名
教員		教室		回収率	
科目	健康栄養学科(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	953	910	138	12	3	9	4.39	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	834	925	231	30	4	1	4.26	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	996	857	149	22	0	1	4.40	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	681	762	394	160	26	2	3.95	4.07
Q5.教材が理解に役立った	794	760	340	106	21	4	4.09	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	658	725	385	149	41	67	3.92	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	859	725	271	138	31	1	4.11	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	724	766	362	144	26	3	4.00	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	767	821	368	40	10	19	4.14	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	943	813	212	49	6	2	4.30	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	796	856	319	21	3	30	4.21	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	865	838	289	23	8	2	4.25	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	201	421	885	292	147	79	3.12	3.34
Q14.よく出席した	1590	346	72	5	1	11	4.75	4.41
Q15.予習・復習の時間	65	158	515	563	602	122	2.22	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	752	739	415	67	21	31	4.07	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	451	821	576	116	44	17	3.76	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	644	777	468	71	37	28	3.96	4.00
Q19.授業の総合的満足度	655	893	365	76	22	14	4.04	4.10

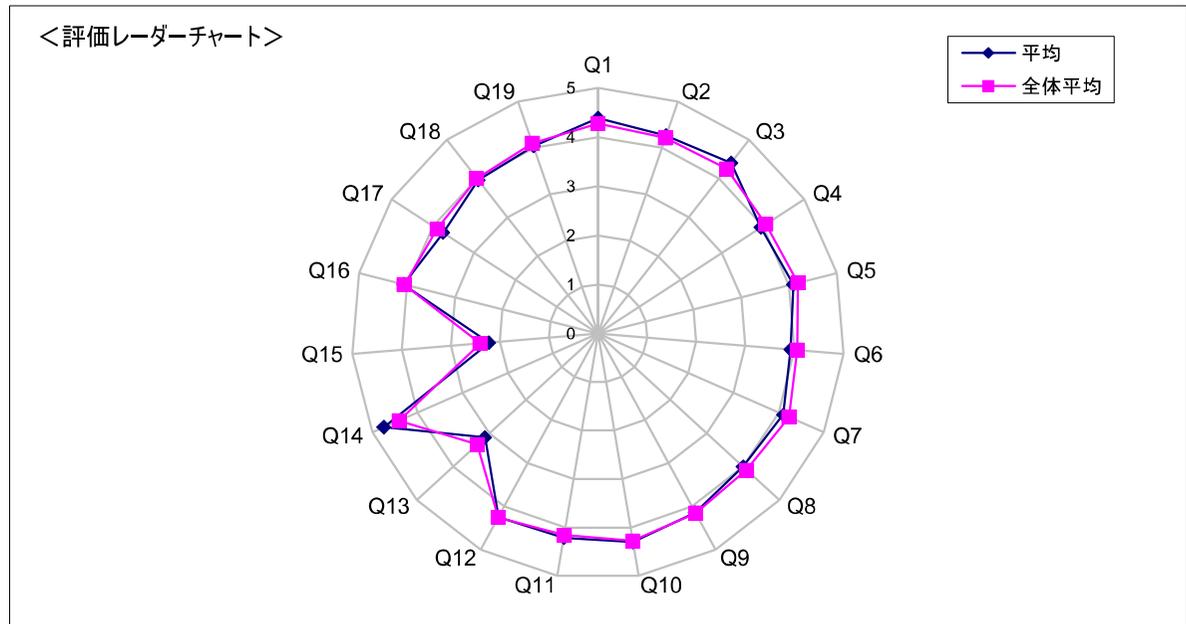
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	811	901	195	24	4	1	4.29
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	665	738	354	152	25	2	3.96
Q5.教材が理解に役立った	772	737	306	98	20	3	4.11
Q6.教員の板書や図の見やすさ	636	698	358	139	40	65	3.94
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	837	691	245	134	29	0	4.12
Q8.説明がわかりやすかった	707	736	331	135	24	3	4.02
Q11.私語に対し適切な対応だった	776	821	288	21	2	28	4.23

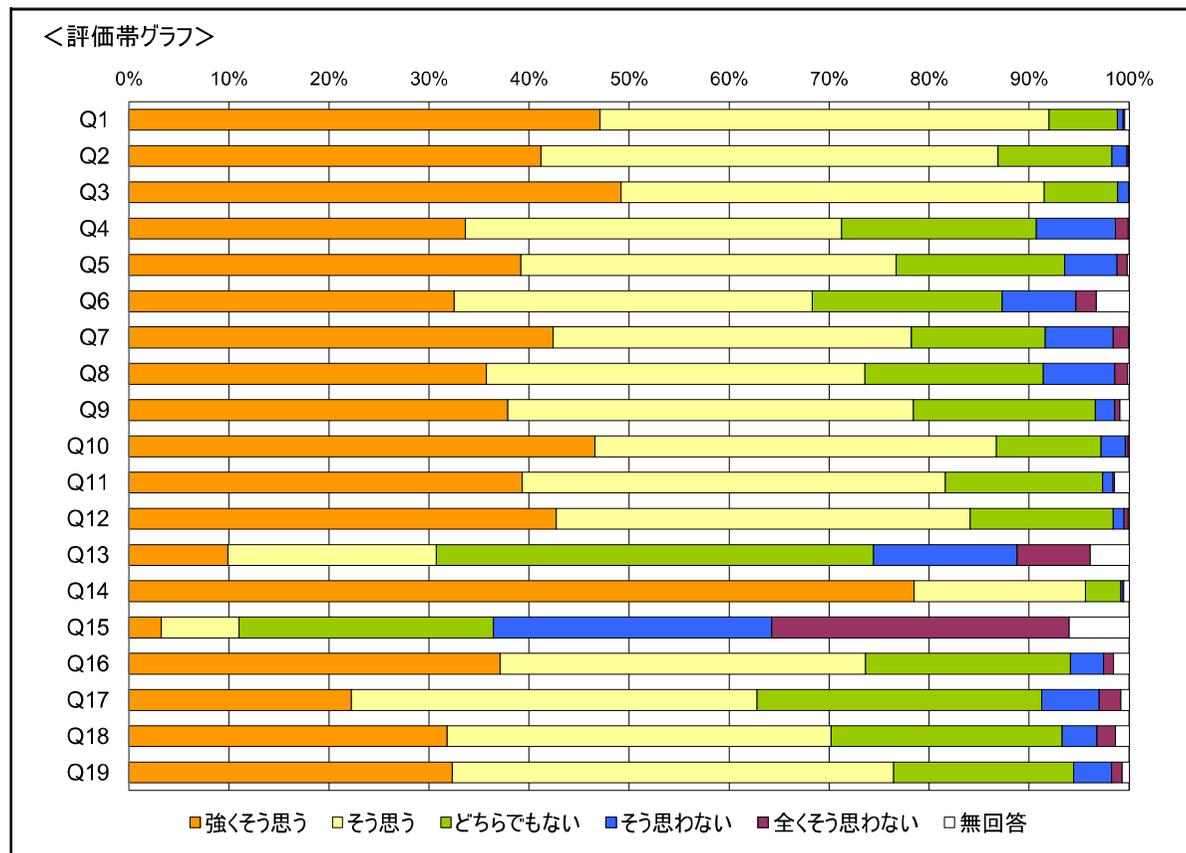
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	18	20	34	6	0	0	3.64
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	13	22	36	7	0	0	3.53
Q5.教材が理解に役立った	18	21	31	6	1	1	3.64
Q6.教員の板書や図の見やすさ	19	23	25	10	0	1	3.66
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	17	31	23	4	2	1	3.74
Q8.説明がわかりやすかった	11	28	29	8	2	0	3.49
Q11.私語に対し適切な対応だった	17	30	30	0	1	0	3.79

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	2655名
教員		教室		回収率	
科目	健康栄養学科(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	1408	1154	75	12	1	5	4.49	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1310	1191	127	18	6	3	4.43	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	1356	1154	123	17	2	3	4.45	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1170	1138	268	55	16	8	4.28	4.07
Q5.教材が理解に役立った	1209	1131	236	62	13	4	4.31	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1118	1123	280	86	23	25	4.23	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1299	1077	207	50	19	3	4.35	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	1192	1106	254	74	25	4	4.27	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	1286	1048	259	38	15	9	4.34	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	1397	1020	154	47	34	3	4.39	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	1256	1095	257	31	10	6	4.34	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	1348	1078	201	19	7	2	4.41	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	400	737	866	356	211	85	3.30	3.34
Q14.よく出席した	1809	643	131	24	11	37	4.61	4.41
Q15.予習・復習の時間	190	353	591	610	788	123	2.43	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	1118	1048	379	31	23	56	4.23	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	937	1246	398	42	18	14	4.15	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	1102	1166	298	38	21	30	4.25	4.00
Q19.授業の総合的満足度	1181	1127	264	50	22	11	4.28	4.10

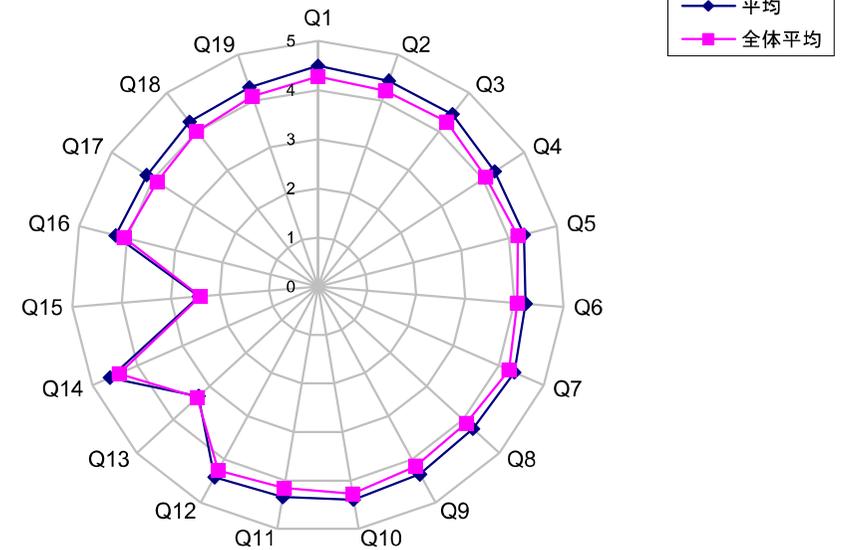
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1261	1089	84	14	3	1	4.47
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1120	1052	215	46	14	5	4.32
Q5.教材が理解に役立った	1158	1054	179	50	11	0	4.35
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1071	1040	232	70	20	19	4.26
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1239	995	161	40	16	1	4.39
Q8.説明がわかりやすかった	1139	1024	206	61	20	2	4.31
Q11.私語に対し適切な対応だった	1199	1010	203	28	8	4	4.37

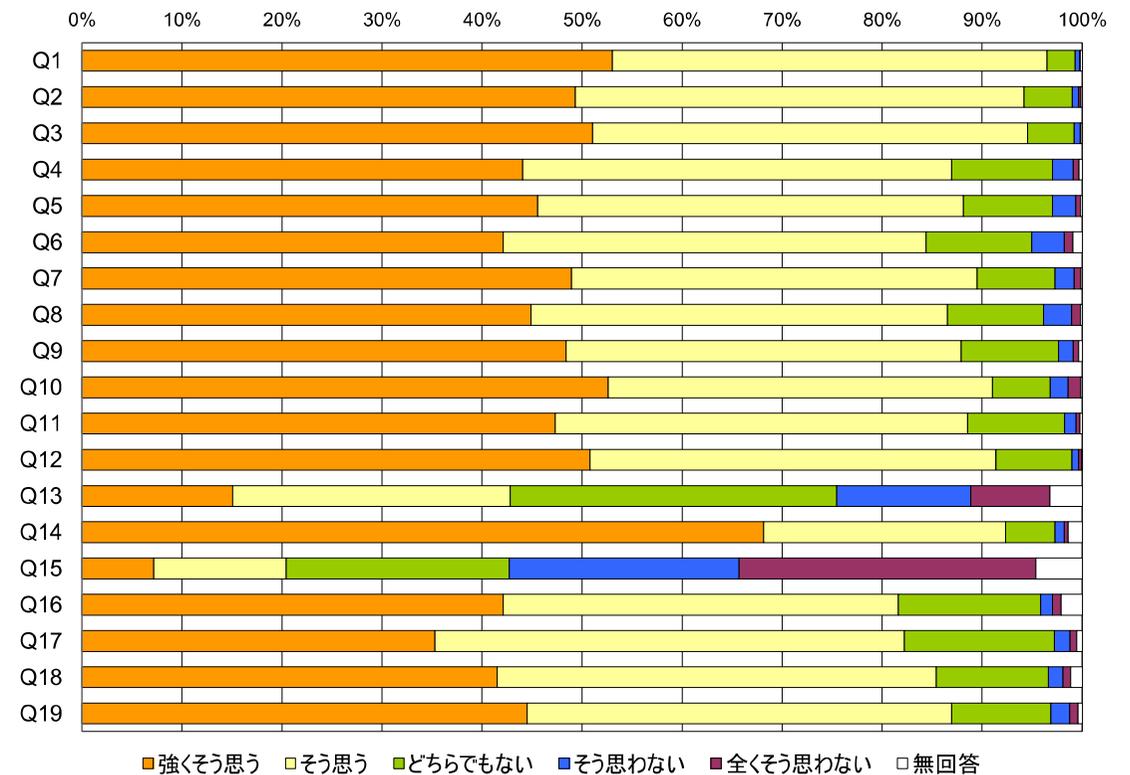
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	36	82	41	4	3	0	3.87
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	38	67	49	9	2	1	3.79
Q5.教材が理解に役立った	37	64	53	10	2	0	3.75
Q6.教員の板書や図の見やすさ	36	70	45	11	2	2	3.77
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	44	66	43	10	3	0	3.83
Q8.説明がわかりやすかった	38	69	44	10	5	0	3.75
Q11.私語に対し適切な対応だった	41	69	51	3	2	0	3.87

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	1333名
教員		教室		回収率	
科目	健康栄養学科(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	723	519	82	5	1	3	4.47	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	675	535	107	14	2	0	4.40	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	699	516	107	6	2	3	4.43	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	637	523	146	21	4	2	4.33	4.07
Q5.教材が理解に役立った	669	520	118	19	3	4	4.38	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	649	512	134	20	7	11	4.34	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	697	490	124	12	8	2	4.39	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	660	494	142	27	9	1	4.33	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	661	520	132	9	4	7	4.38	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	716	496	97	18	5	1	4.43	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	686	511	121	9	3	3	4.40	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	684	526	112	6	2	3	4.42	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	275	308	451	149	105	45	3.39	3.34
Q14.よく出席した	751	380	146	31	5	20	4.40	4.41
Q15.予習・復習の時間	207	173	231	179	445	98	2.61	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	593	430	228	36	20	26	4.18	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	492	507	264	43	12	15	4.08	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	580	477	234	21	5	16	4.22	4.00
Q19.授業の総合的満足度	602	516	172	13	11	19	4.28	4.10

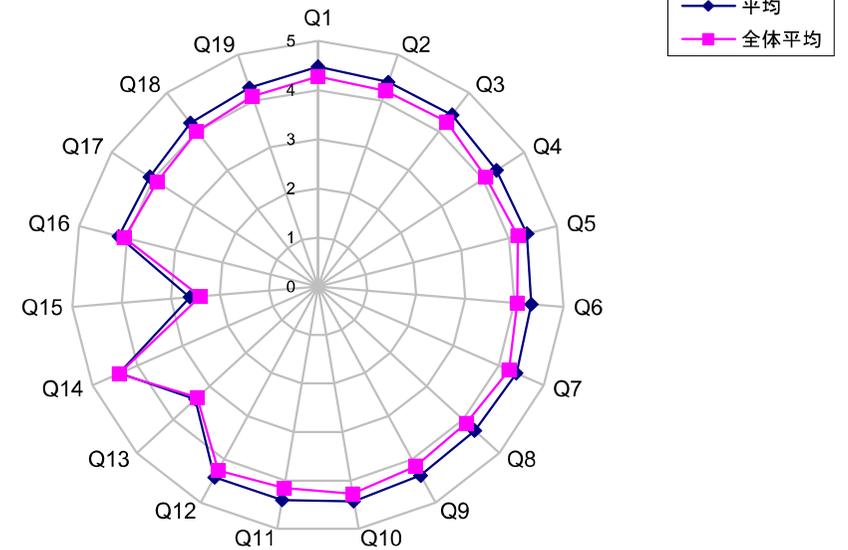
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	603	466	52	10	0	0	4.47
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	571	455	89	15	1	0	4.40
Q5.教材が理解に役立った	599	450	65	14	2	1	4.44
Q6.教員の板書や図の見やすさ	580	444	79	15	4	9	4.41
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	622	425	72	7	5	0	4.46
Q8.説明がわかりやすかった	589	430	85	21	6	0	4.39
Q11.私語に対し適切な対応だった	615	440	68	6	1	1	4.47

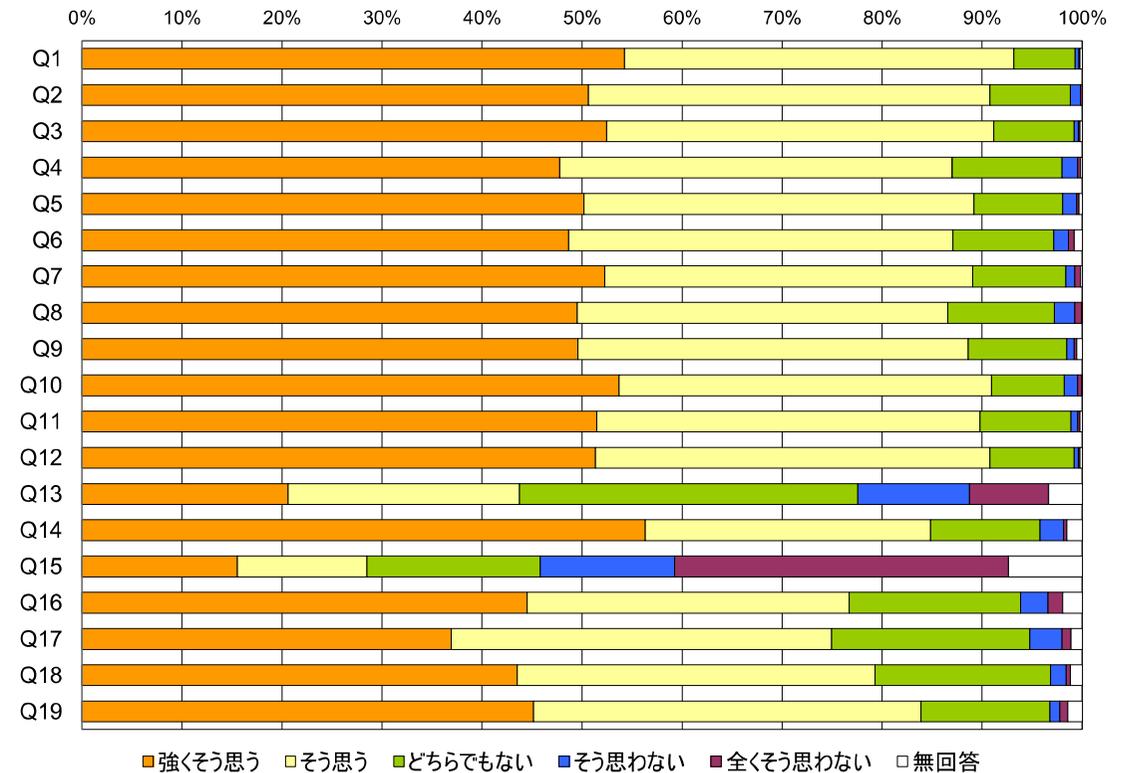
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	60	64	52	4	2	0	3.97
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	55	63	54	6	3	1	3.89
Q5.教材が理解に役立った	59	65	50	5	1	2	3.98
Q6.教員の板書や図の見やすさ	58	63	52	5	3	1	3.93
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	64	60	49	5	3	1	3.98
Q8.説明がわかりやすかった	59	59	54	6	3	1	3.91
Q11.私語に対し適切な対応だった	59	66	50	3	2	2	3.98

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	356名
教員		教室		回収率	
科目	健康栄養学科(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	142	193	20	1	0	0	4.34	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	140	192	22	0	2	0	4.31	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	137	195	21	1	2	0	4.30	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	138	176	35	5	1	1	4.25	4.07
Q5.教材が理解に役立った	132	187	28	8	1	0	4.24	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	114	194	36	9	2	1	4.15	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	139	179	29	6	3	0	4.25	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	117	180	42	13	4	0	4.10	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	144	181	28	1	1	1	4.31	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	153	176	22	4	0	1	4.35	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	147	179	27	1	1	1	4.32	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	161	167	26	2	0	0	4.37	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	61	144	107	25	14	5	3.61	3.34
Q14.よく出席した	168	146	34	4	1	3	4.35	4.41
Q15.予習・復習の時間	48	77	70	39	84	38	2.89	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	136	177	37	4	1	1	4.25	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	96	190	63	5	2	0	4.05	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	114	184	54	4	0	0	4.15	4.00
Q19.授業の総合的満足度	124	187	42	3	0	0	4.21	4.10

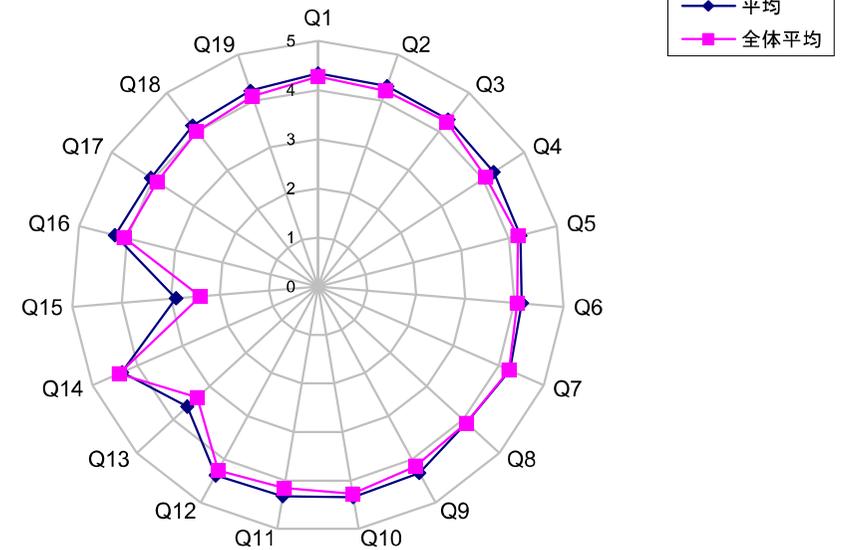
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	128	176	9	0	1	0	4.37
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	126	159	24	4	1	0	4.29
Q5.教材が理解に役立った	122	170	16	5	1	0	4.30
Q6.教員の板書や図の見やすさ	103	181	22	5	2	1	4.21
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	126	163	18	4	3	0	4.29
Q8.説明がわかりやすかった	107	163	30	11	3	0	4.15
Q11.私語に対し適切な対応だった	136	163	13	0	1	1	4.38

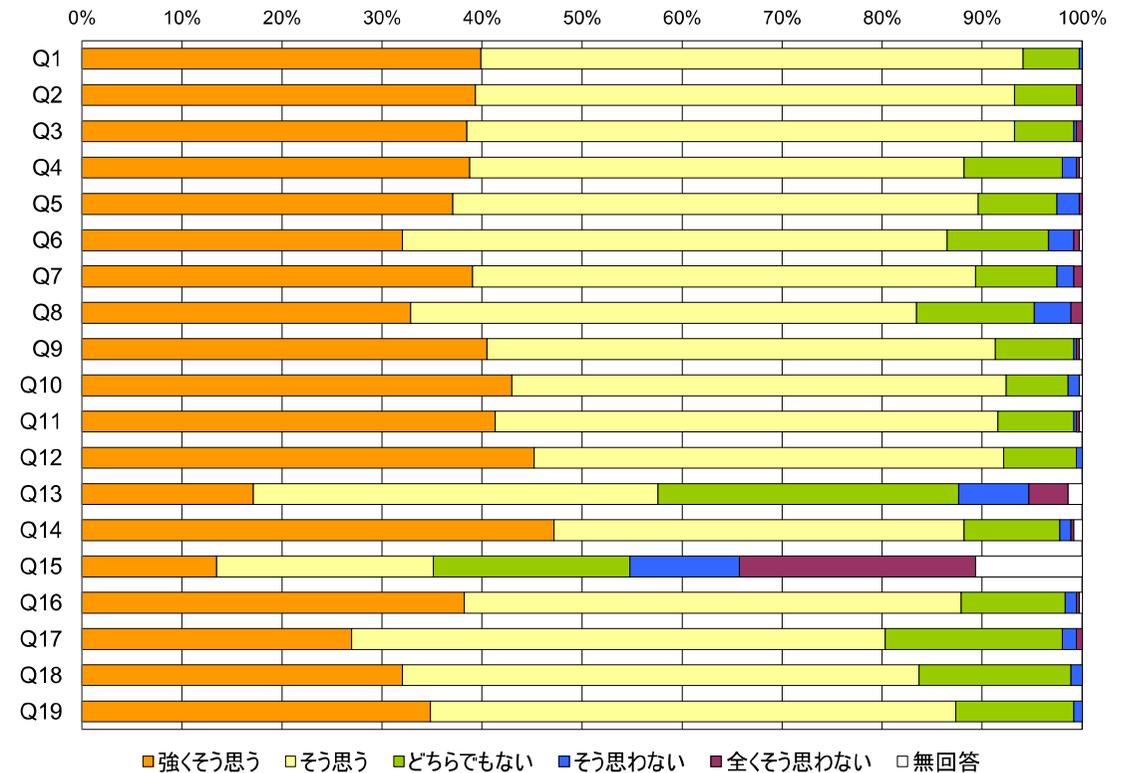
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	11	14	13	0	1	0	3.87
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	12	14	11	1	0	1	3.97
Q5.教材が理解に役立った	10	14	12	3	0	0	3.79
Q6.教員の板書や図の見やすさ	11	10	14	4	0	0	3.72
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	13	13	11	2	0	0	3.95
Q8.説明がわかりやすかった	10	15	11	2	1	0	3.79
Q11.私語に対し適切な対応だった	11	14	13	1	0	0	3.90

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



## (7) 家政福祉学科の評価結果

### ・結果の概要

家政学部共通科目の評価レーダーチャートを見ると、19項目すべてにおいて全体平均よりも本学科の平均が低い。また、本学科の平均では「よく出席した」が最も高く、次いで「シラバスに沿っていた」「教員の熱意を感じた」「開始・終了時間が適切だった」の順となっている。一方、「予習・復習の時間」の平均が最も低く、次いで「積極的に意見や質問をした」「さらに勉強したくなった」となっている。さらに、この「さらに勉強したくなった」「予習・復習の時間」「積極的に意見や質問をした」の3項目は、本学科の点数が低い上に、全体と本学科の点数差の最も大きい項目でもある。また、授業への出席率の高い群と低い群の差は0.68～0.76の範囲であるが、なかでも「理解度に合わせて授業を進めた」では0.76の最大の開きが見られた。学年別にみると、3年生の出席率の高い群の平均が際立って高く、次いで1年生の出席率高い群の平均が高い。次に、学科専門科目は、家政学部共通科目と比較すると平均は高く、全体平均と学科平均の評価レーダーチャートはほぼ重なっている。学科平均が高い項目は「よく出席した」「教員の熱意を感じた」「新しい知識・技術を学べた」「内容は知的刺激に富んでいた」であり、「内容は知的刺激に富んでいた」「予習・復習の時間」「さらに勉強したくなった」の3項目は、学科平均が全体平均を超えている。

### ・評価結果からみた課題

前回までの調査では、学年別にみるとほとんどの項目の評価で4年>3年>1年>2年の順となり、2年生の落ち込みが際立ち、2年生の中だるみ状況が指摘されている。しかし、今回の学科専門科目における調査結果をみると、専門科目における「内容は知的刺激に富んでいた」「新しい知識・技術を学べた」の平均は3年生、4年生よりも2年生が高く、3年生の出席率の高い群と低い群の平均差が大きいという2つの特徴がみられた。この結果から、大学入学後に見つけた将来の方向に向かって進もうとしている学生と、自分の将来の方向性が定まらない学生の授業への取り組みが大きく異なっていることがうかがわれる。学科として、資格に対する丁寧なガイダンスを行ったり、資格を生かして活躍する先輩たちの事例を紹介したりする取り組みを行い、学生が将来のキャリア形成に向けて主体的に授業に取り組む意欲を引き出すことが必要である。

キャンパス		曜日		履修者数	2583名
学部		時限		回収数	2201名
教員		教室		回収率	85%
科目	家政福祉学科				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	762	1217	179	24	9	10	4.23	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	823	1093	220	35	20	10	4.22	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	862	1078	201	33	18	9	4.25	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	709	1052	314	71	45	10	4.05	4.07
Q5.教材が理解に役立った	834	1016	267	45	27	12	4.18	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	748	935	345	88	37	48	4.05	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	896	974	248	53	20	10	4.22	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	769	1011	292	85	33	11	4.09	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	749	1009	336	51	25	31	4.11	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	897	1006	226	35	23	14	4.24	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	807	1005	313	33	30	13	4.15	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	902	1005	241	24	19	10	4.25	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	316	603	744	261	174	103	3.30	3.34
Q14.よく出席した	1095	750	265	45	26	20	4.30	4.41
Q15.予習・復習の時間	196	322	423	349	719	192	2.47	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	684	909	457	56	27	68	4.02	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	556	1050	465	69	33	28	3.93	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	663	985	416	65	44	28	3.99	4.00
Q19.授業の総合的満足度	723	1058	316	55	27	22	4.10	4.10

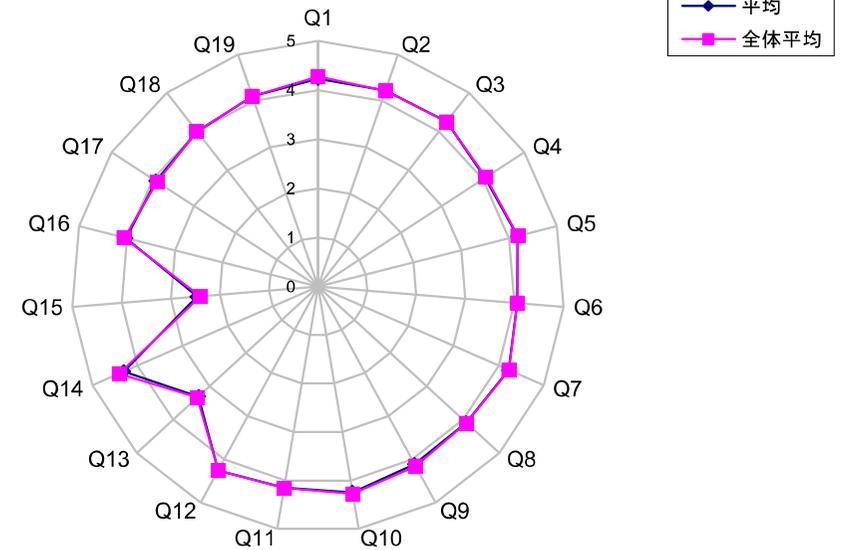
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	748	943	119	22	11	2	4.30
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	636	922	201	54	28	4	4.13
Q5.教材が理解に役立った	751	882	157	33	16	6	4.26
Q6.教員の板書や図の見やすさ	676	805	235	71	20	38	4.13
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	815	835	140	42	11	2	4.30
Q8.説明がわかりやすかった	692	888	176	72	15	2	4.18
Q11.私語に対し適切な対応だった	722	886	189	26	16	6	4.24

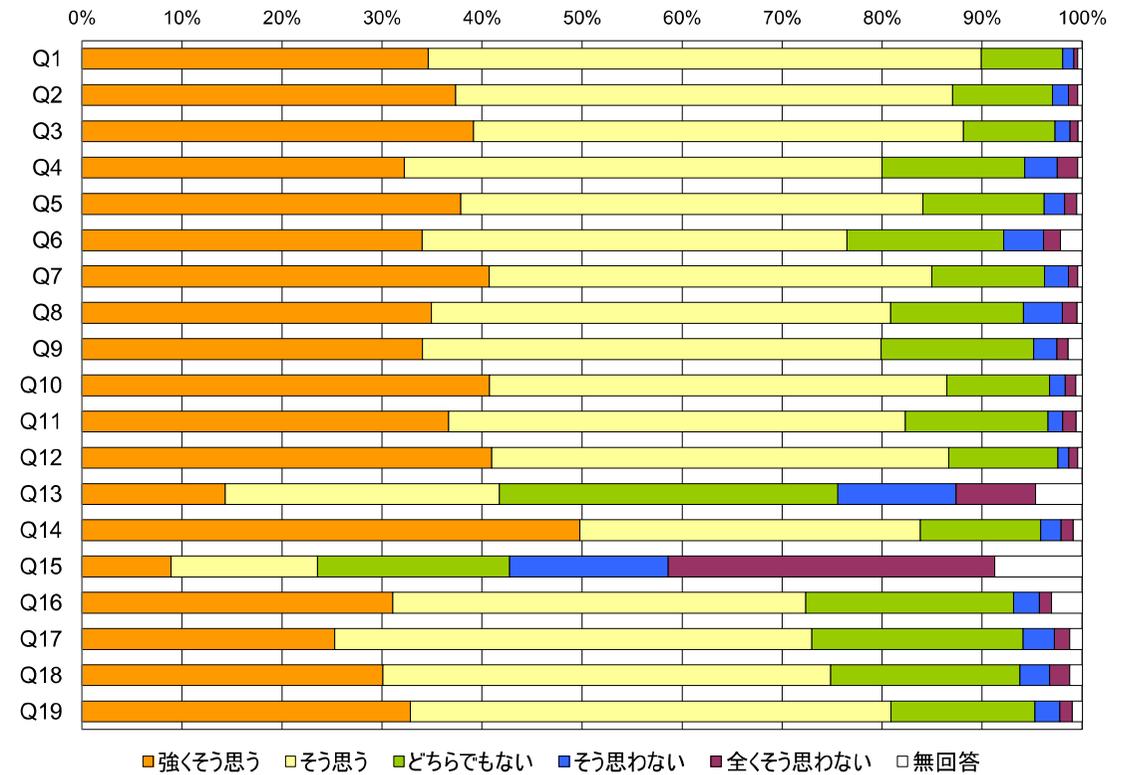
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	74	138	101	11	8	4	3.78
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	73	120	110	15	16	2	3.66
Q5.教材が理解に役立った	81	125	109	10	10	1	3.77
Q6.教員の板書や図の見やすさ	70	123	108	14	16	5	3.66
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	80	130	106	9	8	3	3.80
Q8.説明がわかりやすかった	75	116	114	11	15	5	3.68
Q11.私語に対し適切な対応だった	83	111	120	6	14	2	3.73

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	367名
教員		教室		回収率	
科目	家政福祉学科(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	124	193	39	8	0	3	4.19	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	126	176	54	7	3	1	4.13	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	136	175	45	9	2	0	4.18	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	84	170	76	28	8	1	3.80	4.07
Q5.教材が理解に役立った	122	151	68	14	7	5	4.01	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	109	130	81	29	13	5	3.81	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	148	146	50	18	4	1	4.14	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	110	154	69	29	4	1	3.92	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	99	151	90	16	4	7	3.90	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	140	161	50	13	2	1	4.16	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	128	159	71	7	2	0	4.10	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	129	161	63	10	4	0	4.09	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	37	82	137	59	29	23	3.11	3.34
Q14.よく出席した	217	102	35	6	2	5	4.45	4.41
Q15.予習・復習の時間	21	47	63	78	124	34	2.29	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	120	138	85	12	2	10	4.01	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	93	157	89	20	2	6	3.88	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	94	134	105	20	7	7	3.80	4.00
Q19.授業の総合的満足度	104	169	69	16	5	4	3.97	4.10

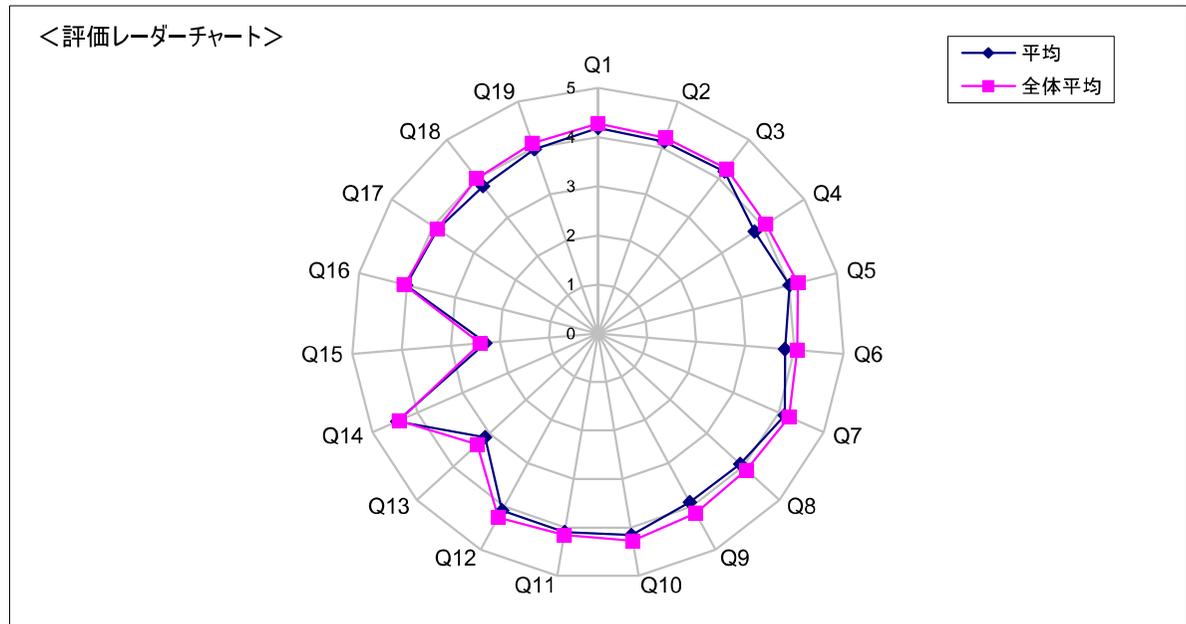
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	120	156	36	4	3	0	4.21
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	79	152	58	24	5	1	3.87
Q5.教材が理解に役立った	115	133	50	10	6	5	4.09
Q6.教員の板書や図の見やすさ	105	112	67	23	8	4	3.90
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	141	123	35	17	3	0	4.20
Q8.説明がわかりやすかった	105	139	46	26	3	0	3.99
Q11.私語に対し適切な対応だった	122	137	54	5	1	0	4.17

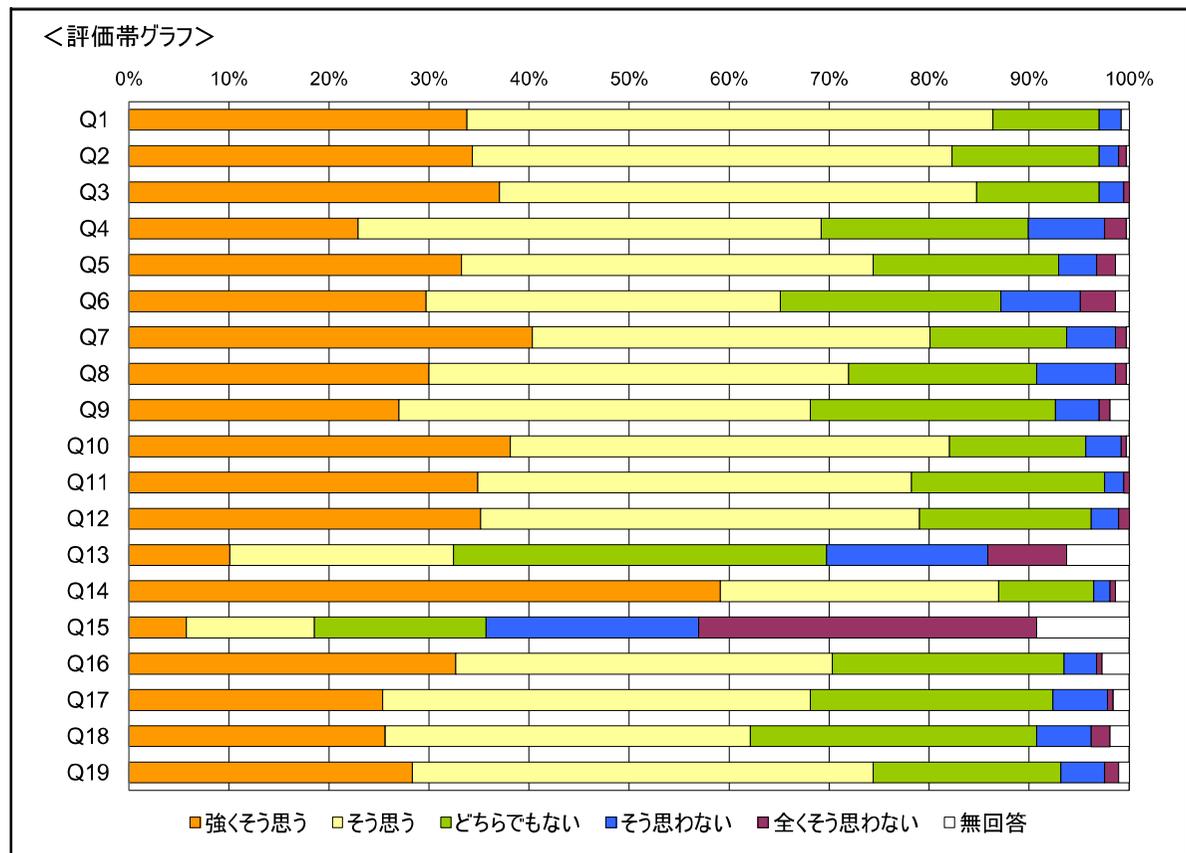
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	6	15	18	3	0	1	3.57
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	5	13	18	4	3	0	3.30
Q5.教材が理解に役立った	7	13	18	4	1	0	3.49
Q6.教員の板書や図の見やすさ	3	16	13	5	5	1	3.17
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	7	18	15	1	1	1	3.69
Q8.説明がわかりやすかった	4	12	22	3	1	1	3.36
Q11.私語に対し適切な対応だった	6	18	16	2	1	0	3.60

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	811名
教員		教室		回収率	
科目	家政福祉学科(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	266	501	38	5	1	0	4.27	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	296	444	55	13	3	0	4.25	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	317	432	54	5	2	1	4.30	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	255	429	103	13	10	1	4.12	4.07
Q5.教材が理解に役立った	302	423	70	12	3	1	4.25	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	263	374	107	32	5	30	4.10	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	324	394	74	15	3	1	4.26	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	277	410	93	24	6	1	4.15	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	255	417	114	10	4	11	4.14	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	326	421	55	3	4	2	4.31	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	279	413	99	12	6	2	4.17	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	329	412	64	4	2	0	4.31	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	88	228	282	89	84	40	3.19	3.34
Q14.よく出席した	447	262	71	16	11	4	4.39	4.41
Q15.予習・復習の時間	40	107	144	123	351	46	2.17	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	233	351	169	19	9	30	4.00	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	190	438	153	15	8	7	3.98	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	230	423	123	17	10	8	4.05	4.00
Q19.授業の総合的満足度	242	455	89	13	6	6	4.14	4.10

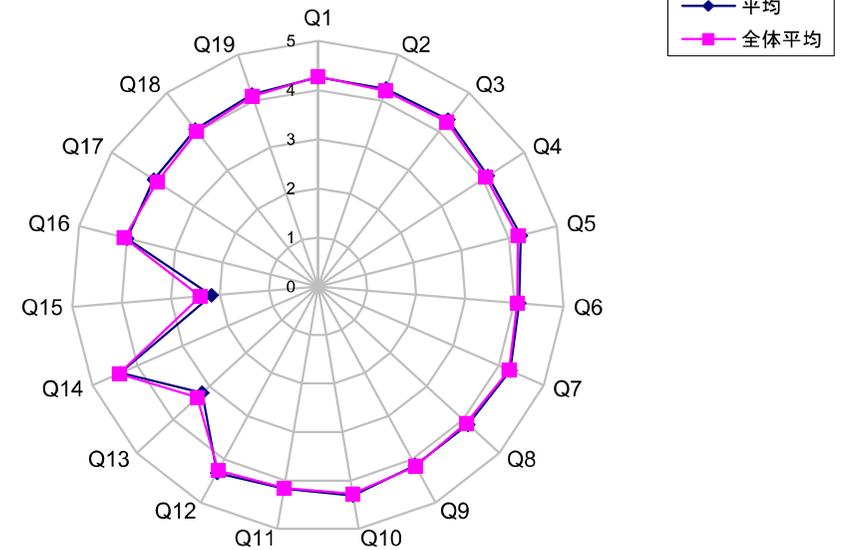
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	270	393	37	8	1	0	4.30
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	228	385	80	8	7	1	4.16
Q5.教材が理解に役立った	275	374	50	9	1	0	4.29
Q6.教員の板書や図の見やすさ	239	335	79	25	2	29	4.15
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	297	354	46	11	1	0	4.32
Q8.説明がわかりやすかった	251	369	67	20	2	0	4.19
Q11.私語に対し適切な対応だった	248	378	68	9	4	2	4.21

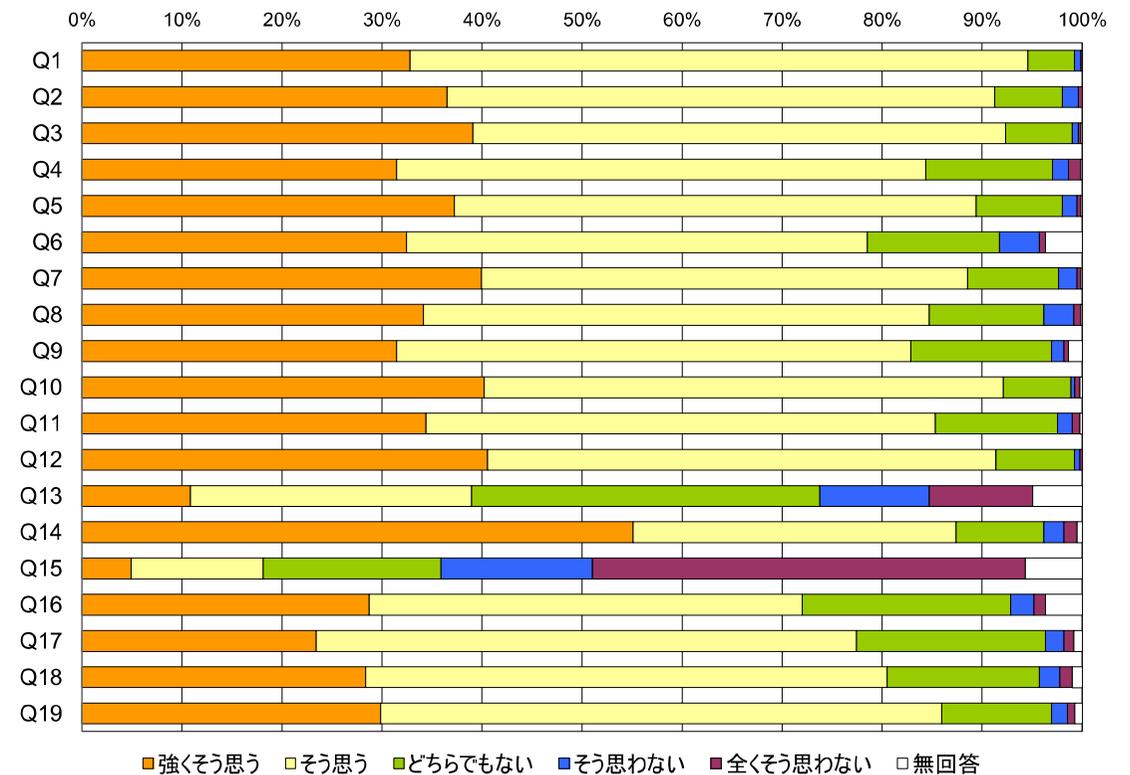
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	25	49	18	4	2	0	3.93
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	27	42	22	4	3	0	3.88
Q5.教材が理解に役立った	27	48	19	2	2	0	3.98
Q6.教員の板書や図の見やすさ	23	38	28	6	3	0	3.73
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	26	40	27	3	2	0	3.87
Q8.説明がわかりやすかった	25	40	25	4	3	1	3.82
Q11.私語に対し適切な対応だった	30	34	29	3	2	0	3.89

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	634名
教員		教室		回収率	
科目	家政福祉学科(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	228	319	73	6	6	2	4.20	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	242	300	71	8	9	4	4.20	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	252	291	67	12	10	2	4.21	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	230	281	80	20	21	2	4.07	4.07
Q5.教材が理解に役立った	249	283	77	10	13	2	4.18	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	233	267	100	15	14	5	4.10	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	252	263	88	18	10	3	4.16	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	233	268	89	25	15	4	4.08	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	244	269	85	17	14	5	4.13	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	255	261	85	14	14	5	4.16	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	246	270	88	11	15	4	4.14	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	269	268	76	8	9	4	4.24	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	125	167	206	73	35	28	3.45	3.34
Q14.よく出席した	288	235	89	10	7	5	4.25	4.41
Q15.予習・復習の時間	97	101	120	98	152	66	2.81	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	221	263	116	14	8	12	4.09	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	174	273	142	21	14	10	3.92	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	214	254	120	19	18	9	4.00	4.00
Q19.授業の総合的満足度	236	254	105	22	9	8	4.10	4.10

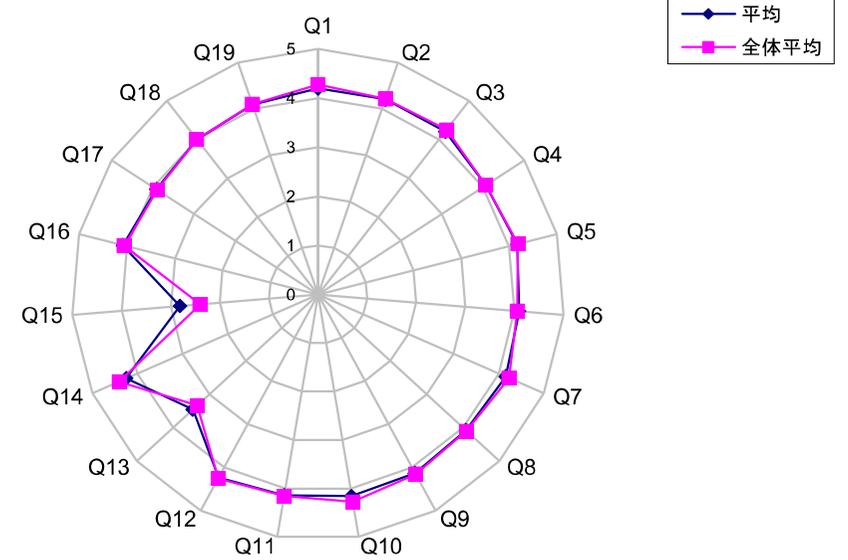
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	226	253	30	7	6	1	4.31
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	214	245	35	15	14	0	4.20
Q5.教材が理解に役立った	229	243	34	9	8	0	4.29
Q6.教員の板書や図の見やすさ	216	227	58	13	8	1	4.21
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	235	222	47	13	6	0	4.28
Q8.説明がわかりやすかった	216	232	46	22	7	0	4.20
Q11.私語に対し適切な対応だった	228	235	40	10	8	2	4.28

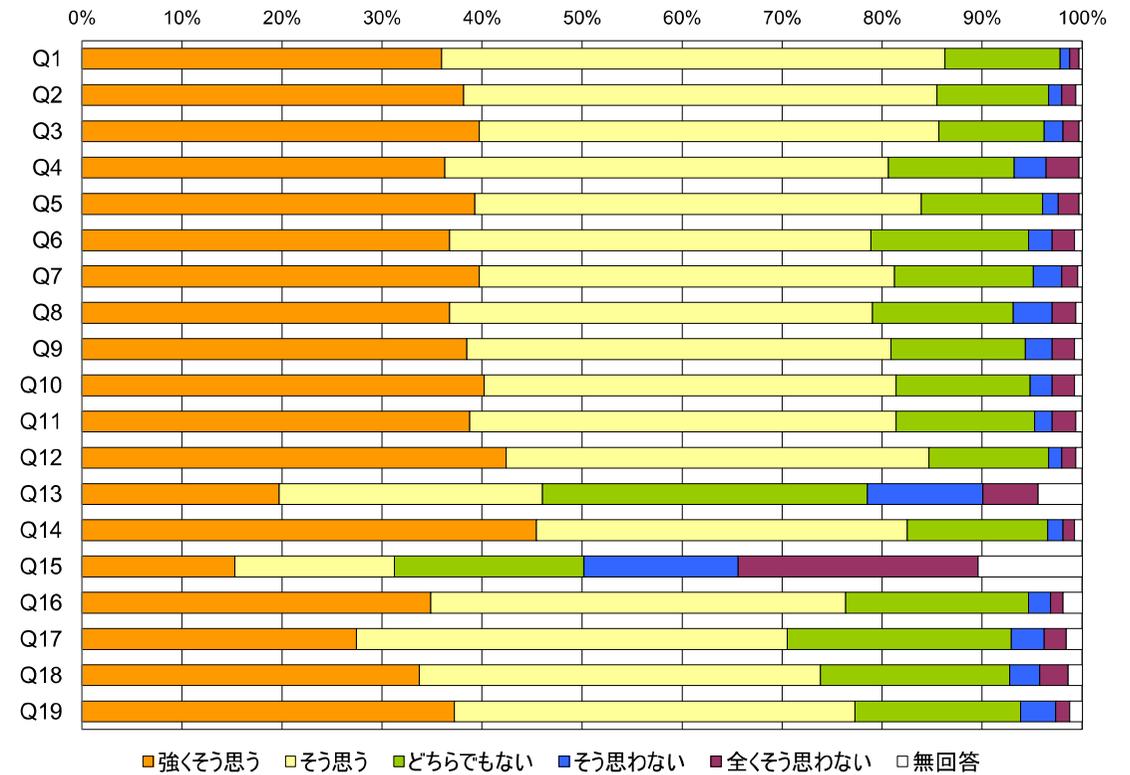
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	16	44	41	1	3	1	3.66
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	16	34	44	5	7	0	3.44
Q5.教材が理解に役立った	18	39	43	1	5	0	3.60
Q6.教員の板書や図の見やすさ	17	37	42	2	6	2	3.55
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	17	39	41	5	3	1	3.59
Q8.説明がわかりやすかった	17	35	43	2	7	2	3.51
Q11.私語に対し適切な対応だった	17	33	48	1	7	0	3.49

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	251名
教員		教室		回収率	
科目	家政福祉学科(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	89	138	20	2	1	1	4.25	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	101	119	22	4	4	1	4.24	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	103	117	23	4	3	1	4.25	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	88	112	40	6	4	1	4.10	4.07
Q5.教材が理解に役立った	107	101	34	6	3	0	4.21	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	95	104	39	7	3	3	4.13	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	116	108	25	0	2	0	4.34	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	97	117	28	4	5	0	4.18	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	104	105	35	5	2	0	4.21	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	117	108	23	1	2	0	4.34	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	102	101	41	1	4	2	4.19	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	119	106	22	0	3	1	4.35	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	36	78	84	28	18	7	3.35	3.34
Q14.よく出席した	81	102	53	8	6	1	3.98	4.41
Q15.予習・復習の時間	14	34	67	35	63	38	2.54	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	58	102	63	9	7	12	3.82	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	51	127	55	11	7	0	3.81	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	71	125	42	6	7	0	3.98	4.00
Q19.授業の総合的満足度	91	121	31	2	5	1	4.16	4.10

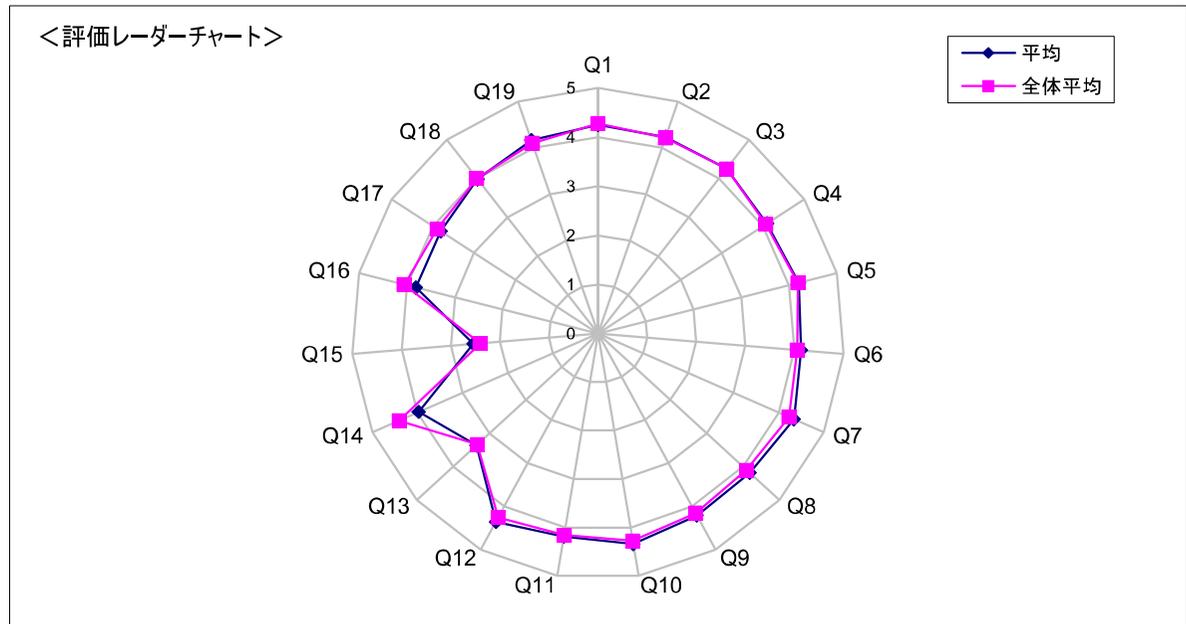
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	80	96	6	1	0	0	4.39
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	70	88	21	4	0	0	4.22
Q5.教材が理解に役立った	85	81	14	3	0	0	4.36
Q6.教員の板書や図の見やすさ	74	81	20	6	0	2	4.23
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	92	85	6	0	0	0	4.47
Q8.説明がわかりやすかった	74	96	11	2	0	0	4.32
Q11.私語に対し適切な対応だった	79	81	21	1	1	0	4.29

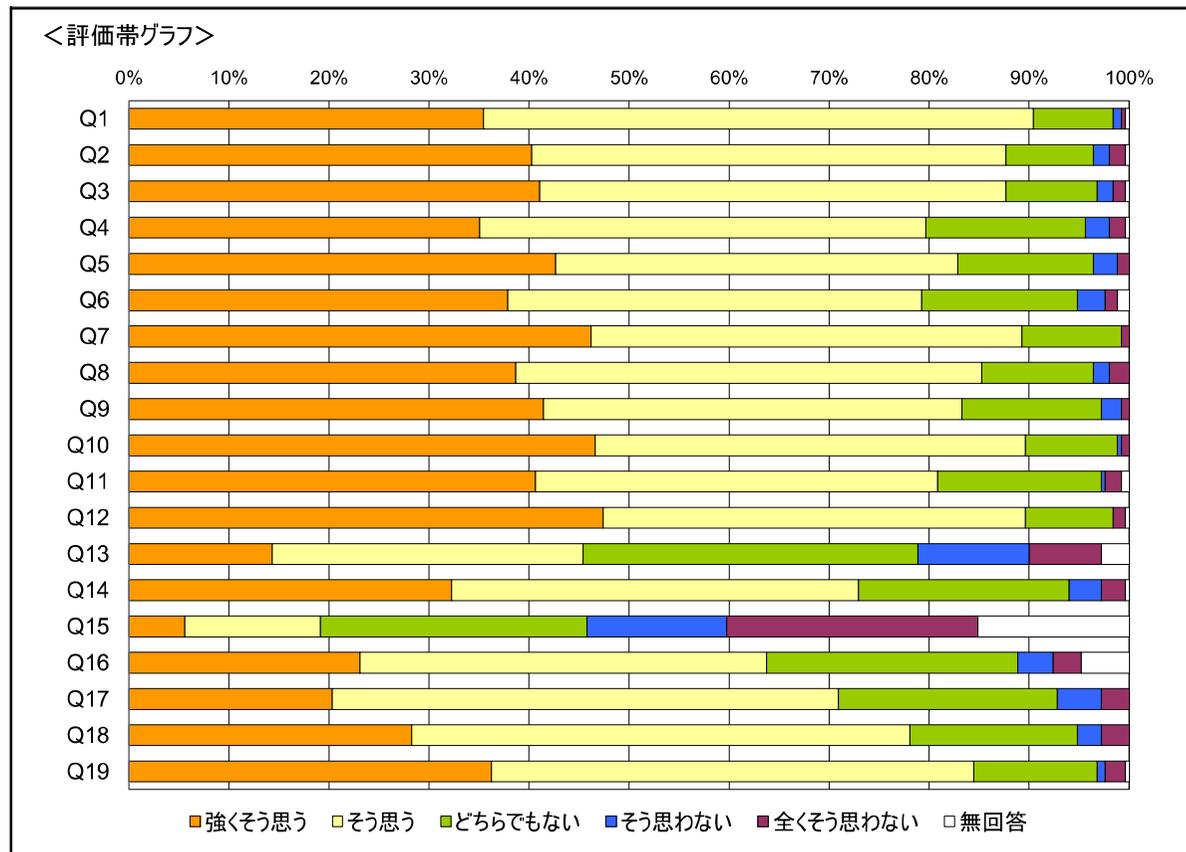
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	21	23	16	3	3	1	3.85
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	18	24	19	2	3	1	3.79
Q5.教材が理解に役立った	22	20	20	3	2	0	3.85
Q6.教員の板書や図の見やすさ	21	23	19	1	2	1	3.91
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	24	23	18	0	2	0	4.00
Q8.説明がわかりやすかった	23	21	17	2	4	0	3.85
Q11.私語に対し適切な対応だった	23	20	20	0	3	1	3.91

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



## (8) 看護学科の評価結果

### ・結果の概要

看護学科は、2018年度が初めての授業アンケートであり1年生のみの回答である。集計科目は、オムニバス科目はアンケートを取っていないこともあり7科目(6教員)のみの学科平均から述べる。回収率は91%とまずまずである。残念ながら質問19項目中全体平均を上回った項目は、Q15「予習・復習の時間」(全体:2.40 看護:2.46)のみだった。その他、すべての項目が全体平均以下であった。特に全体平均との差が大きかった項目は(0.1ポイント以上の差)、Q13「積極的に意見や質問した」(全体:3.34 看護:3.12) Q10「開始・終了時間が適切だった」(全体:4.28 看護:4.08) Q16「試験に積極的に取り組んだ」(全体:4.06 看護:3.91) Q18「受講を後輩に勧めたい」(全体:4.00 看護:3.89) Q12「教員の熱意を感じた」(全体:4.26 看護:4.16)の5項目だった。

その他の項目は0.02~0.09の間のマイナスであり、Q2「内容は知的刺激に富んでいた」Q3「新しい知識・技術を学べた」に関しても全体より低い点数だった。授業への出席率の高い群は、多くの項目で看護全体の平均より高い傾向にあり、授業出席率の低い群とはかなりの開きが見られた。

### ・評価結果からみた課題

看護学科1年生の結果は、専門科目7科目のみの調査結果であるが、学生からの評価は決してよい結果とは言えなかった。高校時代とは全く異なる学習内容であり学生にとっては難しく感じることは否めないだろう。しかし、看護師を目指して入学しているのであれば看護の専門科目を学ぶことは楽しく「知的刺激に富み」「新しい知識・技術の習得」を感じるであろうが、その点も低かったことは教授方法、内容を再考する必要があると思われる。7科目中、どの科目の点数が高く、どの科目が低かったのか、科目ごとの分析も必要かもしれない。ただし、看護学科はオムニバス科目が多く、今回はその科目については調査していない。例え複数の教員が担当したとしても、その科目全体を受講して「知的刺激を得たか」「新しい知識・技術を学べたか」「さらに勉強したくなったか」後輩にも勧めたいと満足できたかを把握することは重要である。2019年度よりオムニバス科目も調査対象となることから今後の結果を注視し分析していきたい。

キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	634名
教員		教室		回収率	
科目	看護学科(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	232	331	59	3	2	7	4.26	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	241	285	72	24	6	6	4.16	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	256	276	76	14	6	6	4.21	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	203	273	94	40	17	7	3.96	4.07
Q5.教材が理解に役立った	230	285	77	27	8	7	4.12	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	205	253	121	21	10	24	4.02	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	211	260	99	31	27	6	3.95	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	202	266	107	38	14	7	3.96	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	195	264	125	24	15	11	3.96	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	229	266	87	34	12	6	4.06	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	235	268	94	19	10	8	4.12	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	247	265	85	20	10	7	4.15	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	72	136	227	88	60	51	3.12	3.34
Q14.よく出席した	360	163	82	10	8	11	4.38	4.41
Q15.予習・復習の時間	45	86	140	98	186	79	2.47	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	179	240	158	15	15	27	3.91	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	158	261	149	30	21	15	3.82	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	186	242	138	23	24	21	3.89	4.00
Q19.授業の総合的満足度	188	265	118	29	20	14	3.92	4.10

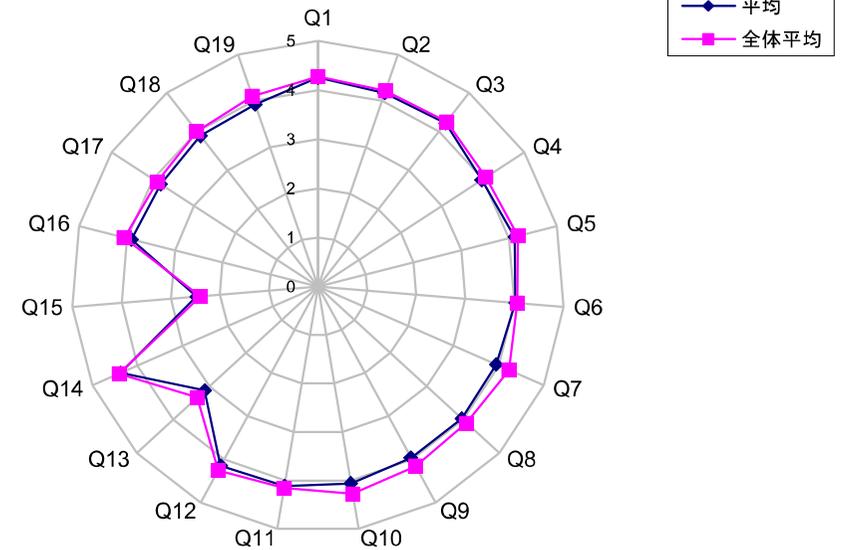
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	224	241	32	20	3	3	4.28
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	186	237	52	30	14	4	4.06
Q5.教材が理解に役立った	209	250	38	21	2	3	4.24
Q6.教員の板書や図の見やすさ	191	222	72	18	5	15	4.13
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	191	229	55	25	20	3	4.05
Q8.説明がわかりやすかった	186	232	60	30	11	4	4.06
Q11.私語に対し適切な対応だった	212	236	47	15	8	5	4.21

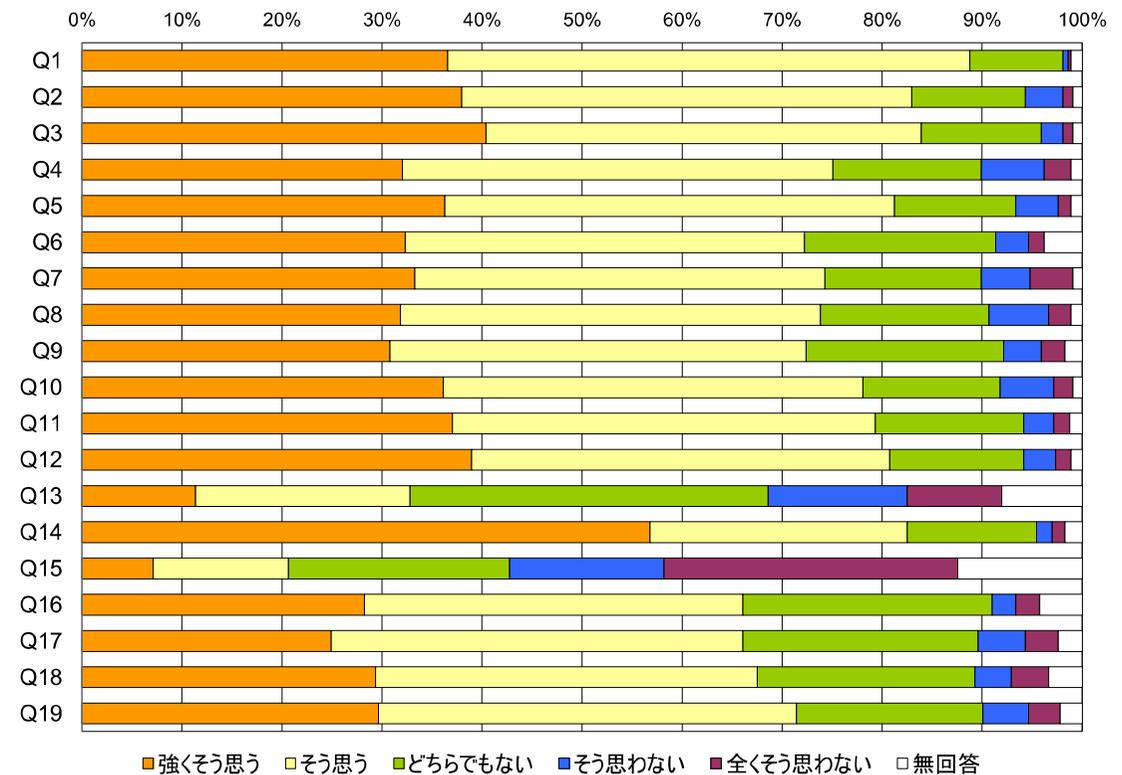
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	13	41	40	3	3	0	3.58
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	13	34	42	9	2	0	3.47
Q5.教材が理解に役立った	17	33	39	4	6	1	3.52
Q6.教員の板書や図の見やすさ	12	29	49	2	4	4	3.45
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	16	28	44	5	6	1	3.43
Q8.説明がわかりやすかった	12	32	47	6	3	0	3.44
Q11.私語に対し適切な対応だった	18	30	47	3	2	0	3.59

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



#### (9) 共通科目（全学教育センター）の評価結果

##### ・結果の概要

全学教育センターが所管する、「共通科目（外国語を除く）」と「共通科目の外国語」について検討資料が提供されたので、この視点から考察する。

【共通科目】2018（H30）年度の共通科目は延べ11370件（名）の受講があり、内9302件（82%）の回答が得られている。学年別内訳は1年生5779件、2年生2029件、3年生743件、4年生315件と受講は圧倒的に低学年に偏っており、学年進行と共に顕著な減少が認められる。具体的な評価結果としては、ほぼ正確に全学の総合平均値と同じであったが、Q15（予習・復習）のみ若干平均より低値であった。専門科目に比べて予習復習に時間をかけられないというのは、事実をよく反映していると考えられる。一方、総じて教養科目の満足度が低いと言われているようであるが、そのような傾向は今回の結果からは全く認められない。

【外国語科目】外国語科目は履修者が延べ4174件（名）、内回答数が3589件（86%）で、さらにその内の9割が1年生である。1年生は必修の「英語a」と「英語b」で、2年生以上は選択の第二外国語であることから、本学において進んで語学を勉強しようという学生がかなり少ないことが分かる。

受講生が専ら1年生であることから、学年別では、まず「全体」と「1年生のみ」の結果には差は認められない。ほとんどの評価項目で全学の総合平均値と同じであるが、Q2（知的刺激）、Q3（新規性）、Q17（さらに勉強したい）、Q18（後輩に推薦）でやや低く、Q13（意見・質問）でやや高かった。一方、2年生以上で全体として高評価傾向になり、特に3年生では総数が64件と少ないものの、顕著に全学の総合平均値を上回り（ほとんどの評価項目でプラス0.3-0.5ポイント）、学生が明確な学修意欲を持って受講していると共に、その姿勢に教員達が十分に答えて学生を満足させていることが伺える、大変頼もしい結果となった。

##### ・評価結果からみた課題

【共通科目】共通科目の低学年偏重傾向は、ある意味当然のことであるが、もう少し高学年でも興味を持った科目を主体的に履修して欲しい。当然高学年の学生の方が多くの知識と教養を有しており、同じ講義を受けても味わいが深まると期待できる。低学年で早期に卒業要件を満たす目的での受講は否定できないが、高学年での意欲的な受講を促す工夫が必要である。

【外国語科目】英語が苦手な学生が多い本学で、1年生全員が必修科目として受講した外国語（英語）で、全学総合平均と同水準の評価であったことに、満足は出来ないが一定の評価が出来ると考えている。この結果の分散を調べることで、多くの学生が平均（中央）付近に集まっているのか、満足と不満足との二極化傾向があるのかを分析しておく必要がある。

また、2019年度以降、共通の英語以外の第二外国語が全廃された事は、数が多くないものの意欲を持って学んでいた学生を切り捨てたことになり、大学としてこれで良いのか今後の検討課題となろう。

【次回に向けて】共通科目は教養、外国語、免許・資格等からなっており、現在全学教育センターでは免許・資格にも注力している。次回の分析ではこの分野を独立して集計することで、より詳細な分析が出来るものと考えられる。

キャンパス		曜日		履修者数	11370名
学部		時限		回収数	9303名
教員		教室		回収率	82%
科目	共通科目				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	3715	4527	885	82	22	72	4.28	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	3532	4303	1174	187	45	62	4.20	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	3632	4327	1080	152	42	70	4.23	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	3086	3997	1662	372	106	80	4.04	4.07
Q5.教材が理解に役立った	3833	3893	1185	214	58	120	4.22	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	3155	3584	1622	457	125	360	4.03	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	4070	3866	1004	236	64	63	4.26	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	3558	3929	1307	327	115	67	4.14	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	3268	3892	1701	179	64	199	4.11	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	4171	3880	938	193	54	67	4.29	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	3510	3791	1542	269	80	111	4.13	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	3893	3905	1241	156	32	76	4.24	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	1239	2015	3270	1280	843	656	3.18	3.34
Q14.よく出席した	4992	2988	1017	149	42	115	4.39	4.41
Q15.予習・復習の時間	634	883	1373	1138	4083	1192	2.12	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	2925	3504	2051	250	124	449	4.00	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	2374	3668	2527	396	170	168	3.84	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	3025	3587	2081	304	148	158	3.99	4.00
Q19.授業の総合的満足度	3313	3956	1569	230	82	153	4.11	4.10

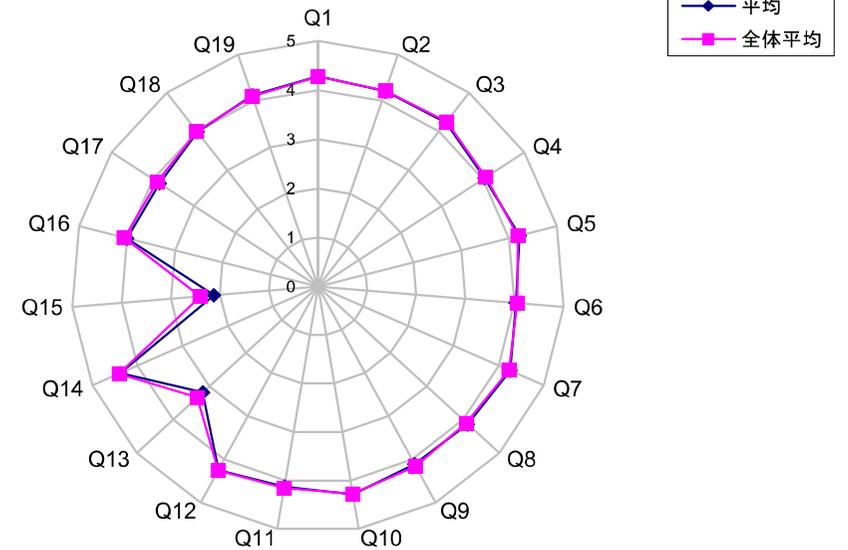
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	3296	3795	713	128	32	16	4.28
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	2877	3569	1146	282	77	29	4.12
Q5.教材が理解に役立った	3563	3425	735	150	40	67	4.30
Q6.教員の板書や図の見やすさ	2944	3179	1105	373	98	281	4.10
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	3772	3415	564	174	41	14	4.34
Q8.説明がわかりやすかった	3309	3492	832	244	85	18	4.22
Q11.私語に対し適切な対応だった	3257	3347	1063	202	60	51	4.20

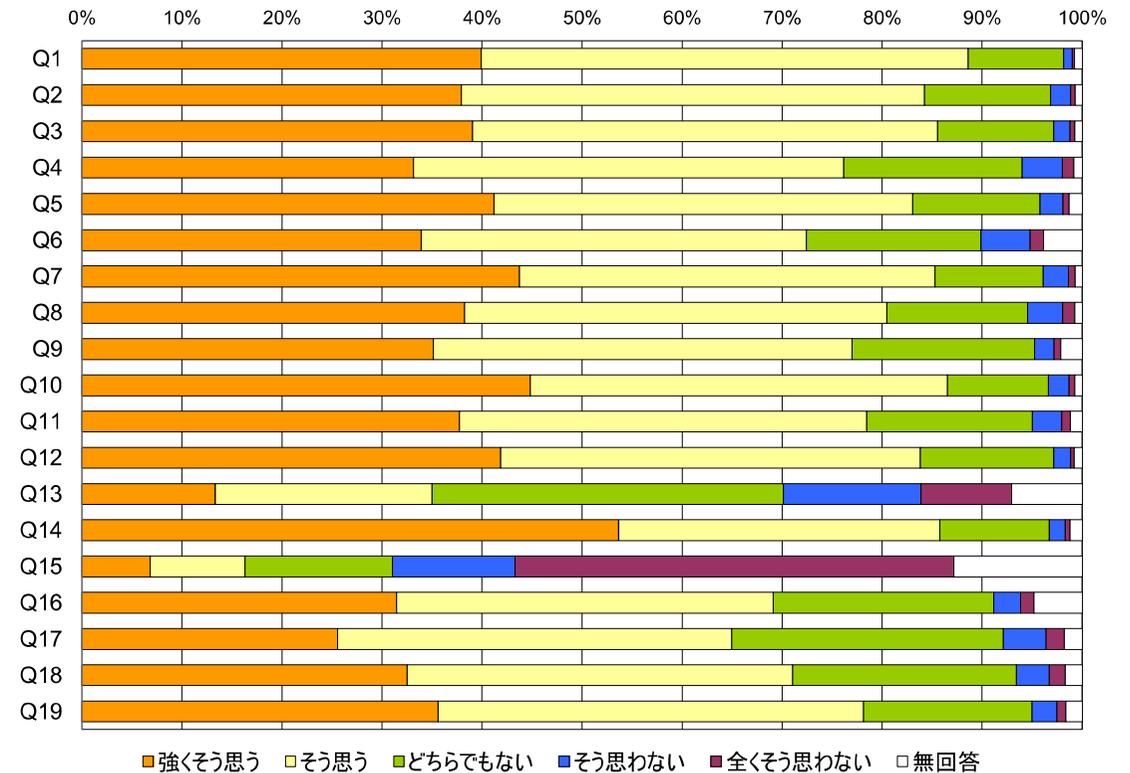
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	207	480	448	56	12	5	3.68
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	185	399	504	82	27	11	3.53
Q5.教材が理解に役立った	249	435	433	62	17	12	3.70
Q6.教員の板書や図の見やすさ	189	375	501	82	26	35	3.53
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	270	420	430	59	23	6	3.71
Q8.説明がわかりやすかった	228	403	465	76	30	6	3.60
Q11.私語に対し適切な対応だった	230	409	472	64	18	15	3.64

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	5779名
教員		教室		回収率	
科目	共通科目(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	2366	2727	565	60	15	46	4.29	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	2223	2582	777	129	31	37	4.19	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	2318	2596	691	100	30	44	4.23	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1916	2399	1089	248	75	52	4.02	4.07
Q5.教材が理解に役立った	2410	2336	779	138	36	80	4.22	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1983	2092	1066	296	87	255	4.01	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	2598	2290	639	166	45	41	4.26	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	2254	2323	853	224	82	43	4.12	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	2020	2341	1107	118	46	147	4.10	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	2694	2308	579	124	32	42	4.31	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	2169	2285	1037	162	49	77	4.12	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	2417	2344	841	108	20	49	4.23	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	789	1212	2073	813	491	401	3.19	3.34
Q14.よく出席した	3299	1722	580	82	25	71	4.43	4.41
Q15.予習・復習の時間	368	502	842	734	2612	721	2.07	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	1812	2195	1280	141	63	288	4.01	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	1493	2187	1609	276	101	113	3.83	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	1875	2122	1377	205	86	114	3.97	4.00
Q19.授業の総合的満足度	2088	2385	998	151	54	103	4.11	4.10

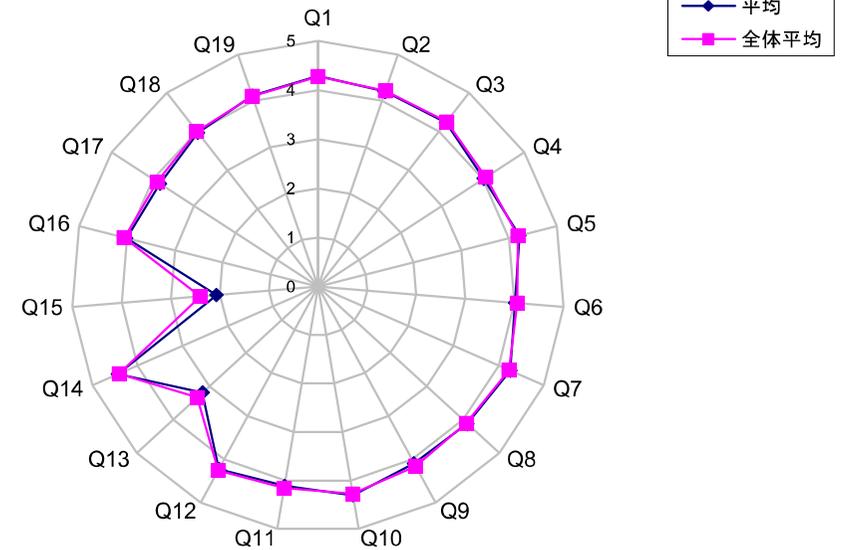
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	2090	2312	499	91	20	9	4.27
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1805	2176	776	192	53	19	4.10
Q5.教材が理解に役立った	2267	2078	506	101	23	46	4.30
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1870	1885	750	249	65	202	4.09
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	2439	2044	373	129	28	8	4.34
Q8.説明がわかりやすかった	2120	2088	575	167	61	10	4.21
Q11.私語に対し適切な対応だった	2039	2042	748	121	36	35	4.19

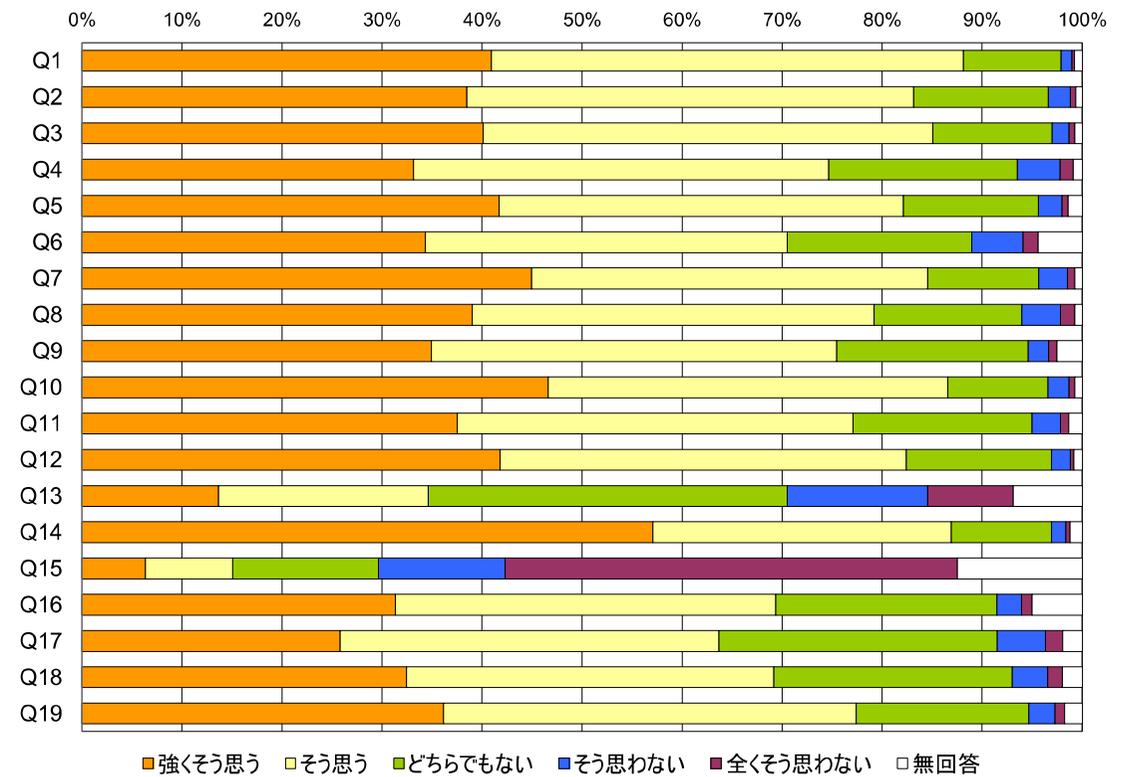
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	118	254	267	36	11	1	3.63
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	99	207	304	51	21	5	3.46
Q5.教材が理解に役立った	130	240	262	36	13	6	3.64
Q6.教員の板書や図の見やすさ	101	191	305	46	21	23	3.46
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	145	228	259	35	17	3	3.66
Q8.説明がわかりやすかった	123	217	272	51	21	3	3.54
Q11.私語に対し適切な対応だった	119	223	283	40	12	10	3.59

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	2029名
教員		教室		回収率	
科目	共通科目(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	752	1084	168	18	2	5	4.27	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	700	1064	219	33	5	8	4.20	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	709	1054	223	33	2	8	4.20	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	629	965	346	66	13	10	4.06	4.07
Q5.教材が理解に役立った	793	922	238	49	12	15	4.21	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	634	893	323	103	23	53	4.02	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	814	948	203	46	12	6	4.24	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	705	971	267	63	17	6	4.13	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	680	941	340	40	8	20	4.12	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	833	955	195	32	8	6	4.27	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	746	915	291	56	11	10	4.15	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	833	948	211	25	6	6	4.27	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	234	475	707	266	195	152	3.15	3.34
Q14.よく出席した	1049	689	222	36	9	24	4.36	4.41
Q15.予習・復習の時間	139	199	309	219	888	275	2.13	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	644	760	438	57	32	98	4.00	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	464	885	547	68	36	29	3.84	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	629	888	404	57	29	22	4.01	4.00
Q19.授業の総合的満足度	662	965	316	52	9	25	4.11	4.10

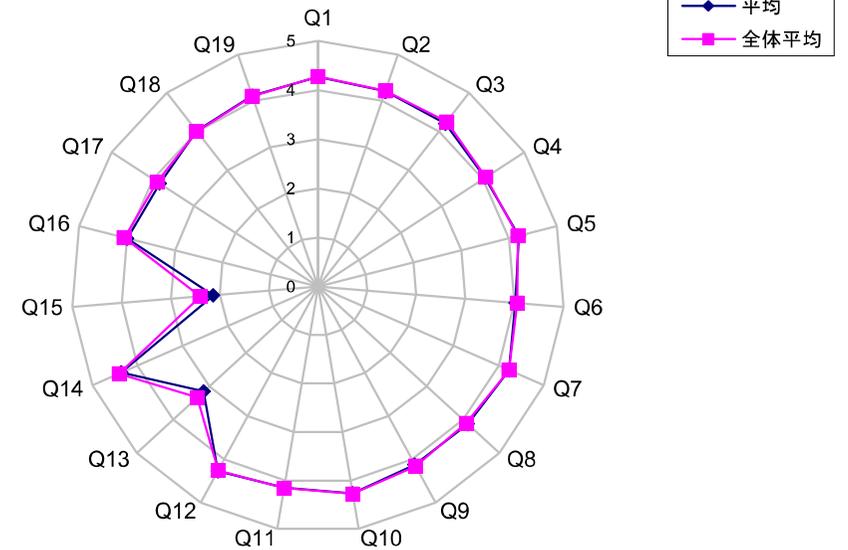
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	663	929	120	20	4	2	4.28
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	597	844	241	43	8	5	4.14
Q5.教材が理解に役立った	742	801	144	32	9	10	4.29
Q6.教員の板書や図の見やすさ	595	786	214	78	20	45	4.10
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	756	830	112	31	8	1	4.32
Q8.説明がわかりやすかった	661	852	163	49	12	1	4.21
Q11.私語に対し適切な対応だった	697	800	189	40	8	4	4.23

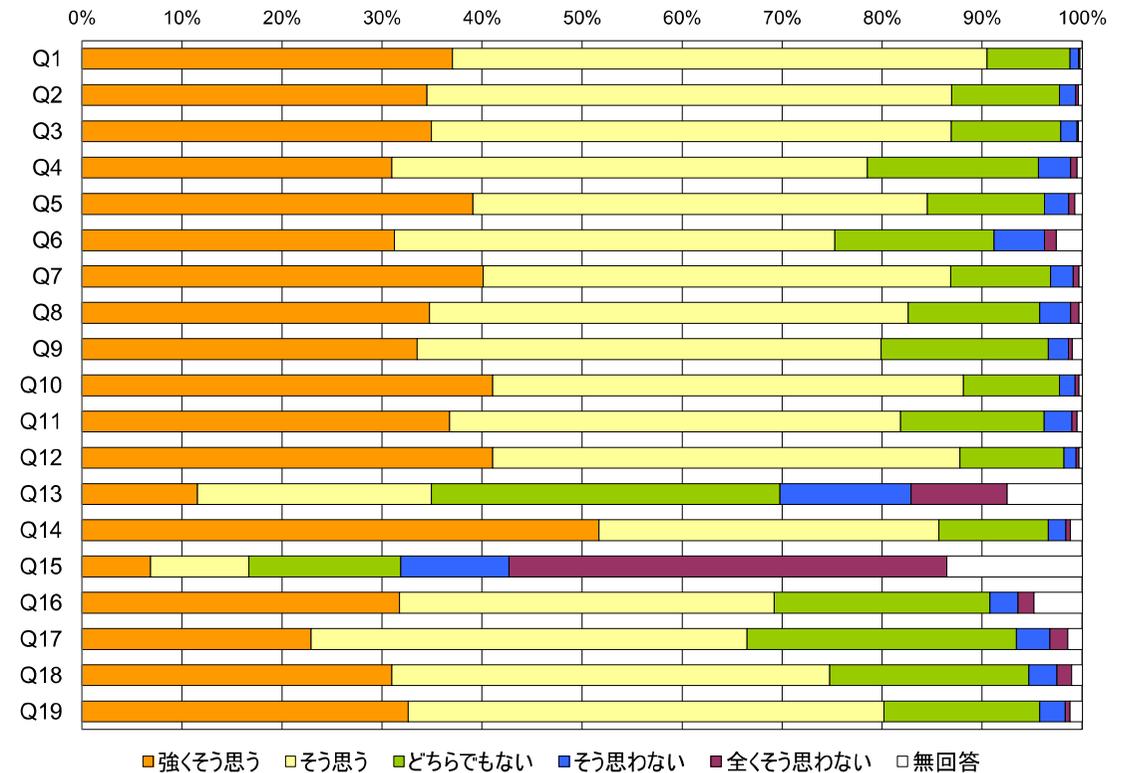
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	29	128	98	12	0	0	3.65
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	27	112	103	20	4	1	3.52
Q5.教材が理解に役立った	48	111	90	16	2	0	3.70
Q6.教員の板書や図の見やすさ	34	98	106	24	3	2	3.51
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	50	110	89	14	4	0	3.70
Q8.説明がわかりやすかった	40	108	101	13	5	0	3.62
Q11.私語に対し適切な対応だった	42	105	101	15	2	2	3.64

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	743名
教員		教室		回収率	
科目	共通科目(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	296	372	64	3	3	5	4.29	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	295	339	85	18	4	2	4.22	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	295	348	82	11	5	2	4.24	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	259	324	118	30	9	3	4.07	4.07
Q5.教材が理解に役立った	306	335	77	14	4	7	4.26	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	262	311	113	33	5	19	4.09	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	327	320	74	16	5	1	4.28	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	292	334	90	20	6	1	4.19	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	278	320	118	10	9	8	4.15	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	319	312	84	20	6	2	4.24	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	291	303	106	25	12	6	4.13	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	325	308	90	12	5	3	4.26	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	99	141	260	96	100	47	3.06	3.34
Q14.よく出席した	344	275	97	17	6	4	4.26	4.41
Q15.予習・復習の時間	54	76	102	119	306	86	2.17	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	240	270	163	22	17	31	3.97	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	201	297	190	30	17	8	3.86	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	261	290	148	22	18	4	4.02	4.00
Q19.授業の総合的満足度	275	309	128	16	9	6	4.12	4.10

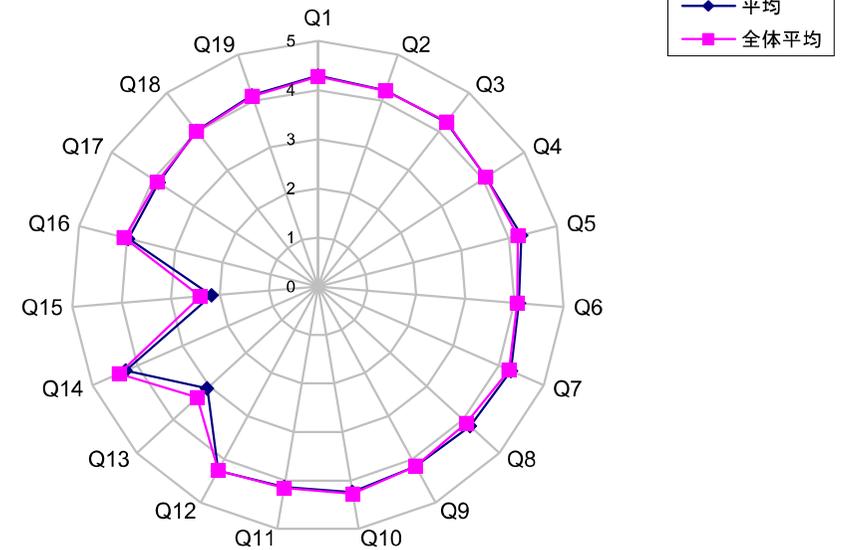
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	263	293	47	12	4	0	4.29
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	227	283	76	24	9	0	4.12
Q5.教材が理解に役立った	269	292	42	10	3	3	4.32
Q6.教員の板書や図の見やすさ	234	270	72	23	5	15	4.17
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	290	277	39	9	4	0	4.36
Q8.説明がわかりやすかった	260	292	49	12	6	0	4.27
Q11.私語に対し適切な対応だった	257	264	63	21	9	5	4.20

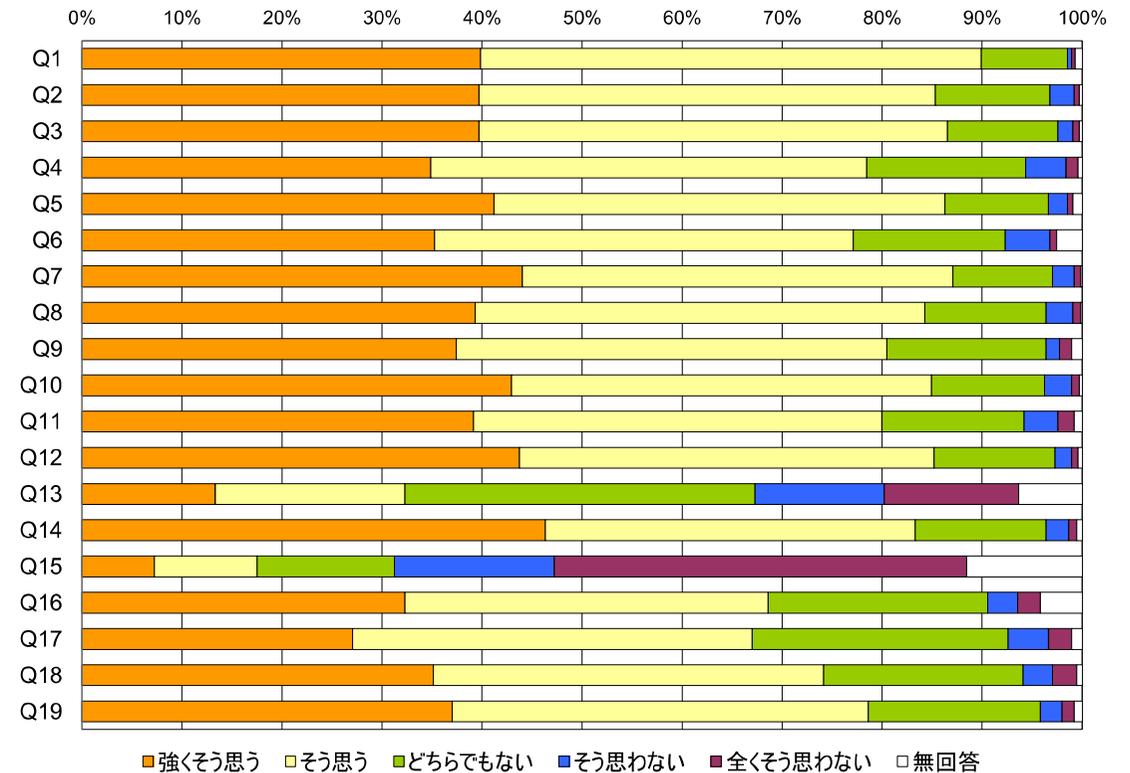
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	31	44	38	6	0	1	3.84
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	30	40	42	6	0	2	3.80
Q5.教材が理解に役立った	36	41	35	4	1	3	3.91
Q6.教員の板書や図の見やすさ	27	39	41	10	0	3	3.71
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	35	42	35	7	1	0	3.86
Q8.説明がわかりやすかった	30	41	41	8	0	0	3.78
Q11.私語に対し適切な対応だった	33	37	43	4	3	0	3.78

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	315名
教員		教室		回収率	
科目	共通科目(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	110	170	34	0	1	0	4.23	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	130	142	37	4	2	0	4.25	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	127	154	29	4	1	0	4.28	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	103	153	39	17	3	0	4.07	4.07
Q5.教材が理解に役立った	123	150	33	5	2	2	4.24	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	97	148	44	11	5	10	4.05	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	134	150	27	3	1	0	4.31	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	116	148	36	9	5	1	4.15	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	111	145	49	4	0	6	4.17	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	124	154	23	7	5	2	4.23	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	125	140	25	16	8	1	4.14	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	124	153	32	5	0	1	4.26	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	36	69	98	49	33	30	3.09	3.34
Q14.よく出席した	89	160	54	6	1	5	4.06	4.41
Q15.予習・復習の時間	21	40	46	29	129	50	2.23	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	66	137	78	16	4	14	3.81	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	74	145	74	10	3	9	3.91	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	101	131	63	9	5	6	4.02	4.00
Q19.授業の総合的満足度	110	140	49	5	3	8	4.14	4.10

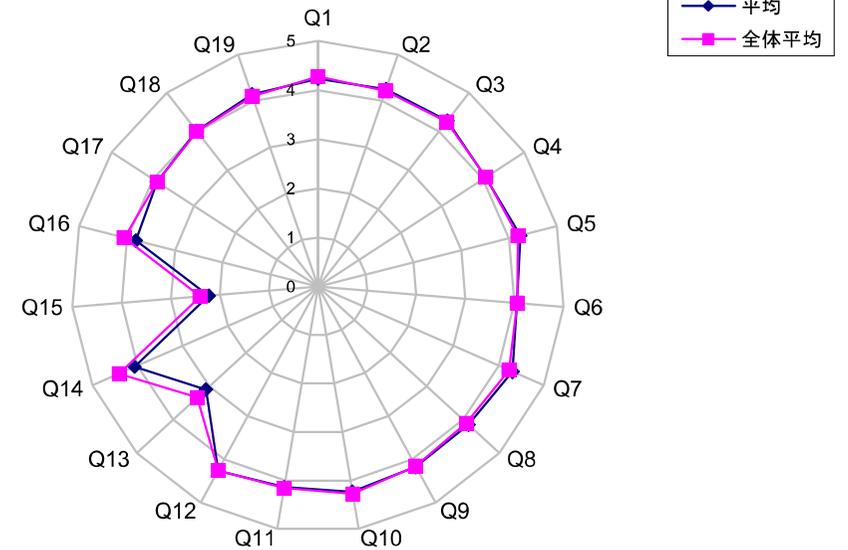
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	112	112	21	3	1	0	4.33
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	88	125	19	15	2	0	4.13
Q5.教材が理解に役立った	104	121	18	2	2	2	4.31
Q6.教員の板書や図の見やすさ	83	116	29	10	4	7	4.09
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	110	123	13	2	1	0	4.36
Q8.説明がわかりやすかった	98	120	18	9	3	1	4.21
Q11.私語に対し適切な対応だった	105	110	15	12	7	0	4.18

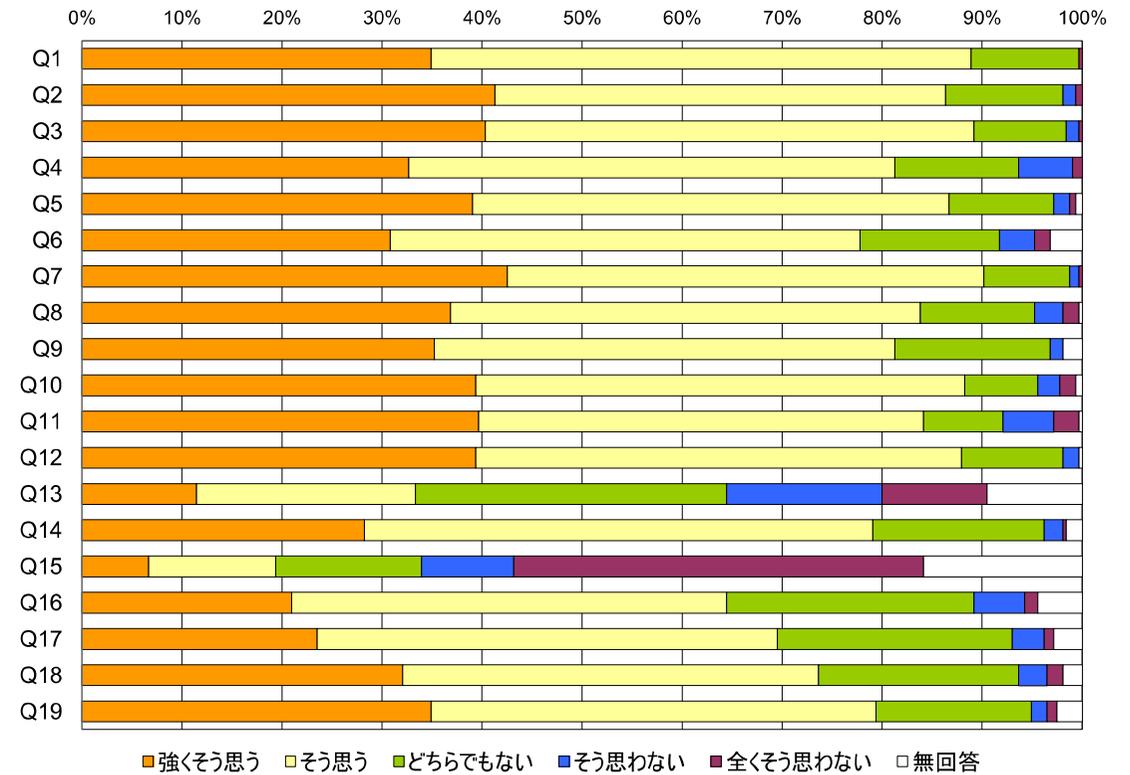
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	17	27	15	1	1	0	3.95
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	14	25	19	2	1	0	3.80
Q5.教材が理解に役立った	18	26	14	3	0	0	3.97
Q6.教員の板書や図の見やすさ	13	29	14	1	1	3	3.90
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	24	23	13	1	0	0	4.15
Q8.説明がわかりやすかった	18	24	17	0	2	0	3.92
Q11.私語に対し適切な対応だった	20	27	10	3	1	0	4.02

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	4147名
学部		時限		回収数	3589名
教員		教室		回収率	87%
科目	共通科目(外国語)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	1464	1591	420	49	36	29	4.24	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1349	1448	567	128	78	19	4.08	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	1374	1431	557	129	73	25	4.10	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1479	1336	501	159	89	25	4.11	4.07
Q5.教材が理解に役立った	1412	1431	530	128	54	34	4.13	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1294	1322	641	162	83	87	4.02	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1704	1238	408	134	83	22	4.22	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	1424	1310	552	174	105	24	4.06	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	1503	1331	541	98	70	46	4.16	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	1738	1348	338	89	54	22	4.30	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	1427	1424	552	90	42	54	4.16	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	1615	1296	492	93	67	26	4.21	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	768	1047	1092	357	185	140	3.54	3.34
Q14.よく出席した	2025	1028	407	59	24	46	4.40	4.41
Q15.予習・復習の時間	283	400	844	929	867	266	2.49	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	1180	1368	740	116	68	117	4.00	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	958	1227	960	238	134	72	3.75	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	1178	1194	833	143	154	87	3.88	4.00
Q19.授業の総合的満足度	1338	1351	598	120	116	66	4.04	4.10

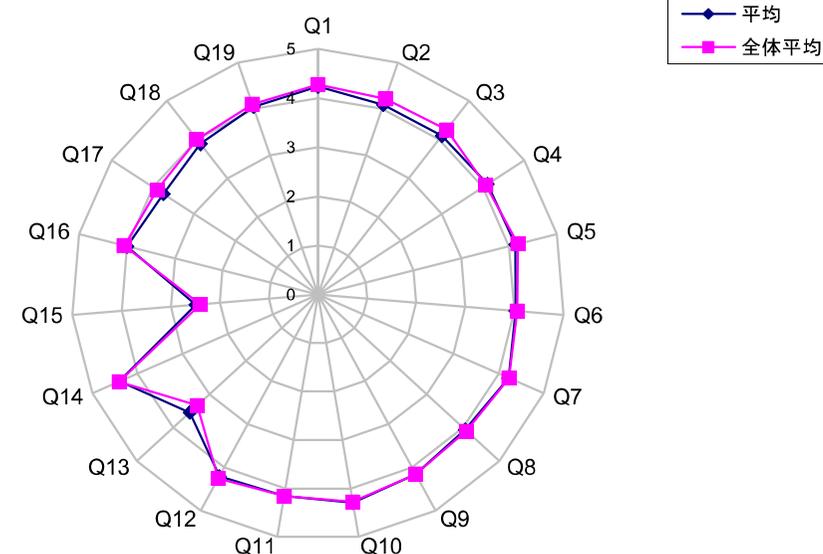
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1258	1276	369	96	48	6	4.18
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1387	1163	306	120	67	10	4.21
Q5.教材が理解に役立った	1317	1243	340	98	33	22	4.23
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1211	1152	443	125	54	68	4.12
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1582	1070	238	100	54	9	4.32
Q8.説明がわかりやすかった	1339	1144	357	131	72	10	4.17
Q11.私語に対し適切な対応だった	1325	1246	357	62	24	39	4.26

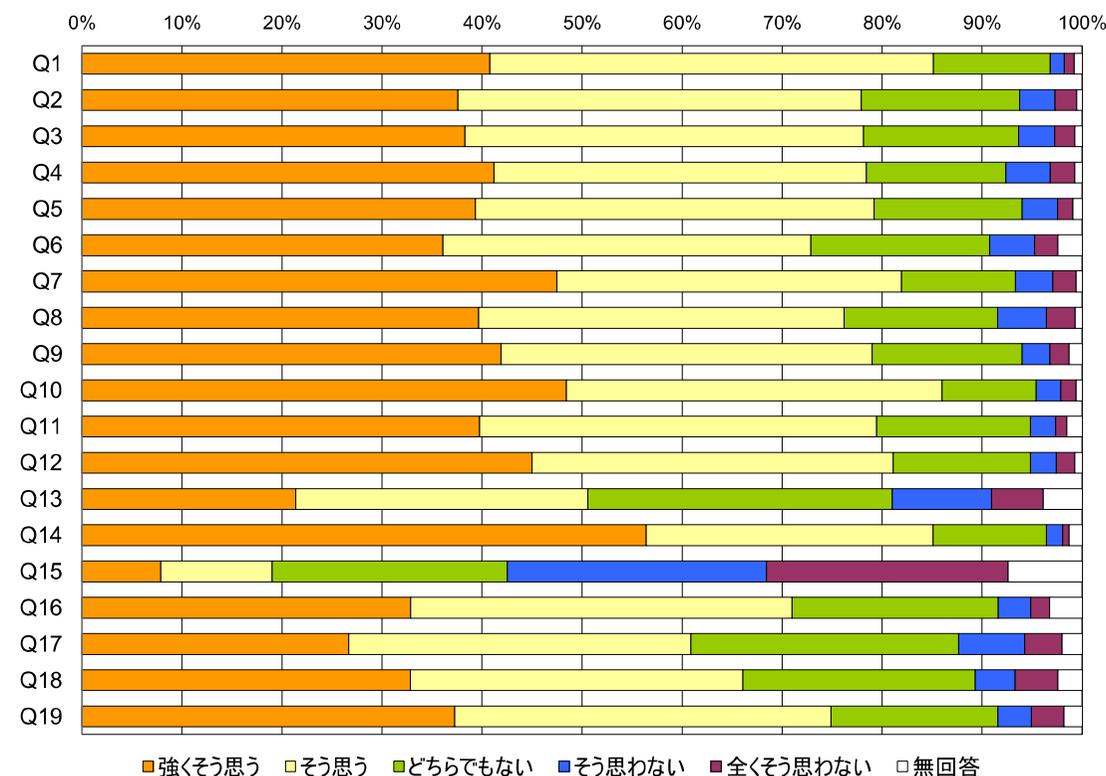
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	76	161	195	32	25	1	3.47
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	78	164	190	38	18	2	3.50
Q5.教材が理解に役立った	80	181	183	28	18	0	3.57
Q6.教員の板書や図の見やすさ	68	162	192	35	26	7	3.44
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	107	160	164	33	24	2	3.60
Q8.説明がわかりやすかった	71	156	190	43	27	3	3.41
Q11.私語に対し適切な対応だった	86	170	190	27	14	3	3.59

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	3199名
教員		教室		回収率	
科目	共通科目(外国語)(1年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	1292	1423	385	46	32	21	4.23	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1167	1294	530	121	73	14	4.06	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	1186	1288	517	121	67	20	4.07	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1294	1198	463	141	84	19	4.09	4.07
Q5.教材が理解に役立った	1236	1277	491	119	48	28	4.11	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1126	1175	596	149	78	75	4.00	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1492	1121	370	124	74	18	4.20	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	1250	1161	507	165	98	18	4.04	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	1315	1189	500	91	65	39	4.14	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	1544	1203	306	78	50	18	4.29	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	1260	1277	499	78	39	46	4.15	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	1424	1156	451	86	62	20	4.19	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	667	939	970	329	171	123	3.52	3.34
Q14.よく出席した	1854	890	352	44	21	38	4.43	4.41
Q15.予習・復習の時間	241	346	739	841	800	232	2.46	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	1045	1221	662	106	59	106	4.00	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	833	1084	879	218	121	64	3.73	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	1034	1046	770	131	139	79	3.87	4.00
Q19.授業の総合的満足度	1177	1203	548	110	107	54	4.03	4.10

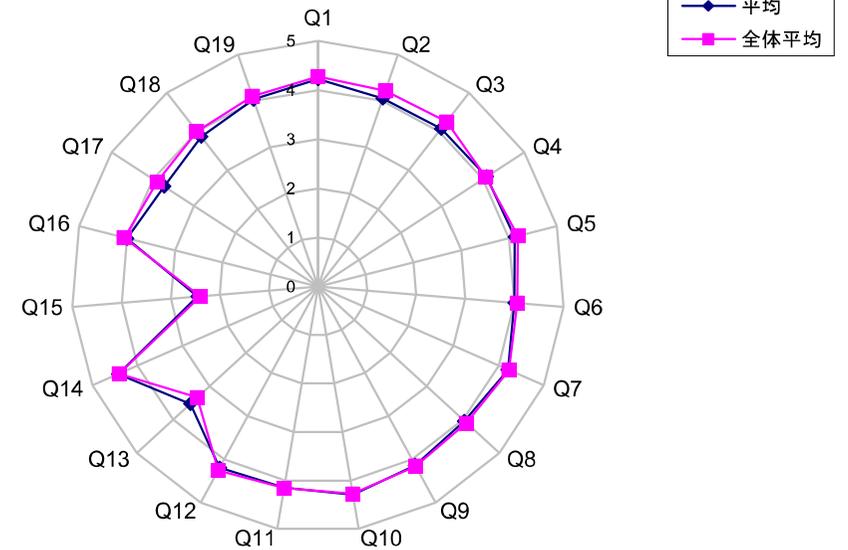
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	1098	1152	352	94	45	3	4.15
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	1226	1051	287	109	64	7	4.19
Q5.教材が理解に役立った	1159	1123	322	93	30	17	4.21
Q6.教員の板書や図の見やすさ	1061	1039	417	118	51	58	4.09
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1395	981	217	95	50	6	4.31
Q8.説明がわかりやすかった	1184	1026	333	126	68	7	4.14
Q11.私語に対し適切な対応だった	1174	1130	328	57	23	32	4.24

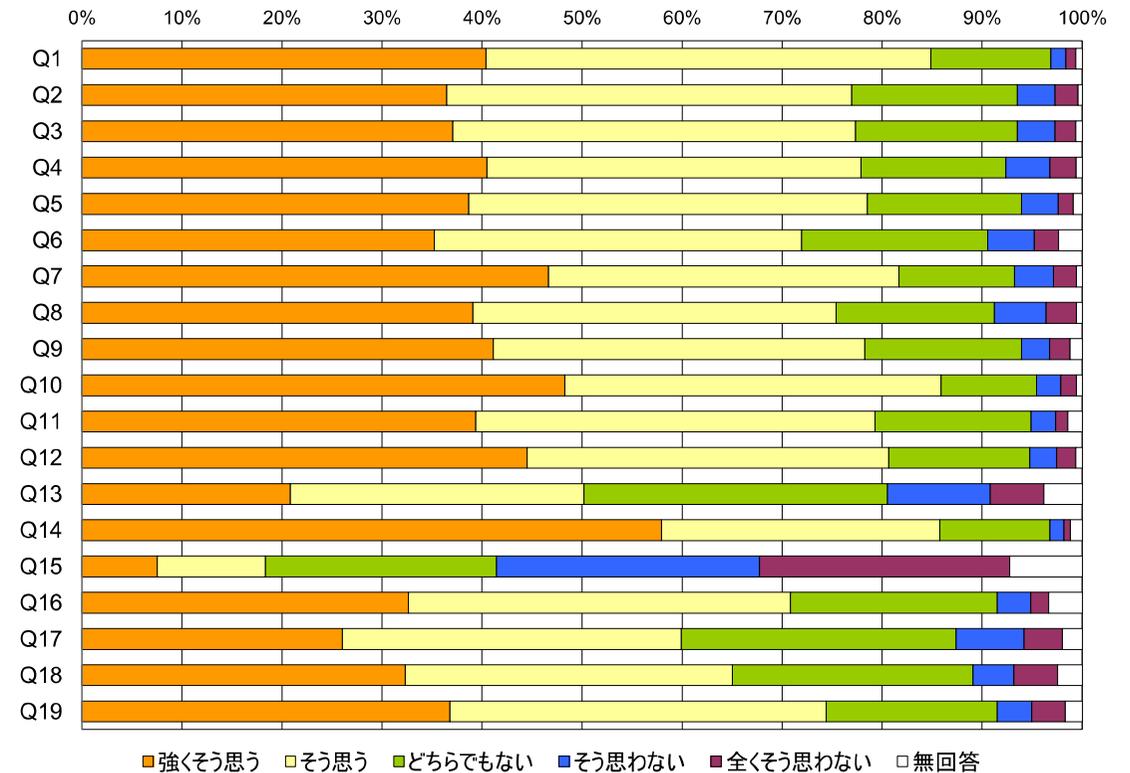
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	56	134	175	27	24	1	3.41
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	56	140	172	31	17	1	3.45
Q5.教材が理解に役立った	64	149	163	25	16	0	3.53
Q6.教員の板書や図の見やすさ	52	131	174	29	25	6	3.38
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	84	135	147	28	21	2	3.56
Q8.説明がわかりやすかった	54	128	170	39	25	1	3.35
Q11.私語に対し適切な対応だった	73	141	166	21	13	3	3.58

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	159名
教員		教室		回収率	
科目	共通科目(外国語)(2年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	69	73	14	2	1	0	4.30	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	77	64	16	1	1	0	4.35	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	78	61	18	1	1	0	4.35	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	75	61	16	6	1	0	4.28	4.07
Q5.教材が理解に役立った	73	63	18	3	1	1	4.29	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	66	63	21	3	2	4	4.21	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	84	53	19	0	3	0	4.35	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	67	71	16	4	1	0	4.25	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	72	63	23	0	0	1	4.31	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	73	65	14	6	1	0	4.28	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	67	63	26	3	0	0	4.22	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	71	66	20	1	1	0	4.29	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	40	43	53	10	4	9	3.70	3.34
Q14.よく出席した	68	63	18	6	0	4	4.25	4.41
Q15.予習・復習の時間	22	20	49	35	24	9	2.87	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	50	69	32	2	2	4	4.05	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	51	60	32	10	2	4	3.95	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	58	64	26	1	6	4	4.08	4.00
Q19.授業の総合的満足度	71	57	20	5	1	5	4.25	4.10

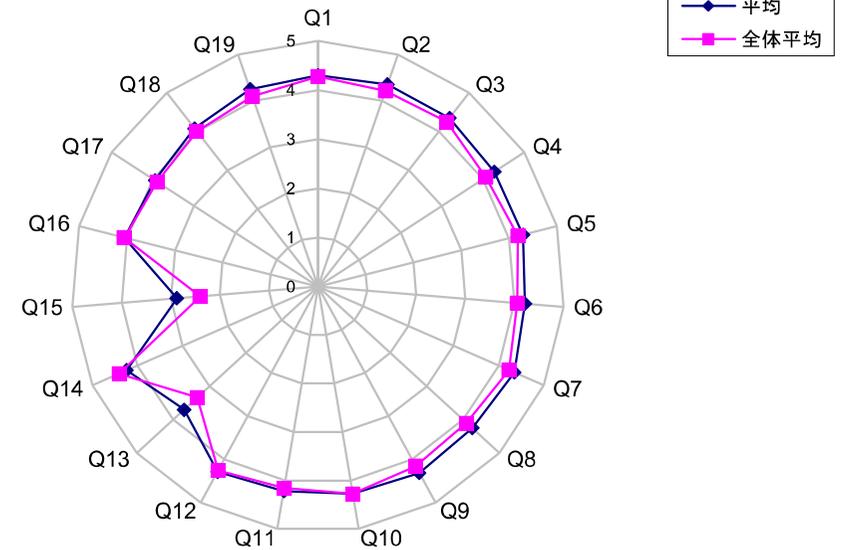
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	67	54	8	1	1	0	4.41
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	65	51	9	5	1	0	4.33
Q5.教材が理解に役立った	67	49	10	3	1	1	4.37
Q6.教員の板書や図の見やすさ	59	51	13	3	2	3	4.27
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	74	43	12	0	2	0	4.43
Q8.説明がわかりやすかった	58	61	8	3	1	0	4.31
Q11.私語に対し適切な対応だった	59	53	16	3	0	0	4.28

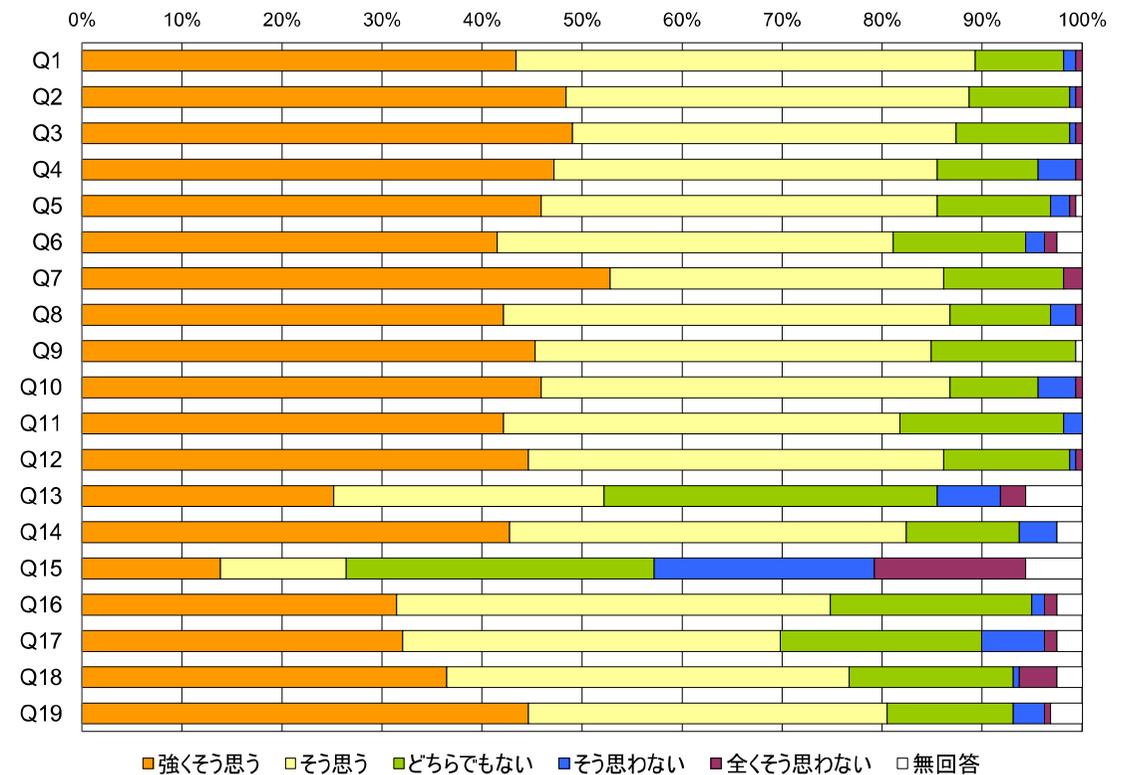
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	8	8	8	0	0	0	4.00
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	8	8	7	1	0	0	3.96
Q5.教材が理解に役立った	4	12	8	0	0	0	3.83
Q6.教員の板書や図の見やすさ	5	10	8	0	0	1	3.87
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	8	8	7	0	1	0	3.92
Q8.説明がわかりやすかった	7	8	8	1	0	0	3.88
Q11.私語に対し適切な対応だった	6	8	10	0	0	0	3.83

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	64名
教員		教室		回収率	
科目	共通科目(外国語)(3年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	31	31	1	0	0	1	4.48	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	36	27	1	0	0	0	4.55	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	38	25	1	0	0	0	4.58	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	38	22	3	1	0	0	4.52	4.07
Q5.教材が理解に役立った	37	23	4	0	0	0	4.52	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	33	27	4	0	0	0	4.45	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	43	17	4	0	0	0	4.61	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	35	26	3	0	0	0	4.50	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	40	23	1	0	0	0	4.61	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	39	23	2	0	0	0	4.58	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	31	27	3	1	0	2	4.42	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	42	19	3	0	0	0	4.61	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	20	20	18	2	2	2	3.87	3.34
Q14.よく出席した	34	18	8	2	1	1	4.30	4.41
Q15.予習・復習の時間	3	9	14	14	15	9	2.47	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	28	25	4	1	3	3	4.21	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	24	30	7	0	2	1	4.17	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	30	28	4	0	1	1	4.37	4.00
Q19.授業の総合的満足度	30	28	4	0	1	1	4.37	4.10

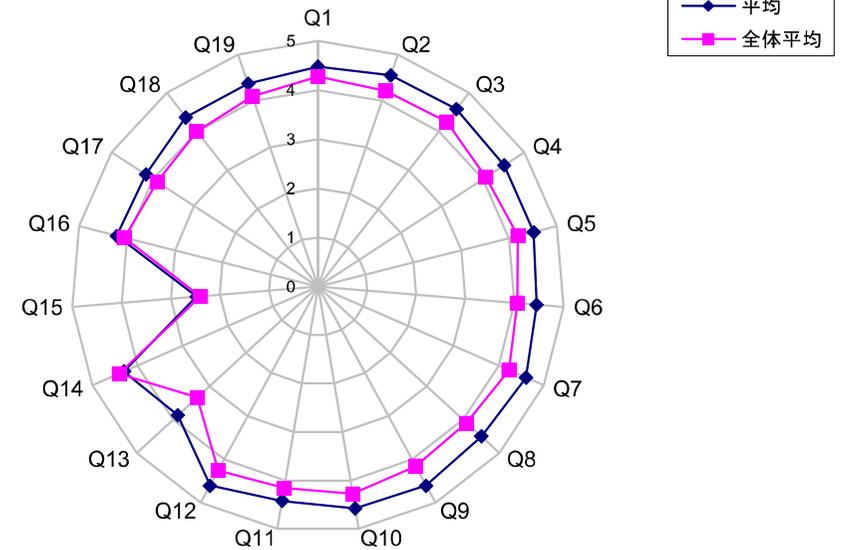
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	34	18	0	0	0	0	4.65
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	34	16	1	1	0	0	4.60
Q5.教材が理解に役立った	33	17	2	0	0	0	4.60
Q6.教員の板書や図の見やすさ	30	19	3	0	0	0	4.52
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	39	11	2	0	0	0	4.71
Q8.説明がわかりやすかった	32	18	2	0	0	0	4.58
Q11.私語に対し適切な対応だった	28	20	1	1	0	2	4.50

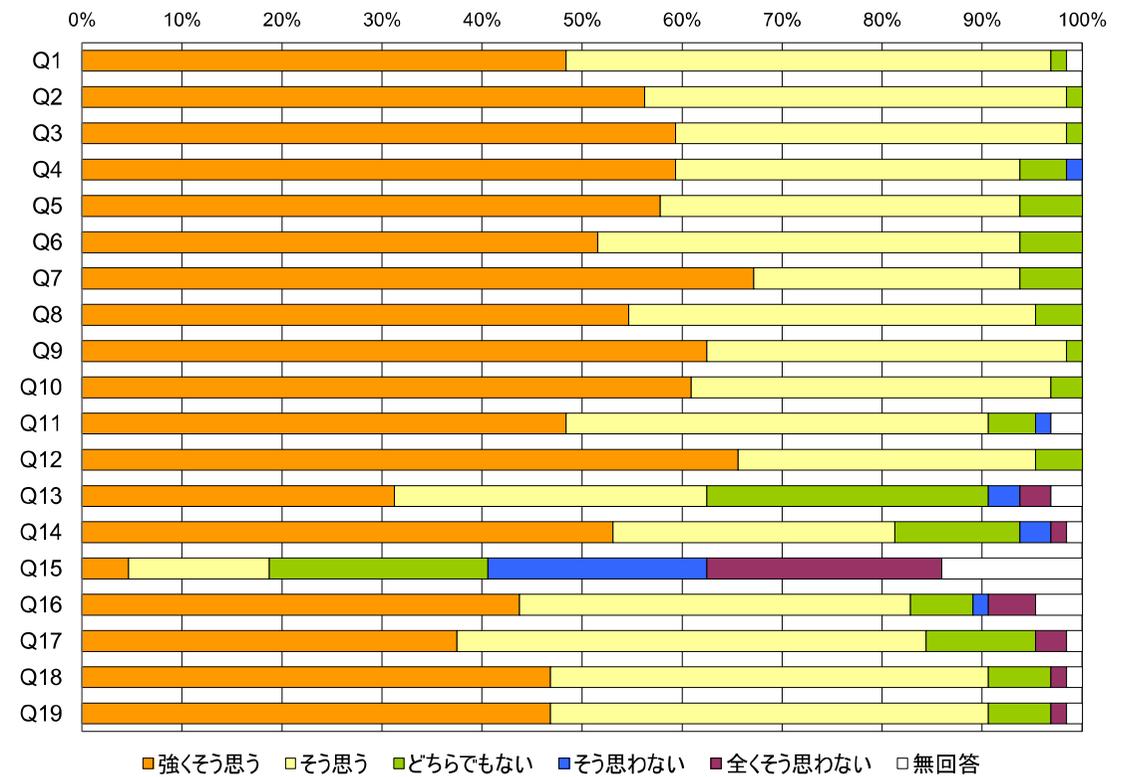
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	2	8	1	0	0	0	4.09
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	4	6	1	0	0	0	4.27
Q5.教材が理解に役立った	4	6	1	0	0	0	4.27
Q6.教員の板書や図の見やすさ	3	7	1	0	0	0	4.18
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	4	5	2	0	0	0	4.18
Q8.説明がわかりやすかった	3	7	1	0	0	0	4.18
Q11.私語に対し適切な対応だった	2	7	2	0	0	0	4.00

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



キャンパス		曜日		履修者数	
学部		時限		回収数	27名
教員		教室		回収率	
科目	共通科目(外国語)(4年生)				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	11	12	2	0	0	2	4.36	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	13	11	3	0	0	0	4.37	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	13	12	2	0	0	0	4.41	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	12	10	3	1	0	1	4.27	4.07
Q5.教材が理解に役立った	13	10	3	1	0	0	4.30	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	11	11	3	0	0	2	4.32	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	17	7	0	3	0	0	4.41	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	13	10	3	1	0	0	4.30	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	14	11	1	0	0	1	4.50	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	14	10	1	1	1	0	4.30	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	11	9	3	2	0	2	4.16	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	16	7	3	1	0	0	4.41	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	3	8	8	4	4	0	3.07	3.34
Q14.よく出席した	5	13	8	1	0	0	3.81	4.41
Q15.予習・復習の時間	3	3	7	3	8	3	2.58	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	6	9	10	0	2	0	3.63	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	8	8	7	3	1	0	3.70	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	6	14	4	3	0	0	3.85	4.00
Q19.授業の総合的満足度	11	11	3	1	0	1	4.23	4.10

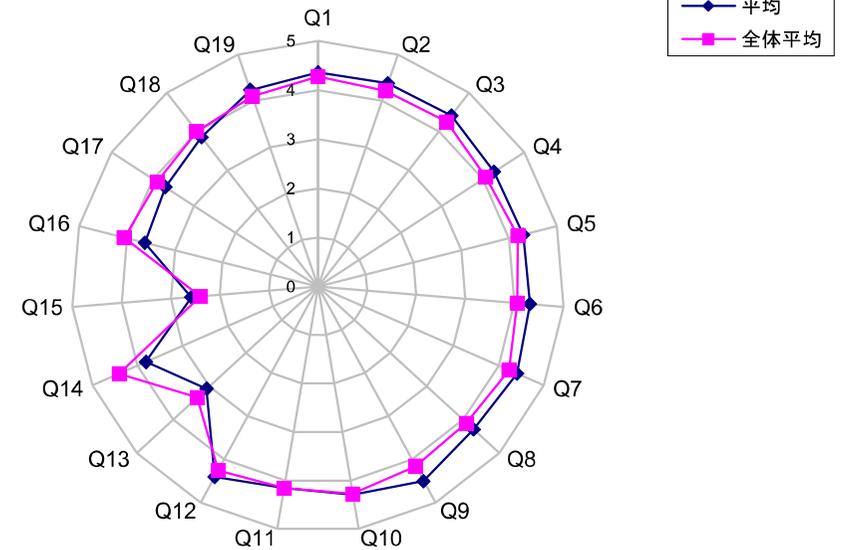
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	9	8	1	0	0	0	4.44
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	8	8	1	1	0	0	4.28
Q5.教材が理解に役立った	9	7	1	1	0	0	4.33
Q6.教員の板書や図の見やすさ	8	7	1	0	0	2	4.44
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	11	5	0	2	0	0	4.39
Q8.説明がわかりやすかった	10	5	2	1	0	0	4.33
Q11.私語に対し適切な対応だった	9	5	2	0	0	2	4.44

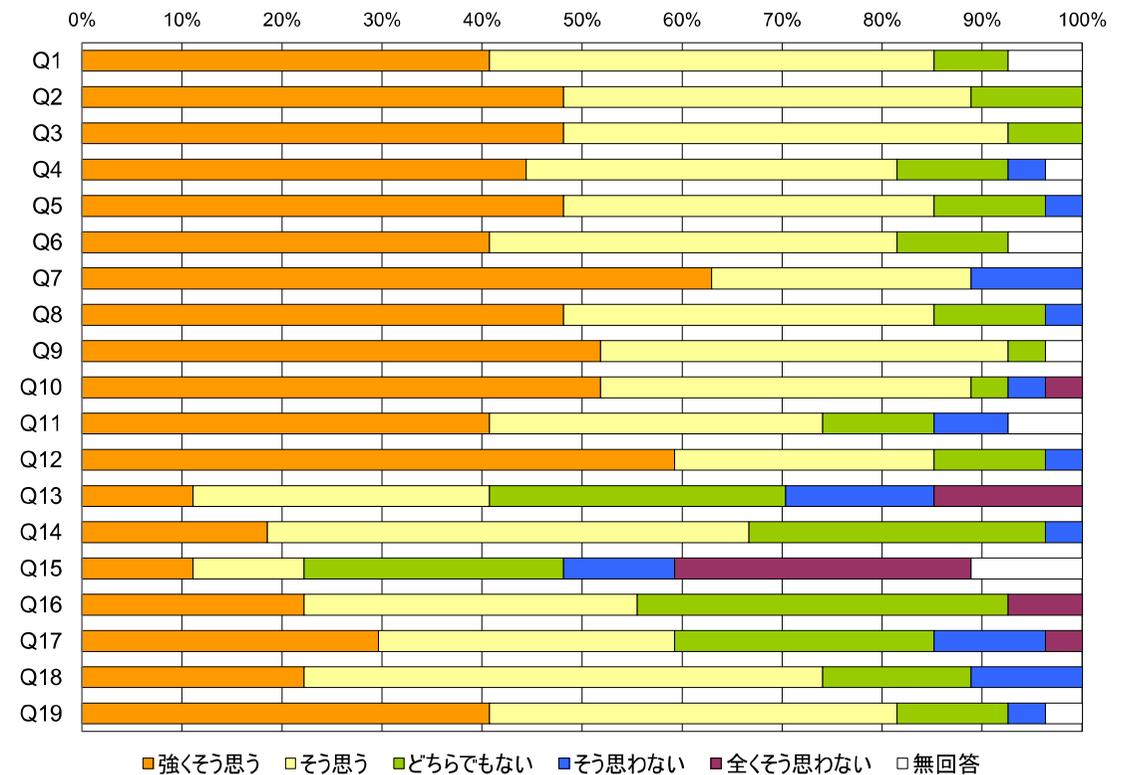
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	4	3	2	0	0	0	4.22
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	4	2	2	0	0	1	4.25
Q5.教材が理解に役立った	4	3	2	0	0	0	4.22
Q6.教員の板書や図の見やすさ	3	4	2	0	0	0	4.11
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	6	2	0	1	0	0	4.44
Q8.説明がわかりやすかった	3	5	1	0	0	0	4.22
Q11.私語に対し適切な対応だった	2	4	1	2	0	0	3.67

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



## 4. 総括

#### 4. 総括

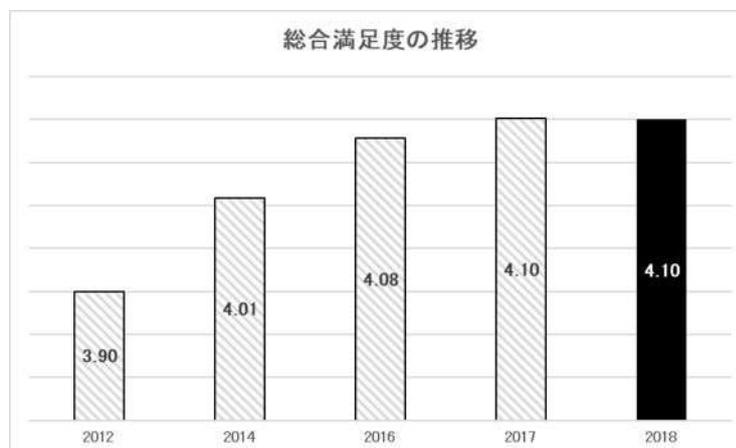
##### (1) 全学授業評価結果の概要

以下に評価結果の全体概要を示すこととする。個々の授業についての評価結果を全体としてまとめたものが〔表1〕である。

##### 1) 前回調査結果との比較

2018年度（平成30年度）の授業評価アンケートでは実施にあたって、2017年度（平成29年度）の調査実施要領を引き続き実施した。また、調査対象科目は2017年度より受講者数11人以上の科目を調査対象とした。調査結果では対象科目の履修者数が45,465名、回収数も38,805名、回収率85%を示し、前回調査の回収率86%とほぼ同じであった。質問項目Q1~Q19ほぼ全項目について、2017年度比で上昇しているか同じであった。2017年度より平均評価が下がった質問項目は1項目で「Q14. よく出席した」であり0.02ポイント下がった。その他の18項目は0.01~0.06ポイントの上昇であった。上昇した項目であっても「Q15. 予習・復習の時間」の(2.40)及び「Q13. 積極的に意見や質問をした」(3.34)は、他の項目の平均値に比し低値である。「Q19. 授業の総合的満足度」は図の通り、2012年度から上昇し2017年度2018年度は平均評価4.10を維持している。

表1 総合満足度の推移



キャンパス		曜日		履修者数	45465名
学部		時限		回収数	38805名
教員		教室		回収率	85%
科目	全体				

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	全体平均
Q1.シラバスに沿っていた	15581	18793	3510	434	202	285	4.28
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	15306	17676	4444	810	367	202	4.21
Q3.新しい知識・技術を学べた	16125	17370	4054	704	326	226	4.25
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	13895	16339	6091	1573	648	259	4.07
Q5.教材が理解に役立った	15730	16257	4967	1082	434	335	4.19
Q6.教員の板書や図の見やすさ	13825	15252	6265	1727	666	1070	4.06
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	17037	15668	4242	1169	479	210	4.23
Q8.説明がわかりやすかった	14916	15802	5483	1675	692	237	4.10
Q9.質問への対応が適切だった	14969	15948	6030	836	457	565	4.15
Q10.開始・終了時間が適切だった	17428	16014	3888	868	377	230	4.28
Q11.私語に対し適切な対応だった	15051	16042	5963	871	377	501	4.16
Q12.教員の熱意を感じた	16910	15979	4659	634	369	254	4.26
Q13.積極的に意見や質問をした	6328	9944	13077	4670	2747	2039	3.34
Q14.よく出席した	21730	11816	3911	655	212	481	4.41
Q15.予習・復習の時間	3428	4649	7434	6266	13089	3939	2.40
Q16.試験に積極的に取り組んだ	13388	14762	7774	946	511	1424	4.06
Q17.さらに勉強したくなった	10857	15842	9116	1581	795	614	3.90
Q18.受講を後輩に勧めたい	13059	15069	7922	1208	867	680	4.00
Q19.授業の総合的満足度	14134	16212	6184	1079	655	541	4.10

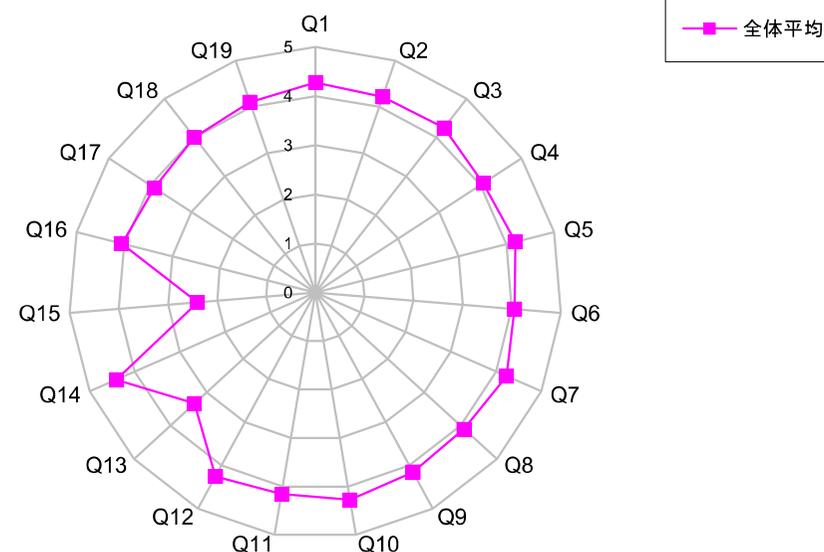
【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	14264	15682	2704	588	235	73	4.29
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	12962	14591	4168	1233	478	114	4.15
Q5.教材が理解に役立った	14604	14439	3194	811	308	190	4.27
Q6.教員の板書や図の見やすさ	12860	13605	4359	1398	485	839	4.13
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	15777	13875	2572	910	335	77	4.31
Q8.説明がわかりやすかった	13848	14124	3641	1329	506	98	4.18
Q11.私語に対し適切な対応だった	14005	14274	4052	641	257	317	4.24

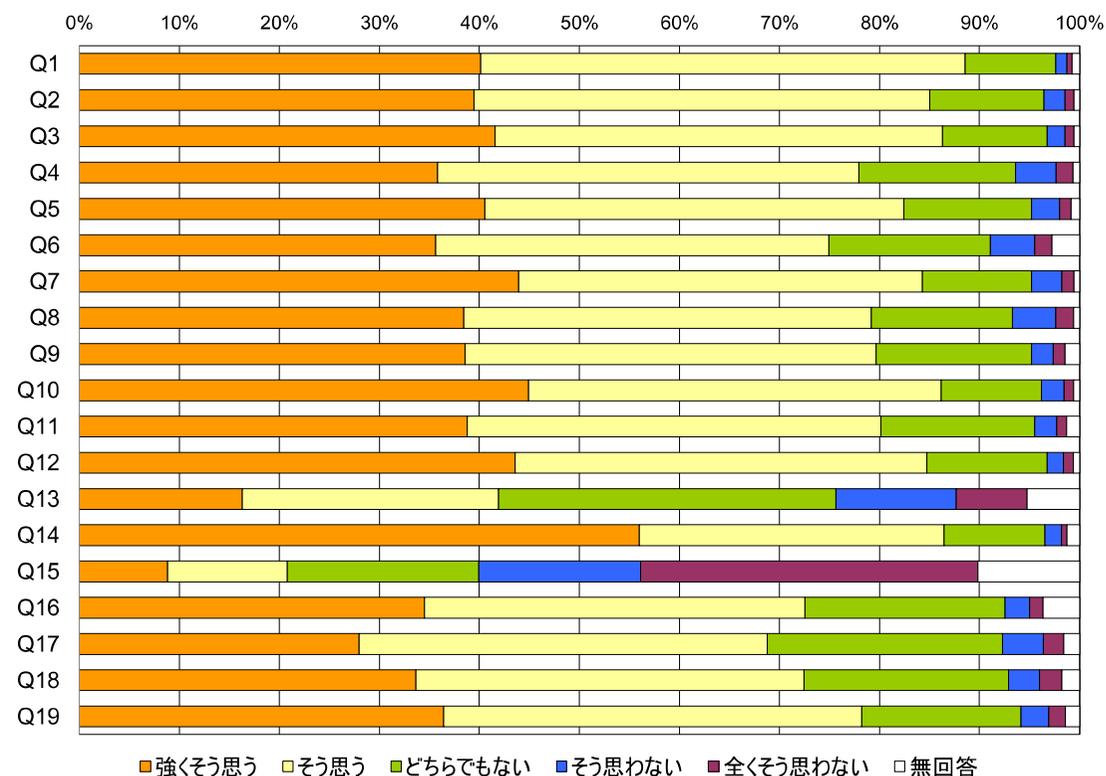
【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	898	1846	1698	210	111	15	3.67
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	817	1603	1869	317	142	30	3.56
Q5.教材が理解に役立った	1001	1681	1715	250	108	23	3.68
Q6.教員の板書や図の見やすさ	852	1516	1845	304	161	100	3.55
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1116	1650	1626	245	124	17	3.71
Q8.説明がわかりやすかった	937	1544	1792	322	159	24	3.58
Q11.私語に対し適切な対応だった	915	1627	1861	221	103	51	3.64

<評価レーダーチャート>



<評価帯グラフ>



## 2) 教員の授業運営

### ①授業の方法・スキル

学生が教員の授業運営と学習指導、とりわけ授業の方法やスキルについてどのように評価しているかに関わる質問項目は、Q4~Q8 であり、それぞれの評価平均値を見てみると、「Q4. 教員は学生の反応や理解度を考慮しながら授業を進めた」(評価平均値 4.07)、「Q5. 教材が理解に役立った」(4.19)、「Q6. 教員の板書や図の見やすさ」(4.06)、「Q7. 教員の声聞き取りやすかった」(4.23)、「Q8. 説明がわかりやすかった」(4.10) であり、全体的には評価されているように考えられる。いずれも前回に比べて評価がやや高まっているが、「Q4. 理解度に合わせて授業を進めた」および「Q6. 教員の板書や図の見やすさ」の評価値が相対的に低かったが、2017 年度ではそれぞれ Q4 (4.07)、Q6 (4.06) と上昇した。教員が授業スキルの向上に努めていることが伺える。

### ②授業の進め方

教員の授業の進め方や授業中の教室の秩序維持について学生がどのように評価しているかは、3 つの質問項目の評価平均値、すなわち「Q1. シラバスに沿っていた」(4.28)、「Q10. 開始と終了時間が適切だった」(4.28)、「Q11. 私語に対し適切な対応だった」(4.16) からすると、おおむね評価されていると推測できる。なかでも、前回の調査結果についても指摘された、私語に対する適切な対応に関しては、2016 年度(4.06)、2017 年度(4.14)、2018 年度は(4.16) へと評価値が年々上昇しており、教員の側における対応の変化が窺える。

### ③知的刺激

「Q3. 新しい知識・技術を学べた」の平均評価値は、2016 年度及び 2017 年度の(4.24) から 2018 年度は(4.25)へと僅差ではあるが上昇している。「Q2. 内容は知的刺激に富んでいた」の評価値(4.21) や、「Q18. 受講を後輩に勧めたい」(4.00) は前年度比では上昇しているものの、「Q17. さらに勉強したくなった」の評価値は前回よりやや高くはなったものの、ほぼ同水準(3.90)にとどまった。そのことから、授業中に受けた知的刺激が学習意欲を十分に引き出すまでには至っていないように思われる。

### ④主体的な学びの促進

大学での学びにおいては学生が自ら学び、考える姿勢を修得することが求められる。しかし、大学のユニバーサル化が進むにつれて、目的意識が希薄で主体的に学ぼうとする学生が少なくなったと指摘されることが多くなった。今回のアンケート調査では受講者の主体的な学びに関連する質問項目と考えられるのは上述した「Q2. 知的刺激に富んでいた」(4.21)、「Q9. 教員は学生の質問、相談に適切に対応した」(4.15)、「Q13. 積極的に意見や質問をした」(3.34) および「Q15. 予習・復習の時間(の長さ)」(2.40) であり、これ

らの評価値から推測すると、予習・復習の学習時間が前回よりも多くなり、全体として学生の主体的な学びを促したように思われる。とりわけ、授業への出席率の高い学生の中で「Q2. 知的刺激に富んでいた」評価値（4.29）が高く、それが主体的な学びへと結びつきやすいと考えられるのに対して、出席率の低い学生の間ではその評価値（3.67）が低く、主体的な学びにつながっていないように思われる。本学では「きめ細かな指導」を教育の柱のひとつとして掲げ、出欠調査等を通じて欠席しがちな学生への指導を継続して行ってきたが、それに加えて、出席率の低い学生への授業内での指導をどのように行うかを検討する必要があるように思われる。主体的な学びを導く学習環境のひとつの要素として、授業において教員の熱意が受講者に感じられるかどうかがある。担当する教員の熱の入った授業は、受講者にとって強い刺激を与えるものであり、教員にとっても自分の授業を受講する学生の間で「Q12. 教員の熱意が感じられた」かどうかは、最も関心を払わなければならない質問項目であろう。この点で、「Q12. 教員の熱意を感じた」の評価値は 2015 年度（4.11）、2016 年度（4.21）、2017 年度（4.23）、2018 年度（4.26）と上昇しており、総じて肯定的な評価が下されていると見なすことができる。

### 3) 学生の自己評価

前回の総括において、学生自身の自己評価から推測した修学像として、「出席はするが、積極的に質問したりすることはせず、また予習復習をあまりしない」学生像を確認したが、今回の調査結果もほぼ同様の学生の姿を描くことができる。「Q14. よく出席した」（4.41）は、質問項目の中で最も評価値が高いが、一方で「Q15. 予習・復習の時間」（2.40）は少なく、「Q13. 積極的に意見や質問をした」（3.34）からは、あまり積極的に勉学に取り組んだとは言えない。しかし、単位取得に直結する「Q16. レポートや試験に積極的に取り組んだ」（4.06）の評価値は低くはない。教員にとっては学生が自ら学ぶための授業の工夫とそれに基づく授業運営の在り方について共同して検討を進める必要がある。

### 4) 受講者の状況別授業満足度

アンケート項目のうち、「Q20. 授業の総合的満足（以下、満足度）」を一つの指標として選び、初歩的な解析を行った。満足度の評価点は、本学で授業評価を開始してから一貫として使用している質問項目であるため、継時的な推移をたどることが出来るため分析対象としているものである。以下の内容は、あくまでも本学で行われている授業の一側面であるとして記載されている。つまり、質問として Q20 に対する回答が、たとえば「目の前で行われている授業自体の満足度」であるのか「予習や復習を含めた授業全体を通じての学修成果に対する満足度」なのかは、回答者によって異なっていること、といった質問自体の曖昧さは回避されていないことは予め明記しておく必要がある。

### ①受講者数と満足度との関係

学生による授業評価の Q20 の「授業の総合的満足」の単純平均を受講者数毎に割り付けたものが、[表 2]である。単純平均値なので、受講者数毎の満足度のバラつきについては全く考慮されていないが、11~30 人の 2 区分では、平均点が (4.35)、(4.25) と他の区分より高い傾向は見られた。一方、30~150 人までの満足度の平均点は、ほぼ同じであった。前回の調査では、150 人以上の受講者数でも満足度は、30~150 人の区分と大きく変わらないという総括を行ったが、今年度の場合は、若干、低い傾向が見られた。残念ながら、今年度 150 人以上のクラスでの平均値が下がった理由は不明だが、他の区分に比べて授業集が 29 と少ないため、満足度の変動も大きくなるのではないかと推察することには違和感はないと考える。これまでの、歴代授業評価において、満足度に与える因子は、受講者数や次に述べる教員の年齢・職位、学生の出席率といった単純な指標では説明できない可能性が高く、授業評価結果については、個別の授業の特性を考慮したミクロな視点も欠かせないと思われる。

表 2 受講者数と満足度

受講者数	11人~	20人~	30人~	50人~	100人~	150人~	合計平均
科目数	139	177	349	198	48	29	940
満足度	4.34	4.25	4.10	4.07	4.08	3.98	4.15 <sup>注1</sup>

※注1…表内各項目は小数第3位以下を四捨五入しているため、それぞれの合計が必ずしも注1とは一致しない

### ②教員の職位・年齢との関係

一昨年までの総括では、

[表 3]の単純平均の結果から、教員の年齢と満足度には負の相関があるという総括がされてきていた。確かに、40 歳以下、40~50 歳、50~60 歳、60 歳以上という区分では、全体の単純平均値は、それぞれ (4.24)、(4.15)、

表 3 職位・年齢と満足度

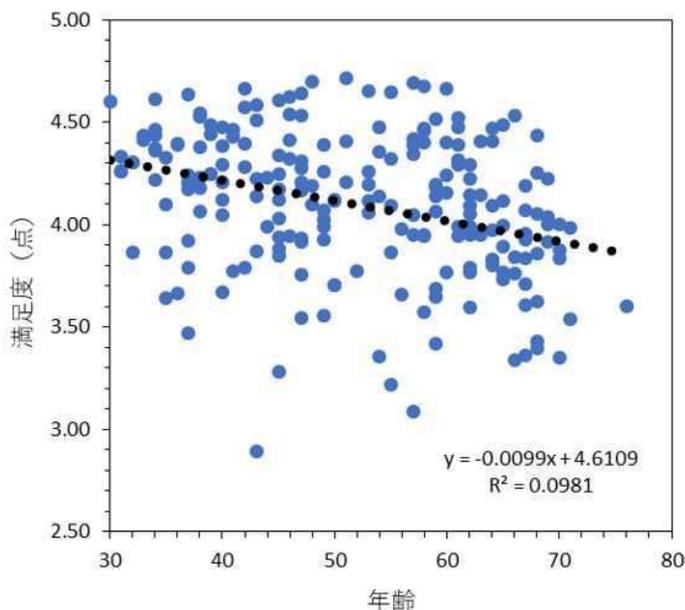
	教授	准教授	専任講師/助教	非常勤	全体
~ 39 歳		4.11	4.27	4.24	4.24
40 歳 ~	4.30	4.16	4.04	4.14	4.15
50 歳 ~	4.06	4.13	4.05	4.11	4.10
60 歳 ~	3.98	3.93	3.95	3.96	3.97
全体	4.03	4.13	4.17	4.11	4.10 <sup>注1</sup>

※注1…表内各項目は小数第3位以下を四捨五入しているため、それぞれの合計が必ずしも注1とは一致しない。

(4.10)、(3.97) と徐々に低下する傾向は見られた。職位との関係では、40~50 歳で教授職の教員による授業が、若干満足度が高い傾向は見られた。

しかし、教員個人の年齢と各担当科目の平均点をプロットし、簡単な相関係数を算出すると、[図1]のようになった。教員の年齢と授業の満足度の間には負の相関があり、相関係数は-0.341で、危険率1%で統計的に有意であった。学問分野によっては、-0.341程度の相関を「弱い負の相関」と表現する場合もあるようだが、[図1]を見れば感覚的に

図1 教員の年齢と満足度



理解できるように、教員の年齢と授業満足度との間には、大きなばらつきがある。少なくとも、本学における授業評価アンケートの結果からは、学生の満足度には、教員の年齢だけではない、単一ではない他の因子も関係していると思われる。少なくとも、「教員の年齢が高くなると授業の満足度が低下する」という短絡的な結論を出すことには慎重になるべきであろう。ただし、詳細な解析結果は省略するが、年齢区分を、5歳刻みで区分し、職位や雇用形態を区別せずに、各年齢級数同士で比較したところ、65歳を超える教員の満足度の平均点は(3.81)で他の年齢級数に比べて低かったことは付記して置く必要がある。

一方で、本学での授業評価は、満足度の平均点が単純平均で(4.10)と「そう思う」のスコアである4点を上回るものであることは考慮すべきである。冒頭に記載したように。学生の満足度自体が何を示しているかは曖昧であるが、少なくとも相当数の学生が「満足感」を持ったという感想である上での解析結果である。授業評価を、学生と教員間の双方向の情報提供による授業改善への取り組み、という視点で活かすためには、図1で比較的平均点の低い教員に対する管理者のきめ細かいヒアリング等を実施し、対策が必要であるか否かの判断を含めたミクロな視点からの施策が必要であると考えられる。

### ③出席率との関係

アンケート 「Q14. よく出席した」という学生の自己評価の高い群（強くそう思う・そう思う；以下、出席率高い群）と低い群（どちらでもない・そう思わない・全くそう思わない、以下、出席率低い群）毎に、「Q2. 内容は知的刺激に富んでいた」、「Q4. 理解度に合わせて授業を進めた」、

「Q5. 教材が理解に役立った」、「Q6. 教員の板書や図の見やすさ」、「Q7. 教員の声が聞き取りやすかった」、「Q8. 説明がわかりやすかった」、「Q11. 私語に対し適切な対応だった」に対する回答の頻度を右図に示した。出席率が高い群では、各質問における回答の最頻値が「5 強くそう思う」または「4 そう思う」であり、出席率の低い群では、「4 そう思う」と「3 どちらでもない」のどちらかであり、結果的に平均点も全ての問いに対して、出席率の高い群の方が高かった。Q14 は先にも述べたように、あくまでも自己申告の出席率であるため、このデータから、授業評価の改善につながる施策を引き出すためには、詳細なデータと解析が必要である。

#### (2) 教員所感について：満足度トップ10の所感から

教員所感に関しては、満足度評価点数がトップ10で表彰対象となった教員による書簡の中から、他の教員の授業改善に役立つ可能性があるものをピックアップし記載した。

##### 1) 双方向性

ほとんどの教員が所感で触れている点は、教員と学生の双方向のやり取りを行う授業が行われている点である。授業の特性によって、双方向性の出し方は異なり、日本文学文化学科の書道の授業のような個別の添削指導、語学系授業における「時間があつというまに過ぎる」授業、リアクションペーパーを用いて学生個々の学びを確認しながらの授業、教員に質問しやすい授業（結果として、和洋全体平均が(3.51)と低い「Q13. 積極的に質問した」の平均点が高い）などがある。授業に対する学生の関心を引き付けるために、授業の最初に科目に関連する映像資料を使用する工夫も、広い意味で学生と教員の双方向性を増すことになると思われる。

表4 授業への出席率からみた回答分布

【Q14】で授業への出席率の高い群(5・4)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	14264	15682	2704	588	235	73	4.29
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	12962	14591	4168	1233	478	114	4.15
Q5.教材が理解に役立った	14604	14439	3194	811	308	190	4.27
Q6.教員の板書や図の見やすさ	12860	13605	4359	1398	485	839	4.13
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	15777	13875	2572	910	335	77	4.31
Q8.説明がわかりやすかった	13848	14124	3641	1329	506	98	4.18
Q11.私語に対し適切な対応だった	14005	14274	4052	641	257	317	4.24

【Q14】で授業への出席率の低い群(3・2・1)の回答分布

	5	4	3	2	1	無回答	平均
Q2.内容は知的刺激に富んでいた	898	1846	1698	210	111	15	3.67
Q4.理解度に合わせて授業を進めた	817	1603	1869	317	142	30	3.56
Q5.教材が理解に役立った	1001	1681	1715	250	108	23	3.68
Q6.教員の板書や図の見やすさ	852	1516	1845	304	161	100	3.55
Q7.教員の声が聞き取りやすかった	1116	1650	1626	245	124	17	3.71
Q8.説明がわかりやすかった	937	1544	1792	322	159	24	3.58
Q11.私語に対し適切な対応だった	915	1627	1861	221	103	51	3.64

## 2) 和洋の平均点が低い Q13 と Q15 への対応

「Q13. 積極的に質問した」と「Q15. 予習・復習の時間」(後者の平均点は 1.97) についてもトップ 10 の複数教員からコメントが出されている。資格系の科目担当教員からは、授業の終了時に復習問題を課したり、次年度へ向けて予習問題を課したりする工夫をしていることが記載されている。また、他の資格系科目担当教員は、授業内で完結するタイプと予習復習をハードに課す科目を選別して、タイプに合った授業展開をしているとの指摘もなされている。また、この 2 項目への対応をポイントに授業改善を行っている資格系教員は、実習科目では自身での現場での経験を中心に講義を展開することでこの項目の平均点を高めることが可能であったが、講義科目ではこの 2 項目をアップさせることは容易でないことを指摘している。全学教育センターの教員からは、この 2 項目は学生の本分として学生自身の意識改革が必要であるとの以下のコメントがなされている

; The reality of university life is that students need to study to be successful.

## 3) その他

クラスの規模、特に 11 人以下の少人数の受講科目における「授業評価」の方が科目自体と教員の評価を正確に反映しているという指摘も見られた。選択科目でかつ 11 人以下の小規模クラスの授業は、大学における重要な授業形態の一つで、本当に学びたいという学生が集まった授業であるため、現在の質問項目で良いかの議論は必要ではある。小規模クラスにおける授業評価は、本学の授業評価の目的にも関連するところでもあるため、今後の検討が必要であると思われる。トップ 10 の教員の中の 1 名に学生の自由記述の中に「幼児扱いでバカにしているのですか?」という感想を書いた学生がいることが記載されていた。教員側が幼児扱いをしたのではないことはご本人も記載しているが、この教員のコメントにあるように「かかわり方や掛ける言葉を慎重に選んでいくことも大切」である。本学においても、受講生のニーズは多様化しており、それに対応するために、教員はこれまで以上の研鑽と場合によっては葛藤が必要になるのではなかろうか。

### (3) 共通総合科目の課題

下の[表 5]は、共通総合科目全体の各質問項目における平均値と、各質問項目の全体の平均値、そしてその間の差を示したものである。差の部分は全体平均から共通総合科目の平均値を引いており、数値が大きいほど、各項目で全体の平均よりも低い値であることを示している(マイナスが付いていれば逆に全体平均よりも高い)。これを見ると、共通総合科目においては、多くの質問項目において平均値よりも低い数値が出ていることがわかる。なかでもとくに評価が低くなっているのは「Q15. 予習・復習の時間」(0.28 ポイント)「Q13. 積極的に意見や質問をした」(0.16 ポイント)の 2 項目。そのほか、「Q17. さらに勉強したくなった」「Q16. 試験に積極的に取り組んだ」で 0.06 ポイントの差が出ている。

表5 共通総合科目全体（降順）

質問項目	平均	全体平均	全体平均－平均
Q15. 予習・復習の時間	2.12	2.40	0.28
Q13. 積極的に意見や質問をした	3.18	3.34	0.16
Q17. さらに勉強したくなった	3.84	3.90	0.06
Q16. 試験に積極的に取り組んだ	4.00	4.06	0.06
Q9. 質問への対応が適切だった	4.11	4.15	0.04
Q11. 私語に対し適切な対応だった	4.13	4.16	0.03
Q4. 理解度に合わせて授業を進めた	4.04	4.07	0.03
Q6. 教員の板書や図の見やすさ	4.03	4.06	0.03
Q14. よく出席した	4.39	4.41	0.03
Q3. 新しい知識・技術を学べた	4.23	4.25	0.02
Q18. 受講を後輩に勧めたい	3.99	4.00	0.01
Q12. 教員の熱意を感じた	4.24	4.26	0.01
Q2. 内容は知的刺激に富んでいた	4.20	4.21	0.01
Q1. シラバスに沿っていた	4.28	4.28	-0.01
Q19. 授業の総合的満足度	4.11	4.10	-0.01
Q10. 開始・終了時間が適切だった	4.29	4.28	-0.01
Q7. 教員の声が聞き取りやすかった	4.26	4.23	-0.03
Q8. 説明がわかりやすかった	4.14	4.10	-0.03
Q5. 教材が理解に役立った	4.22	4.19	-0.03

しかし、今年度のこの結果を、昨年度の結果[表 6]と比べると、昨年度の結果ではすべての項目が全体の（専門科目も含めた）平均値を下回っているのに対して、今年度の結果は、6項目において全体平均値を上回っていることがわかる。とくに、総合的満足度(Q19. 授業の総合的満足度)では全体平均の(4.10)より、わずかながら高くなっていることは特筆すべきであろう。ちなみに、この総合的満足度の平均値は、一昨年には(3.99)にとどまっており、この3年間で徐々にではあるが上昇してきている。

表 6 共通総合科目全体（降順）：前年度

質問項目	平均	全体平均	全体平均－平均
Q15. 予習・復習の時間	2.21	2.51	0.3
Q13. 積極的に意見や質問をした	3.19	3.40	0.2
Q9. 質問への対応が適切だった	4.03	4.13	0.1
Q4. 理解度に合わせて授業を進めた	3.98	4.08	0.1
Q6. 教員の板書や図の見やすさ	3.98	4.07	0.09
Q17. さらに勉強したくなった	3.86	3.95	0.08
Q16. 試験に積極的に取り組んだ	4.00	4.09	0.08
Q3. 新しい知識・技術を学べた	4.19	4.26	0.06
Q2. 内容は知的刺激に富んでいた	4.18	4.23	0.05
Q5. 教材が理解に役立った	4.16	4.20	0.04
Q18. 受講を後輩に勧めたい	4.01	4.05	0.04
Q12. 教員の熱意を感じた	4.23	4.26	0.03
Q1. シラバスに沿っていた	4.21	4.24	0.03
Q8. 説明がわかりやすかった	4.08	4.10	0.03
Q10. 開始・終了時間が適切だった	4.22	4.24	0.03
Q11. 私語に対し適切な対応だった	4.14	4.17	0.03
Q19. 授業の総合的満足度	4.11	4.13	0.03
Q14. よく出席した	4.38	4.40	0.02
Q7. 教員の声が聞き取りやすかった	4.20	4.22	0.02

また、共通総合科目のなかでも外国語科目だけを取り出してみると[表 7]、若干ではあるが、全体の平均値から低い項目が多くなっていることが分かる。なかでもとくに低くなっているのが「Q3. 新しい知識・技術を学べた」(0.16)、次が「Q17. さらに勉強したくなった」(0.15) ポイント、続けて「Q2. 内容は知的刺激に富んでいた」(0.13)、「Q18. 受講を後輩に勧めたい」(0.12) といった項目が全体平均よりも低くなっている。

表 7 外国語科目のみ(降順)

質問項目	平均	全体平均	全体平均－平均
Q3. 新しい知識・技術を学べた	4.10	4.25	0.16
Q17. さらに勉強したくなった	3.75	3.90	0.15
Q2. 内容は知的刺激に富んでいた	4.08	4.21	0.13
Q18. 受講を後輩に勧めたい	3.88	4.00	0.12
Q5. 教材が理解に役立った	4.13	4.19	0.06
Q16. 試験に積極的に取り組んだ	4.00	4.06	0.06
Q19. 授業の総合的満足度	4.04	4.10	0.06
Q12. 教員の熱意を感じた	4.21	4.26	0.05
Q8. 説明がわかりやすかった	4.06	4.10	0.05
Q1. シラバスに沿っていた	4.24	4.28	0.04
Q6. 教員の板書や図の見やすさ	4.02	4.06	0.03
Q7. 教員の声が聞き取りやすかった	4.22	4.23	0.02
Q14. よく出席した	4.40	4.41	0.01
Q11. 私語に対し適切な対応だった	4.16	4.16	0.00
Q9. 質問への対応が適切だった	4.16	4.15	0.00
Q10. 開始・終了時間が適切だった	4.30	4.28	-0.02
Q4. 理解度に合わせて授業を進めた	4.11	4.07	-0.04
Q15. 予習・復習の時間	2.49	2.40	-0.09
Q13. 積極的に意見や質問をした	3.54	3.34	-0.20

ただし、これも昨年度の結果[表 8]と比べてみると、全体として大きく改善していることがわかる。昨年度の結果では、一つを除くすべての項目で全体平均を下回っていたのに対し、今年度は全体平均を上回る項目が増えている。またとくに全体平均よりも低い項目では、8項目にもわたって、全体平均値に比べて0.2~0.3ポイントも低い値となっており、全体として今年度よりもかなり評価が低かったことがわかる。

表 8 外国語科目のみ：前年度

質問項目	平均	全体平均	全体平均－平均
Q18. 受講を後輩に勧めたい	3.75	4.05	0.3
Q3. 新しい知識・技術を学べた	3.96	4.26	0.3
Q17. さらに勉強したくなった	3.67	3.95	0.28
Q2. 内容は知的刺激に富んでいた	3.97	4.23	0.26
Q19. 授業の総合的満足度	3.88	4.13	0.25
Q8. 説明がわかりやすかった	3.86	4.10	0.25
Q12. 教員の熱意を感じた	4.04	4.26	0.22
Q5. 教材が理解に役立った	4.00	4.20	0.2
Q7. 教員の声が聞き取りやすかった	4.03	4.22	0.19
Q1. シラバスに沿っていた	4.05	4.24	0.19
Q9. 質問への対応が適切だった	3.94	4.13	0.19
Q4. 理解度に合わせて授業を進めた	3.90	4.08	0.18
Q6. 教員の板書や図の見やすさ	3.90	4.07	0.17
Q11. 私語に対し適切な対応だった	4.04	4.17	0.13
Q10. 開始・終了時間が適切だった	4.12	4.24	0.12
Q16. 試験に積極的に取り組んだ	3.99	4.09	0.09
Q15. 予習・復習の時間	2.43	2.51	0.09
Q14. よく出席した	4.38	4.40	0.02
Q13. 積極的に意見や質問をした	3.41	3.40	-0.02

共通総合科目全体の評価結果のなかで、とくに低い評価項目として取り上げられた「Q15. 予習・復習の時間」「Q13. 積極的に意見や質問をした」「Q17. さらに勉強したくなった」「Q16. 試験に積極的に取り組んだ」の諸項目をみると、「Q15. 予習・復習の時間」「Q13. 積極的に意見や質問をした」「Q16. 試験に積極的に取り組んだ」は学びに対する「主体性」や「積極性」にかかわるものであり、「Q17. さらに勉強したくなった」は学びへのモチベーションにかかわる項目である。また、外国語科目の中だけでみると、評価の低い項目として、「Q3. 新しい知識・技術を学べた」「Q17. さらに勉強したくなった」「Q2. 内容は知的刺激に富んでいた」(0.13)「Q18. 受講を後輩に勧めたい」が挙げられている。これらも共通総合科目全体の結果と同様、学びに対する主体性・積極性およびモチベーションにかかわる項目である。

これらの学びに対する主体性・積極性やモチベーションは、授業そのものへの評価にとどまらず、学生がこれからも自ら学んでいく意欲、すなわち「主体的な学び」を引き出すのに重要なポイントである。もっとも共通総合科目は、自分の専門分野とは異なる分野であることも多く、その意味で学習意欲に欠ける傾向があることは否定できないにせよ、狭い専門領域だけでなく広く「教養」を身につける上でも重要な科目群であると考えられることから、これらの項目において低評価であったことは問題点として指摘できるであろう。

#### (4) 専門科目の課題

[表9] は授業の総合的評価に関わると考えられる項目について、学科ごとの評価平均値を示したものである。まず、「Q19. 授業の総合的満足度」の項目について、高い順に学科ごとに並べると、服飾造形学科(4.20)、健康栄養学科(4.20)、日本文学文化学科(4.15)、国際学科(4.14)、家政福祉学科(4.10)と、ここまでの全体平均(4.10)より上、続けて、心理学科(3.94)、看護学科(3.93)、こども発達学科(3.89)、の順となっている。同じく総合的評価にかかわるとされる設問「Q18. 受講を後輩に勧めたい」では最も高いのが健康栄養学科(4.15)で、続いて服飾造形学科(4.13)、国際学科(4.07)と続く。こちらも低い値になっているのは、心理学科(3.83)、こども発達学科(3.88)、看護学科(3.89)である。また「Q17. さらに勉強したくなった」では、最も高いのがこちらも服飾造形学科(4.06)で、次が健康栄養学科(4.01)と国際学科(4.01)になっている。

表9 学科ごとにおける授業の総合的評価

学科 (降順)	Q19. 授業 の総合的 満足度	学科 (降順)	Q18. 受講を 後輩に勧め たい	学科 (降順)	Q17. さらに 勉強したく なった
服飾造形学科	4.20	健康栄養学科	4.15	服飾造形学科	4.06
健康栄養学科	4.2	服飾造形学科	4.13	健康栄養学科	4.01
日本文学文化学科	4.15	国際学科	4.07	国際学科	4.01
国際学科	4.14	日本文学文化学科	4.04	日本文学文化学科	3.96
家政福祉学科	4.1	家政福祉学科	3.99	家政福祉学科	3.93
心理学科	3.94	看護学科	3.89	こども発達学科	3.84
看護学科	3.93	こども発達学科	3.88	看護学科	3.82
こども発達学科	3.89	心理学科	3.83	心理学科	3.77
全体平均	4.10	全体平均	4.00	全体平均	3.90

これらの結果を[表 10]で示した前年度の結果と比べてみると、前年度の上位 3 学類がいずれも「日本文学文化学類」「健康栄養学類」「こども発達学類」であったのに対して、今回の上位 3 学科は「服飾造形学科」「健康栄養学科」「国際学科」「日本文学文化学科」となっており様変わりしている。前年度に入っていた「こども発達学類」が下位になってしまったのに対し、新たに「服飾造形学科」と「国際学科」が上位に入ってきている。

表 10 学類ごとにおける授業の総合的評価：前年度

学類 (降順)	Q19. 授業 の総合的 満足度	学類 (降順)	Q18. 受講を 後輩に勧め たい	学類 (降順)	Q17. さらに勉強し たくなった
日本文学文化学類	4.26	健康栄養学類	4.2	こども発達学類	4.13
健康栄養学類	4.23	こども発達学類	4.16	健康栄養学類	4.1
こども発達学類	4.18	日本文学文化学類	4.14	日本文学文化学類	4.03
服飾造形学類	4.18	服飾造形学類	4.08	服飾造形学類	4.03
国際学類	4.17	国際学類	4.06	国際学類	3.98
心理学類	4.11	心理学類	4.03	家政福祉学類	3.9
家政福祉学類	4.09	家政福祉学類	4	心理学類	3.88
全体平均	4.13	全体平均	4.05	全体平均	3.95

とくに「Q19. 授業の総合的満足度」での前年度からの変化を[表 11]でみると、服飾造形学科と家政福祉学科の躍進が大きく、逆にこども発達学科と日本文学文化学科の順位が下がっているのが目立つ（看護学科は今回が初めての授業評価アンケートの実施）。「Q18. 受講を後輩に勧めたい」と「Q17. さらに勉強したくなった」の質問項目においても、この1年での変化は多少学科ごとによって違いはあるものの、ここで挙げたような学科の上昇・下降の変化がみられる。服飾造形学科や家政福祉学科のように今回順位が上がった学科ではどのような変化があったのか、逆に順位が下がった学科は、どれがどのような原因によるものなのか、今後の検証が待たれよう。

表 11 学類ごとにおける授業の総合的評価：前年度  
Q19. 授業の総合的満足度

学類 (降順)	2017 年度	学科 (降順)	2018 年度
日本文学文化学類	4.26	服飾造形学科	4.20
健康栄養学類	4.23	健康栄養学科	4.2
こども発達学類	4.18	日本文学文化学科	4.15
服飾造形学類	4.18	国際学科	4.14
国際学類	4.17	家政福祉学科	4.1
心理学類	4.11	心理学科	3.94
家政福祉学類	4.09	看護学科	3.93
		こども発達学科	3.89
全体平均	4.13	全体平均	4.10

ただしここで注意も必要である。例えば今回、順位が大きく上がった服飾造形学科は、「Q19. 授業の総合的満足度」のポイントでみると(4.18)から(4.20)への上昇にとどまる。同様に、「Q18. 受講を後輩に勧めたい」では(4.08)から(4.13)、「Q17. さらに勉強したくなった」では(4.03)から(4.06)と、それほど大きく上昇したわけではない。これは家政福祉学科でも同様で、「Q19. 授業の総合的満足度」では、(4.09)から(4.10)へと0.01ポイントの上昇にとどまる。逆に順位を下げた学科では、同じく「Q19. 授業の総合的満足度」で、こども発達学科が(4.18)から(3.89)と0.29ポイント、日本文学文化学科が(4.26)から(4.15)と0.11ポイントも下がっていて、その下がり方が著しい。ここでは各設問における学科の順位に着目しているが、より重要なのはこの1年間でのポイントの変動値であり、とくにポイントの下がった学科はその原因が何であるのかを究明する必要があるであろう。

## (5) 課題と対策

今回の授業評価の結果および各教員の所感からいくつかの課題が指摘される。最後に、今回の授業評価の結果からわかるいくつかの課題を指摘したうえで、それに対して考えられる対策に言及することにした。

### 1) 課題

#### ①学びにおける主体性

まず、本学学生の学びにおける「主体性」が低いことが、今回の授業評価の結果から明らかになった。(調査対象となった)全授業科目をみても、また各学科の平均をみても、19項目ある質問の中で最も評価が低くなっているのが、「Q13. 積極的に質問した」と「Q15. 予習・復習の時間」である。多岐にわたる質問項目の中でこれらの項目は、学生の「学びにおける主体性」に関する質問項目であるといえよう。全科目の平均値でみると、「Q15. 予習・復習の時間」が最も低く(2.40)、次に「Q13. 積極的に質問した」が(3.34)となっている。情報通信技術の発達が著しい今日の社会にあっては、単に知識を詰め込むという教育のあり方が見直されつつあり、AI に取って代わられることのない「思考力」が今後の教育において重視されるようになってきている(新井紀子『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』東洋経済新報社、2018)。

こうした現代社会の変化も念頭に、2007年6月改正の「学校教育法」ではその第30条に「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない」とある。これをもって「1. 基礎的な知識・技能、2. 思考力・判断力・表現力等の能力、3. 主体的に学習に取り組む態度」が新しい「学力の3要素」とされており、そのなかに「主体的に学習に取り組む態度」が含まれている。このように、授業や講義を聞くだけという「受け身」の学校教育が大きく方向転換を求められており、なかでも学生の学びに対する「主体性」が求められている。そうした中で、本学の学生に「主体的」な学びの姿勢が低いことは今後の大きな課題として指摘され、後述のように、学生の「主体性」を引き出すような、「一方向的」な授業のあり方が見直される必要もあるだろう。

#### ②クラスサイズと満足度

次に、クラスサイズの問題がある。「(1)-4) 受講者の状況別授業満足度①受講者数と満足度との関係」の項目にあるように、今回の結果から、30人未満のクラスでは満足度が有意に高くなる傾向にあることがわかっている(前年度の結果分析からも同じことが指摘されていた)。30人以上のクラスよりも20人台のクラスでは大きく満足度が上がり、10人台ではそれよりもさらに満足度が高くなる。逆に、30人を超えると150人まではそれほど大きく満足度が下がることがない。150人を超える授業では分割する必要があるかもしれない。

いが、100人程度の授業を半分にしたところで、受講生の満足度はそれほど上がるわけではないということをこの分析結果は示している。

本学のような規模の大学では大規模大学と異なり、少人数による授業は比較的可能となる。実際、学生募集にあたって、また対外的広報にあっても、本学では「少人数教育」を標榜している。今回の授業評価の結果から、こうした「少人数教育」が単なる宣伝材料ではなく、実際に教育効果があることがわかる。しかし、本学で展開されている授業では、もっとも多いのが30~50未満の授業で、全940科目中349科目を占めている。そして次に多いのが50人以上100人未満の授業で198科目ある。ボリュームゾーンを占める授業は100人を超えるような規模ではないものの、教育効果のある受講人数が30人未満であることを考慮すると、少人数の授業がもっと増えてもいいのかもしれない。この点は今後の課題として指摘される場所である。

### ③小規模クラスでの授業評価の実施

前述のように、クラスサイズが小さいほど受講生の満足度は高い。しかし今回の授業評価では、受講者数が10人以下の授業については授業評価そのものを行っていない。従って、10人以下のクラスではそれ以上のクラスと比べて、満足度が高いのかも把握できていない。クラスサイズが小さいほど受講生の満足度が高くなる傾向にあることを踏まえると、検証のためにも、10人以下のクラスでの授業評価の実施が今後の課題として残される。

「(1)-4) 受講者の状況別授業満足度①受講者数と満足度との関係」でも指摘されているように、「小規模クラスにおける授業評価は、本学の授業評価の目的にも関連するところでもあるため、今後の検討が必要であると思われる」。この授業評価の次年度からは、実施方法がオンラインにかわった。費用などの点からみて問題がなければ、今後、10人以下のクラスでも実施できるかどうか検討が必要であろう。

### ④平成30年度の特殊事情

課題として最後に、今回の授業評価の特殊事情について触れておく必要がある。今回から新たに、看護学部看護学科が新設され、その授業科目が追加された。まだ開設初年度であり、一学年だけでの実施となるため、全体としての結果に大きな変化はみられない。ただし今後、完成年度に向けて学生数が増えていくため、それが今後の結果にどのような影響を与えるかは注視する必要があるであろう。とくに看護学部は、すべての教員が新任であること、実習などの実践的な科目が多いこと（今後、学年進行に合わせてさらに増加する）、必修科目が多くまた再履修が不可能かきわめて困難というカリキュラム構成になっていること、そして今後、国家試験への対策などが増えてくることなど、他学部他学科と比べると異なる科目内容やカリキュラム構成になっている。こうした独自性が、授業評価の結果としてどのように表れてくるのか、今後、完成年度に向けて注視していく必要がある。

## 2) 対策

上記の課題に対応して以下のような対策が考えられる。

### ①学生の「主体的な学び」に向けて

今回の授業評価のなかでとくに評価の低かった、「Q13. 積極的に質問した」と「Q15. 予習・復習の時間」の項目について。「Q15. 予習・復習の時間」については、授業の前後で課題を課すという対応でも改善が期待されるが、「Q13. 積極的に質問した」についてはそれほど対策が容易ではない。この対策のヒントとして、「(2) 教員所感について」のところで、授業評価が最も高かった10人の教員の「所感」をもとに分析されたところで最初に指摘されている、授業の「双方向性」が挙げられるであろう。従来の「一方向型」の講義・授業では、すぐに授業中で質問することは難しい。むしろ、授業中に質問が出てこないことを前提で授業が進められていることも少なくはないだろう。授業の中で、「双方向性」を取り入れることで、受講生が教員に対してアクション（質問・提案・意見など）を起こす機会を与え、大学の授業とは「そういうもの」であるという印象を定着させることもできよう。その際に、学生がかならずしも「発言」するということに限る必要はない。情報機器たとえばマナバコースを利用してその場で回答させる、その場で意見や質問を書かせるといったことでも十分であると思うし、情報機器を利用しなくても、リアクションペーパーで質問や意見などを書かせるのも十分に「双方向」的である。

また、このような授業の中での「双方向」的なやり方をどうするのにとどまらず、授業そのものを学生の主体的な活動で構成することも期待される。すなわち、昨今、頻繁に言及されることの多い「アクティブ・ラーニング」や「PBL: Project/ Problem-Based Learning」といった授業内容である。これらは、授業のあり方そのものを、教員から学生に「教授する」といったものから、学生自身が行動するといった授業、ないしは与えられた問題や課題に対して、学生自身が（比較的長い時間をかけて）答えを求めていくといったものへと変えていくことである。まさに、学生を「主体」としたやり方での授業の進め方である。

このように、授業の中で「双方向性」を持たせること、また「アクティブ・ラーニング」や「PBL」で学生自身に何かをやらせることは、それ自体が重要なのではなく、学生の「主体的な学び」を身につけさせるうえで重要であると考えられる。課題①で指摘したように、情報通信技術やグローバル化が急速に進展する今日の社会において、学生の「主体的な学び」がこれまで以上に求められている。与えられた課題をこなすというだけではなく、自ら課題を見つけ出すといった学びのあり方が、これからの人々の社会的スキルとしても求められるようになるなかで、大学での学びも、そうした「主体的な学び」がとくに重要になってくるであろう。

そしてそうした「主体的な学び」を身につけさせるうえで本質的に重要なのは、単に「双方向性」や「アクティブ・ラーニング」「PBL」といった授業スキルを導入することではなく、学生が「学びたくなる」気持ちを喚起することであると考えられる。つまり、学生に対して知識

や技能・技術などを「与える」のにとどまるのではなく、学生が知識や技能などを「学びたくなる」よう、モチベーションを喚起することが、今後、大学でも求められるであろう「主体的な学び」の究極の内容になると考える。

#### ②クラスサイズについて

次に、今回の授業評価の結果から統計的に明らかになった「技術的」な課題として、クラスサイズの問題が挙げられる（課題②③）。今回の結果から、比較的明確に統計的に示されているのは、クラスサイズが30人未満であると授業に対する学生の満足度は高くなり、それは小さくなるほど高くなるということである。本学のような小規模大学においてはしばしば、「少人数教育」であることが広報され、本学もその例に漏れないが、「少人数教育」が受益者を満足させる（Customer satisfaction）のは統計的に根拠のあることなのである。一つの対策としては、こうした「少人数教育」を宣伝文句にとどまらせるのではなく、それを実現していくことにある。本学の授業は今のところ、30~50人未満および50人以上100人未満の授業である。教員の負担や費用、教室数の限界などの制約があるのは承知であるが、そのなかで少しでもクラスサイズを小さくしていくことは、少なくとも学生の満足度向上にプラスの影響が期待されるであろう。

またクラスサイズを小さくすることは、先述の対策①ともかかわってくると考えられる。例えば双方向の授業は、大規模クラスでは必然的に困難となるし、アクティブ・ラーニングやPBLの実施においてはなおのこと困難であろう。よって、これらの対策、すなわち学生の「主体的な学び」を促進するうえでも、クラスサイズは小さい方がよいと考えられる。もっとも実際は、受講者数の多い授業でも、アクティブ・ラーニングやPBLを実施するにあたっては、少人数のグループに分けて実施していることが多い。仮にある授業の受講者数が多いとしても、授業の中でこのように少人数にグループ分けをして実施することで、少人数の授業と同じ効果が得られる可能性が高い。少なくとも、そのようにすることで、アクティブ・ラーニングやPBLといった主体的な学びの期待できる授業プログラムの実施が可能になる。実際には、単にクラス分けをするのではなく、このような運用の工夫によって対策を講じる可能性もあるのではないだろうか。

#### ③授業（教学）における情報の共有

毎年度、膨大な数の授業にわたってこの「授業評価アンケート調査」を行い、その膨大なデータを各教員にフィードバックし、さらにはそれを受けて各教員が「所感」といった形で文書にまとめ、これらのデータおよび「所感」をもとに、本報告書が作成されている。最後に提案したいのは、こうした膨大なデータのフィードバック、各教員からの「所感」、そしてこれらの調査結果および全教員の「所感」をまとめたこの「報告書」がもっと「活用」される機会の充実である。

授業評価アンケートの実施やその報告書の作成は、監督官庁からの通達や大学認証評価のために単に強制されて行われているものではないと考える。それは、大学における授業や教育、学生たちの「学び」の改善のためにあるものであり、そうした大学教育や大学生の学びの改善は、世の中が大きく変わりつつある今の時代にとって必要不可欠なものでもある。各教員にフィードバックされた評価の結果は、「所感」の執筆を課されるまでもなく各教員によって真摯に改善の材料とされているであろう。また、本報告書に目を通されている教員も少なくないを期待したい。しかし、せつかくであれば、授業評価の高かった教員から他の教員へのフィードバックや、双方向授業やアクティブ・ラーニング・PBLの実践とその問題点などについての報告を通じて、教員間・学科間でその情報が共有され、問題点や改善点が議論される機会があればさらによいのではないかと考える。

今日、全学・学部・学科の各単位において、「FD」の実施が事実上義務化されている。そうした場で、授業評価の結果や授業の実践、現在の課題やこれからの課題について、情報共有・情報交換できるようになればいいのではないかと。「FD」についても、単に「やらされてる」のではなくて、こうした情報をより実践的に活用していく場となった方がいいのではないかと考える。具体的には、評価の高かった教員からのプレゼンや、グループによる結果データの分析、さらにはここで書いているような、現時点での問題点の析出やそれに対する対策の考案といったことが挙げられよう。それは必ずしもFDの場でなくてもよいが、各教員が実践的に、授業評価の分析と改善への取り組みに参加できる場があると善いと考えて。こと「主体的な学び」は、学生だけの問題ではなく、私たち教員にとっても同じように問題なのである。

## 5. 資料

## 授業評価アンケート

このアンケートは授業をより充実させるために実施するものです。  
回答内容があなたの成績に影響することは一切ありません。  
裏面にもアンケートの設問がありますので回答をお願いいたします。

1. マークは濃い鉛筆またはシャープペンシルを用いてはっきりと記入してください。

ボールペンは使用しないでください。

2. 所定欄以外に記入しないでください。

あなたの学年にマークしてください。

1年生  2年生  3年生  4年生  その他

あなたの所属のいずれか1つにマークしてください。

1年生	① 国際学科 ④ こども発達学科 ⑦ 家政福祉学科	② 日本文学文化学科 ⑤ 服飾造形学科 ⑧ 看護学科	③ 心理学科 ⑥ 健康栄養学科
2~4年生 (学類)	⑨ 類文化コミュニケーション専修 ⑫ 日本語表現専修 ⑮ 心理学専修 ⑱ 健康栄養学専修	⑩ 国際社会専修 ⑬ 書道専修 ⑯ こども発達学専修 ⑲ 家政福祉学専修	⑪ 日本文学専修 ⑭ 文化芸術専修 ⑰ 服飾造形学専修
2~4年生 (旧学類)	⑳ 類コミュニケーション専修 ㉓ 国際社会システム専修 ㉖ 生活科学コース	㉑ 文化芸術コース ㉔ 心理発達コース	㉒ 書道コース ㉕ 服飾造形学専修
その他	㉗ その他		

マーク記入例

良い例	悪い例
	うすい

強  
く  
そ  
う  
思  
う  
そ  
う  
思  
う  
ど  
ち  
ら  
で  
も  
な  
い  
そ  
う  
思  
わ  
な  
い  
全  
く  
そ  
う  
思  
わ  
な  
い  
該  
当  
し  
な  
い  
答  
え  
た  
く  
な  
い

Q1	授業はシラバス(講義概要)にそって行われていた	⑤	④	③	②	①	①	①
Q2	授業の内容は知的刺激に富んだものだった	⑤	④	③	②	①	①	①
Q3	この授業で新しい知識・技術等を学ぶことができた	⑤	④	③	②	①	①	①
Q4	教員は学生の反応や理解度を考慮しながら授業を進めた	⑤	④	③	②	①	①	①
Q5	テキストやプリント、画像、実物等が使われ、理解によく役立った	⑤	④	③	②	①	①	①
Q6	板書の文字や図は見やすかった	⑤	④	③	②	①	①	①
Q7	教員の話し方、声の大きさは適当で聞き取りやすかった	⑤	④	③	②	①	①	①
Q8	教員の説明は分かりやすかった	⑤	④	③	②	①	①	①
Q9	教員は学生の質問、相談に適切に対応した	⑤	④	③	②	①	①	①
Q10	授業の開始と終了の時間は適切だった	⑤	④	③	②	①	①	①
Q11	教員は私語に対し適切な対応をしていた	⑤	④	③	②	①	①	①
Q12	この授業から教員の熱意が感じられた	⑤	④	③	②	①	①	①

裏面に続きます。▶▶▶▶▶

▶▶▶▶▶ おもて面から続く。

回答は必ずおもて面から始めてください。

強く思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全くそう思わない	該当しない・答えたくない
5	4	3	2	1	0

Q13	自分自身もこの授業で積極的に意見や質問をした	5	4	3	2	1	0
Q14	この授業はよく出席した	5	4	3	2	1	0
Q15	この授業の予習復習等に当てた時間(毎週) ⑤3h以上 ④2~3h未満 ③1~2h未満 ②1h未満 ①特にしていない ⑥該当しない・答えたくない	5	4	3	2	1	0
Q16	この授業のレポートや試験に積極的に取り組んだ	5	4	3	2	1	0
Q17	この授業から新たな興味や関心が生まれ、さらに勉強したくなった	5	4	3	2	1	0
Q18	この授業の受講を後輩にも勧めたいと思う	5	4	3	2	1	0
Q19	あなたのこの授業に対する総合的な満足度を示してください ⑤大変満足 ④やや満足 ③どちらでもない ②やや不満 ①不満 ⑥該当しない・答えたくない	5	4	3	2	1	0

Q20 この授業についての意見・感想・希望等あなたが思っていることをできるだけ具体的に何でも記入してください

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

平成 30(2018)年度 授業評価アンケート報告書

令和 2(2020)年 1 月

編集 和洋女子大学 大学・大学院評議会

担当 金丸裕志 中島肇 刀根洋子

発行 和洋女子大学

〒272-8533 千葉県市川市国府台 2-3-1

TEL 047-371-1111